

学習院大学史料館所蔵史料目録 第九号

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(二)





## 序 文

今回、学習院大学史料館所蔵史料目録第九号として、武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書（二）を発行するのはこびとなった。本書には、主として町田家の経営に係る文書のうち近世冊子型文書を収めた。

町田家は、武蔵国上名栗村で代々村名主をつとめた家である。この地域は、江戸時代以来、良質の杉・檜を産出した西川林業の中心地で、町田家は、大規模な山林経営を行ない、また、江戸深川に店をもち、薪炭・材木商としても活発な商業活動を行なった。このため、本文書は山村の構造、林業の生産・流通・販売等近世林業経営に関する日本屈指の貴重な史料となっている。

史料整理・目録作成は、大変な労力と時間を必要とする地道な息の長い仕事である。なお、既刊の目録に収録したほかに多くの未整理文書を残しており、引続き、次号目録作成に向けて、整理に着手している。何卒、今後ともご指導・鞭撻を賜わりたくお願い申しあげる次第である。

本目録の作成には、主として、斎藤洋一・生田享子・島田典子・須田肇・対馬（浜田）佳代子・長佐古美奈子・沼田（小川）紀子・松島孝人の史料館員があたり、西田かほる・山口和夫氏のご協力を

得た。また、加藤衛弘氏にはひとかたならぬご指導をあいだ。ここに深く感謝申しあげるものである。

昭和六十三年三月

学習院大学史料館館長

柳 田 節 子

## 凡 例

一 本目録は、昭和四二年五月一〇日に町田雅男氏から学習院大学に寄贈された武蔵国秩父郡上名栗村（現在の埼玉県入間郡名栗村大字上名栗）町田家文書の近世冊子型文書のうち町田家経営関係文書の目録である。

一 「文書の分類」 文書は主題分類を施し、各分類ごとに編年することを原則とした。文書内容が複数の分類項目にわたる場合には、主たる主題と思われる分類項目に分類した。

一 「文書番号」 一文書に一番号を原則とした。ただし、一括して保存されていたものや、綴られていたもの、数冊に分れているものは枝番号を付した。

一 「文書の年代」 表紙あるいは文書末尾箇所に記されたものを採録した。文書の性格上、内容年代を《》にて記した。

一 「文書名」 表紙に記されたものを採録した。ただし、表紙のないものや、表紙の書名で内容が不明瞭なものなどは、目録作成者が必要に応じて（ ）で補った。

一 「文書の差出人（作成者）・受取人（宛名）」 文書の表紙・裏表紙に記された作成者・宛名、あるいは文書の末尾箇所に記された差出人、受取人を採録した。目録では「A→B」の場合はAが差出人（作成者）でBが受取人（宛名）ということ。「A」の場合は差出人（作成者）のみ、また「↓B」の場合は受取人（宛名）のみであることを示す。

一 「形態」 縦帳（縦と略記）、横帳（横と略記）、状、綴、状態に分け、元の形態が推測できるものについては（ ）を付して表記した。

一 虫損・破損は、その状態により、□・□で示した。

## 目次

J	町田家経営全般	一
K	町田家土地	七
L	町田家小作・店貸	三
M	町田家金融	九
N	山林経営	三
O	材木商売	
	全般	五
	木挽	七
	筏	五
	水揚・仕切	一〇三

P	人 足	一三
Q	町田家酒造	一三七
R	酒買入	一四一
S	炭商売	
	全 般	一四六
	入荷・生産	一四七
	出荷・販売	一五三
T	穀物仕入	一六
U	日用品商売	一七三
V	金銭出入	
	全 般	一七五
	諸品購入	一九五
	公用道中	一九七
	貨幣有高改	二〇四
W	町田家生活	

年始・盆・暮……………二二

冠婚・葬祭……………二四

家財・普請……………二六

飯米……………二七

学芸・趣味……………三〇

記 録……………三四

旅……………三五

X  
材木問屋……………三七

Y  
筏仲間……………三五

解説にかえて……………二五

# J 町田家経営全般

1 J 町田家経営全般

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三七三	文化二年四月	模方手控（本丸・西丸新模納方手控）〔町田栄次郎〕	横 一
三七四	文化二年臘月	手控（金銭支払い方など）〔町田〕	横 一
三七五	《丑》（文化二）年九月三日～十二月七日	丑九月手控（金銭支払い方など）〔町田〕	横 一
三七六	文化二年	《文化二》年閏八月二八日～一〇月二六日	横 一
三七七	文化六年二月	手控（金銭出入ほか）〔町栄〕	横 一
三七八	《二月一〇日～二月一六日》	手控（材木本数書付、年末年始金銭出入賞、江戸入用呉服類覚）	横 一
三七八	卯（文政二）年九月	杉檜壳渡書付之事など控帳	縦 一
三七八	辰年四月	杉檜壳渡書付之事〔上名栗村壳主半七他一名↓栄治郎〕	縦 一
三七八	文政四年二月	（相手の無事、当方の無事をいう書状）	縦 一
三七八	文政四年二月	差出申一札之事（鉄砲差出証文）〔上名栗村預り主勘四郎他三名↓栄治郎〕	縦 一
三七八	文政四年九月	奉公人請状之事	縦 一
三七八	文政四年九月	（質物証文末尾文言雛型）	縦 一
三七八	文政四年九月	書入証文之事〔南川村金借用人徳左衛門他四名↓何村誰〕	縦 一
三七八	文政四年九月	質地証文之事〔上名栗村質地主新蔵他五名↓何村誰〕	縦 一
三七八	天保六年三月	筆まめ（とうふ代金など支払い、筏材木本数覚）	横 一

《三月一七日～三月二二日、五月朔日～五月二日》

二

(木数改め覚)

三六〇

天保一四年五月

万覚帳 (人足・穀物仕入・小作金など) [新館]

《正月九日～六月一三日》

三六一

天保一五(弘化元)年正

勘定帳 (買物覚、貫代金仕切) [新館]

月

《正月六日請取～辰年入》

三六三

天保一五(弘化元)年六

絹覚帳 (入金など) [町軍]

月

《六月一三日～一〇月一九日》

三六五

天保一五(弘化元)年一 人足其外万覚帳 [新館]

二月

三六四

弘化二年七月

附込帳 (金銭・白米・米など日別出入附込帳)

《巳(弘化二)年七月一七日～午(弘化三)年正月改》

三六五

弘化二年一月

万日記覚帳 [新館善吉]

《一月五日～午年正月》

三六六

弘化三年正月

附込帳 (金銭・白米・米など日別出入附込帳)

《正月二日～三月一四日》

三六七

弘化三年二月

五番附込帳 (金銭・白米・米など日別出入附込帳) [新館]

《二月四日～未(弘化四)年正月二日改》

三六八

一

弘化四年正月

通 (水車通帳) (水車→御本家)

《午(弘化三)年正月～申(嘉永元)年十二月》

状

横

横

横

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一



二	嘉永七〇〓安政元年正月 本家万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) 《(嘉永六) 年二月二七日〓(安政元) 年二月二九日〓(嘉永六) 年二月二九日〓(安政元) 年二月二八日〓》	横	一
三	安政二年正月 本家万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) 《(安政元) 年二月二八日〓(安政二) 年二月二三日、(安政元) 年二月二九日〓(安政二) 年二月二二日〓》	横	一
四	安政三年正月 万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔町軍↓本家〕 《(安政二) 年二月二八日〓(安政三) 年二月二五日、(安政二) 年一月九日〓(安政三) 年二月二二日〓》	横	一
五	安政四年正月 本家万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入)〔町田軍蔵↓本家〕 《(安政三) 年二月二八日〓(安政四) 年正月九日、(安政三) 年二月二三日〓(安政四) 年二月二三日〓》	横	一
六	安政六年正月 万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) (角士↓丸士) 《(安政五) 年極月二九日〓(安政六) 年二月二五日、(安政六) 年正月八日〓二月大晦日〓》	横	一
七	安政七〇〓万延元年正月 万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) (角士↓丸士) 《(安政七〇〓万延元) 年正月一〇日〓二月二六日、正月五日〓二月二五日〓》	横	一
八	嘉永五年より ④万之通勘定書按 (通帳の勘定部分の抜き書) (角士)	横	一
九	《子 (嘉永五) 年〓戊 (文久二) 年〓》 文久元年 万之通 (人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入) (丸士↓角士) 《申 (万延元) 年二月二七日〓巳年二月大晦日〓》	横	一
三六	弘化四年正月 附込帳 (金銭・米など日別出入附込帳)〔新館〕	横	一
三九	《正月二日〓二月二二日〓》 弘化四年二月 二番附込帳 (金銭・米など日別出入附込帳)〔新館〕	横	一
三九	《二月二二日〓四月二二日〓》 丁未 (弘化四) 年九月 五番附 <sup>込帳</sup> □□ (金銭・米など日別出入附込帳)	横	一
三九	《九月一六日〓二月晦日〓》 弘化五〇〓嘉永元年正月 □番附込帳 (金銭・米など日別出入附込帳)〔新館〕	横	一

《正月二日～五月一日》

三九三

嘉永元年四月

式番附込帳（金銭・米など日別出入附込帳）〔新館〕

横

一

《五月朔日～一月一日》

三九四

嘉永四年正月

附込帳（金銭・米など日別出入附込帳）〔新館〕

横

一

《正月二日～二月二日》

三九五

嘉永五年正月

附込帳（金銭・米など日別出入附込帳）〔新館〕

横

一

《亥（嘉永四）年二月二日～寅（嘉永七〓安政元）年二月二七日》

三九六

嘉永七（〓安政元）年正月

大福帳

横

一

安政五年正月

万之通（人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入）〔町軍→本家〕

横

一

《安政四年二月二九日～安政五年二月二七日》

三九七

文久元年極月

臨時用控〔山形〕

横

一

《二月二八日～戊（文久二）年正月一四日》

三九八

文久二年二月

万用日記（人足・炭焼への貸穀・貸金、日用品購入）

横

一

《二月四日～二九日》

三九九

明治二年九月

当座帳（米・麦などの入荷および人足・炭焼への附込帳）

横

一

《巳（明治二）年九月七日～二月晦日》

四〇〇

明治四年正月

米麦比賀恵（貸穀控帳）

横

一

《正月三日～二月二九日》

四〇一

卯年正月

卯正月改帳（手もちの材木・立木・炭・穀物など）〔新館〕

横

一

《卯年正月一日》

四〇二

（諸用留）

縦

一

差出申一札之事（八月中大雨川崩れにつき筏川下げの際は届け出、差図を受けるよう一札）

〔筏惣代→下奥留村役人中〕

二	(軍蔵分反高帳書抜)	
三	(売木代金支払い延引願い書簡)	
四	(仕入金井惣次郎出府入用金勘定につき書簡) (↓藤田屋喜助)	卯年八月
五	(松五郎口銭一条につき)	
六	入置申対談之事 (筏下げ口銭につき)	
七	(御借用金返済延引につき書状写)	
八	(御取締出役廻村につき案内役人選の内談書状写) (町分寄場名主弥太郎他三名↓上名栗村古組・新組役人)	一〇月一六日
九	(質屋・古鉄買渡世向井御用先案内人足につき相談のため来駕依頼書状写) (坂石村保兵衛・南村藤兵衛・坂石町分弥太郎↓中沢組、上名栗村古組、新組役人)	一〇月一七日
一〇	(御普請につき杣職人差遣し申達) (大鋸棟梁□井□蔵↓佐野万之介)	八月一五日
二	(軍蔵金子入用につき用立ての旨書状写)	
三〇四	手控 (材木筏送り・筏仲間・金銭出入など) (町田)	辰年六月
三〇五	手控 (金銭出入など) (町田)	辰年菊月
三〇六	《卯年一〇月一五日〜辰年九月六日》	
三〇七	万覚 (飯米・味噌・米・大豆などの払い方月々役用、駄賃覚の付帳) (末智多氏)	巳年三月
三〇八	手控 (村政・材木商売など) (町田)	酉年二月
三〇九	当座帳 (人足・炭焼への貸穀・貸金付込帳) (町田)	五月
三〇九	《慶応四(明治元)年五月朔日〜明治二年二月大晦日》	
三〇九	よろつ覚記録帳 (預り金・貸金・頼母子懸金などの金銭覚帳)	
三〇九	《文化元年一二月〜文化八年》	
三〇九	三番金銭勘定添帳 (材木商売など)	
三〇九	《文化八年〜申(文化九)年正月》	

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

三二	手控〔町田屋太助〕	横	一
三二	《天保一二年頃ゝ嘉永五年頃》		
三二	（穀物仕入、挽削物仕入控）		
三三	《弘化四年正月晦日ゝ申（嘉永元）年一〇月》	横	一
三三	（大福帳）		
三四	《元治元年一二月ゝ慶応二年》		
三五	（材木商売、金銭出入など覚）（前後欠）	横	一
三六	《（未）年九月ゝ申年三月七日》		
三七	（当座帳）（人足・炭焼への貸穀・貸金付込帳）	横	一
三八	《戌（文久二）年三月六日ゝ辰（慶応四〓明治元）年閏四月二四日》		
三九	（筏人足賃など万覚帳）	横	一
四〇	《戌年一二月二五日ゝ一二月二九日》		
四一	（穀物・挽物仕入覚）	横	一
四二	《正月五日ゝ四月二五日》		
四三	（金銭・米など日別出入付込帳）（新館）	横	一
四四	《九月二七日ゝ一二月三日》		
四五	（金銭・米など日別出入付込帳）	横	一
四六	《一二月五日ゝ一二月二九日》		
四七	一寸控（材木商売、人足、炭商売など）	横	一
四八	《一二月二六日ゝ巳年五月五日》		
四九	手控（弥三郎家督始末之事、農事覚）〔町田〕	横	一
五〇	（筏送り、金銭出入等につき万覚）	横	一

# K 町田家土地

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三三三	一	貞享三年四月一〇日 反歩書分寛帳（佐兵衛分）〔父兵左衛門↓佐兵衛〕	縦 一
	二	寛文二年二月一二日 差上申手形之事（田地譲渡証文）〔田地主清兵衛他五名↓兵左衛門〕	状 一
	三	貞享三年四月 遺所書之覚（畑山譲渡証文）〔父兵左衛門他六名↓左兵衛〕	状 一
	四	貞享五（＝元禄元）年九月 手形之事（兵左衛門死去につき茶湯免として寄付した畑山請取り証）〔円昌寺手形主富 一四日 八鉄長□他七名↓町田佐兵衛他二名 （浦之助などから栄次郎へ譲渡された畑畝歩覚） （浦之助などから栄次郎へ譲渡された畑畝歩覚） 地所并年賦山控（町田屋）	状 一
三三四		享和二年	横 一
三三五		文化八年	横 一
		《文化八年閏二月～文政四年一二月》	
三三六		文化一三年	横 一
		《文化一三年六月～文政五年三月》	
三三七		式番地所并年賦山控（町田屋）	綴 一
一	一	文政三年一二月 辰御年貢質地名寄帳（町田栄治郎）	
二	二	文政四年一二月 巳御年貢質地名寄帳（栄治郎）	
三三八		文政五年八月 名寄書分ケ帳（上名栗村質地主太治郎他七名↓栄治郎）	横 一
三三九		文政五年一二月 午御年貢質地名寄帳	横 一
三三〇		文政五年一二月 流質地証文〔上名栗村流質地主与助他六名〕	縦 一
三三一		文政六年一二月 未御年貢質地名寄帳	横 一

三三三	文政七年一二月	申御歳貢質地名寄帳〔後欠〕〔新館〕	横	一
三三三	文政八年五月	野山讓証文之事〔入会野山株讓渡につき〕〔文蔵他九四名↓栄次郎〕	縦	一
三三四	文政八年六月	野山讓証文〔入会野山株讓渡につき〕〔円助他一名↓栄次郎〕	縦	一
三三五	文政一〇年一二月	亥御年貢質地名寄帳〔新立〕	横	一
三三六	文政一一年一二月	子御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三三七	文政一二年一二月	丑御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三三八	文政一三〔天保元〕年一二月	寅御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三三九	天保二年一二月	卯御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四〇	天保三年一二月	辰御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四一	天保四年二月七日	家督讓請覚〔讓請人軍蔵↓父町田栄次郎・親類〕	横	一
三四二	《享和二年、天保四年二月七日・六月》	持分畑山ヶ所調帳〔讓請人軍蔵他三名↓父町田栄次郎・親類衆中〕	横	一
三四三	天保四年二月七日		綴	一
一	天保四年二月	新館株敷讓請帳〔軍蔵〕		
二	《享和二年、天保四年二月七日》			
	天保四年二月	新館株敷讓請帳〔軍蔵〕		
三四四	天保四年二月	隱免書分帳〔軍蔵他二名↓町田栄次郎・親類衆中〕	横	一
三四五	天保四年一二月	巳御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四六	天保五年一二月	午御年貢質地名寄帳〔新古両組〕	横	一
三四七	天保六年一二月	未御年貢質地名寄帳〔村々〕	横	一
三四八	天保七年一二月	申御年貢質地名寄帳〔村々〕	横	一



三六九	〔中〕天保七〕年一二月 種木質地書付留〔地面并上毛諸木質入につき質地証文および年貢諸役書上〕	縦	一
三六〇	《天保三年一二月、天保六年一二月、三三》 明治二年六月 持分之内古組分字并畝歩書拔帳〔新館〕〔町田俊三郎〕	横	一
三五二	《文化四年一〇月、文久二年一月》 一 明治二年一月 買地比賀恵 《文化二年三月、文久二年一月》	縦	一
二〇	① 印紙〔包紙〕 ② 五錢印紙、一錢印紙	包紙 印紙 綴	一 二 一
三五三	一 明治四年四月 所持之分字并畝歩書拔帳〔町俊〕 二 明治四年四月 元来所持高之分書拔〔町田〕 《文化四年一〇月、天保八年一月》	綴	一
三	明治四年四月 天保九戌歳以来高入分書拔〔町田〕 《天保九年七月、元治二〔慶応元〕年三月》	横	一
三五三	明治四年八月 滝之前通り山畑ヶ所附覚 山中地所扣	横	一
三五四	《文化九年一月、弘化四年八月》 年賦山証文絵図〔町田〕	縦	一
三五五	《文化一三年一二月、天保七年二月》	縦	一
三五六	老番山畑図〔町田〕	縦	一
一	《文化一四年四月、明治三年五月》	縦	一

二 明治三年五月

中沢木の下畑絵図

三三七

(流質地証文)

《文政元年九月ゝ文久二年十一月》

三三八

一①

(流質地証文)

《文政四年三月ゝ嘉永元年一〇月》

一②

(字釜ノ入の山二ヶ所境の儀につき書付)

一③

(字釜ノ入の畑境の儀につき書付)

二

字焼岩山大凡図(流質地証文関連絵図)

三

(流質地証文関連絵図)(字名取沢山)

三三九

(持畑・持林の所在地・面積・四囲書上)

《文政四年一〇月ゝ文久二年十一月》

三三〇

二番山畑図(町田)

《文政九年七月ゝ弘化二年二月》

三三一

一

流質地証文之写

一①

流質地証文之写(上名栗村流地主多吉他六名↓栄次郎、山畑持人町田栄次郎他二名↓浅草今戸町おきみ)

《天保二年七月、天保三年五月》

一②

(流質地証文之写)(上名栗村流地主太吉他八名↓浅草今戸町藤田屋喜助)

《天保八年一二月》

一③

(流質地証文之写)(上名栗村流地主半次郎他八名↓安之助、上名栗村讓主安之助他二名↓江戸浅草今戸町藤田屋喜助)

縦 絵図

一

縦

一

状

一

状

一

絵図

一

絵図

一

横

一

縦

一

縦

一





《明治四年八月》

三六九

（縦）

一

（りよ跡地を流質地として請取ったので高反別を当方へ書き入れることの証文（前後）

欠）〔元地主りよ跡親類田嶋吉次郎他六名〕

《明治五年六月》

三七〇

藤田屋年賦山手控〔町田〕

横

一

《末年九月二〇日～申年十一月》

## L 町田家小作・店貸

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三七一	文化三年一二月	酒藏地代請取通〔同重郎兵衛↓町田栄治郎〕	横 一
三七一	《寅（文化三）年一二月〃酉（天保八）年一二月》		
三七一	文政四年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政五年正月〃未（文政六）年正月二五日》		
三七一	文政五年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政五年正月〃未（文政六）年正月二五日》		
三七一	文政六年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《正月〃一二月》		
三七一	文政七年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政七年正月〃酉（文政八）年正月》		
三七一	文政八年正月	店賃小作歳貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政八年正月〃戌（文政九）年二月》		
三七一	文政九年正月	店賃小作歳貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政九年正月〃亥（文政一〇）年二月》		
三七一	文政一〇年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政一〇年正月〃子（文政一一）年正月》		
三七一	文政一一年正月	店賃小作年貢取立帳〔町田〕	横 一
三七一	《文政一一年正月〃丑（文政一二）年正月》		

三六〇 文政一三(天保元)年正 店賃小作年貢取立帳〔町田〕

月

《正月～十二月》

三六一 天保三年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《正月～十二月》

三六二 天保四年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田軍蔵〕

《正月～十二月》

三六三 天保四年正月 古組分店賃小作年貢取立帳

《正月～十二月》

三六四 天保五年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《巳(天保四)年十二月～午(天保五)年二月》

三六五 天保六年正月 新組分店賃小作年貢取立帳(後欠)

《正月～十二月》

三六六 天保六年七月 地代店賃毎月入箇控〔町田栄次郎〕

《未(天保六)年三月一二日～酉(天保八)年六月朔日》

三六七 天保七年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《天保七年正月～酉(天保八)年五月》

三六八 天保八年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《正月～十二月》

三六九 天保一三年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

《天保一三年正月～卯(天保一四)年二月、弘化三年の貼紙あり》

三七〇

一 天保一四年正月 店賃小作年貢取立帳〔町田氏〕

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

三

三三九

丑寅小作年貢不納書出〔新館〕

三三九二

—

午年小作金内取覚帳

11

小作金請取覺帳

三三九三

小作金内取口分下調帳〔町田〕

三三九四

畑小作人名前帳〔町田〕

三三五

小作年貢取立下調帳

三三九六

小作年貢下調帳〔町田〕

三三九中

小作畑取調改帳〔町田〕

三三九八

小作畑改扣〔町田代宗蔵・惣治郎〕

三三九中

1

小作畑并作人取調帳

—

（小作畑并作人取調

1100

小作金之通〔新立↓甚之丞〕



—

—

— —

—

—

10

《文久三年五月ゝ子（元治元）年二月》

三〇二 文久三年八月 小作金取立差引帳〔町田〕

《弘化二年七月ゝ文久三年七月》

三〇三 文久三年八月 古小作金取立帳

三〇四 文久三年 小作金請取書抜扣〔町田〕

《亥（文久三）年二月九日ゝ辰（慶応四〇明治元）年七月一三日》

三〇五 文久四（〇元治元）年正月 子小作金取立帳〔町田〕

《文久四（〇元治元）年正月ゝ丑（慶応元）年七月》

三〇六 元治二（〇慶応元）年五月 丑小作金取立帳〔町田〕

《五月ゝ一二月》

三〇七 慶応二年正月 寅小作金取立帳〔町田〕

《正月ゝ一二月》

三〇八 慶応三年正月 卯小作金取立帳〔町田〕

《慶応三年正月ゝ辰（慶応四〇明治元）年正月》

三〇九 慶応三年六月 小作金書抜帳〔町田・瀧之内宗蔵〕

《六月ゝ一二月》

三〇一〇 慶応四（〇明治元）年五月 辰小作金取立帳〔町田〕

《五月ゝ一二月》

二 （地名・人名書上）

三〇一一

一 明治三年五月 小作畑見廻取調帳〔町俊〕

《五月一三日・一四日・一六日・一七日・一八日》

横

横

横

横

横

横

横

横

横

状

横

二	《明治四年》	(麦代、申・酉・戌・亥年穀数書付)	状	一
三	《明治三年〱八年》	(小作麦相場書付)	状	一
三二	明治三年五月	小作畑見廻〔町田俊三郎〕	横	一
三三	《午年五月一三日、午年五月一八日、午年五月一四日、午年五月一六日、五月一七日、五月一八日》		横	一
一	明治三年五月	小作年貢取立帳	横	一
二	《五月〱九月》	(小作人桑代金書上、入金書上)	状	一
三	《丑年六月一六日、申年一〇月朔日》	(畑別高・人名書上)	状	一
三三	《弘化二年一月、文久二年一月、嘉永五年一月、安政七(〓万延元)年正月、嘉永七(〓安政元)年一月》	小作桑代請取扣	横	一
三四	明治四年五月	小作年貢ノ出帳	横	一
三四	《四月二四日〱六月一六日、四月二九日〱九月二〇日、七月二日〱(一〇月)二二日》		横	一
三四	明治四年五月	小作年貢取立調	横	一
三四	《五月〱七月》		横	一
三四	明治四年五月	小作年貢不納書出	横	一
三四	《五月〱八月》	覚(小作金覚)	横	一
三四	明治四年七月	入箇帳(小作年貢金)〔新館〕	縦	一
三四	寅年一二月		縦	一
三四	《文化三年〱天保八年九月》		縦	一

三九

覚 (天保一四卯年々明治二巳年迄貳拾七ヶ年分小作金・店賃請取差引覚)

横

一

三四〇

一 覚 (小作金・用達金利息取り覚)

横

一

《午年八月二一日々九月二六日》

(釜入の持山五ヶ所境の儀につき書付)

三四二

二 小作金請取扣

横

一

《申年六月一九日々七月二四日》

覚 (小作金・店賃金受取・差引覚)

横

一

《二月々一二月》

覚 (大麦・小麦・受取覚)

横

一

《五月二二日々九月五日》

覚 (権現堂桑原代金など覚)

綴

一

三四四

一 覚 (壳柳・柏木・山下等桑代金覚)

覚 (藤吉ら六名分大麦・小麦・桑收穫量など覚)

覚 (七月九日改め分大麦・麦・桑收穫量および小作人など覚)

覚 (麦・桑代金および小作人など覚)

(麦・桑代金および小作人など覚)

心於宝恵 (小作畑覚) (角土)

(小作金取立帳)

六 覚 (麦・桑代金および小作人など覚)

三四五

横 横

一 一

三四六



# M 町田家金融

19 M 町田家金融

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三三七	文化七年正月	貸書抜之帳(時貸・酒代などの金銭貸方)〔新立町田浦之助〕	横 一
	《子(文化元)年八月一三日〰午(文化七)年二月一七日》		
三六六	文化一二年二月七日改	永代帳写(貸金勘定)	横 一
	《酉(文化一〇)年七月〰戌(文化一一)年五月三日》		
三六八	文化一二年	二月改分書出し帳(貸金・返金の改帳)〔新立〕	横 一
三六九	文化一五(〓文政元)年三	証文留(借金証文写)〔町栄〕	横 一
	月		
	《正月一八日〰辰(文政三)年一〇月朔日》		
三七三	文政三年八月	金銀附込帳(借金証文など写)〔上名栗村新館栄治郎〕	横 一
	《八月一日〰文政五年一月》		
三七五	文政三年二月	金銀控(貸金控)〔新立〕	横 一
	《五月二日〰酉(文政八)年五月二日》		
三七七	文政五年二月	金銀附込帳(貸金控)〔上名栗村町田栄治郎〕	横 一
	《文政五年二月一八日〰文政一〇年五月六日》		
三七八	文政七年	貸方書出し帳(貸金控)〔町安〕	横 一
	《六月一八日改》		
三七八	文政八年八月	貸方取調帳(貸金控)〔後欠〕	横 一
	《午(文政五)年二月一〇日〰文政八年四月四日》		

高六 文政一〇年正月 金銀附込帳（貸金控）〔上名栗町田栄治郎〕

《五月九日～文政一二年一月四日》

横

一

高七 文政一〇年二月 来子年楮手貸帳

横

一

《二月七日～二月二十七日》

高八

一 天保二年一〇月 かし覚帳（貸金控）〔名栗高ヶ谷半三郎〕

横

一

《一〇月一六日～二月二八日》

二 天保三年正月 万おぼへ帳（貸金控）

《正月二〇日～三月二十七日》

三

覚（金銭勘定覚）

四

覚（金銭使い方覚）

五

覚（米・みそ・なわなど金銭使い方覚）

《卯年～辰年》

高九

天保二年一〇月 団平頼母子覚帳

横

一

《一〇月一七日～申（天保七）年二月七日》

高四〇

（天保七年） 申五月山利勘定覚（利足金勘定）

高四一

天保一四年正月 証文控（貸金額など書拔）〔新館〕

横

一

《戌（天保九）年七月二十九日～巳（弘化二）年一〇月一三日》

高四二

天保一四年七月 金銀書拔帳（貸金額・年季など書拔）

横

一

《戌（天保九）年七月二十九日～酉（嘉永二）年十二月二八日》

高四三

弘化四年六月 証文金覚（貸金額・年季など書拔）

横

一

高四四

嘉永六年六月 証文金覚（貸金額・年季など書拔）

横

一

《午（弘化三）年二月～丑（嘉永六）年十二月》

三四五	嘉永七(＝安政元)年五月 金利納之通(金子請取控)〔軍藏〕	横	一
三四六	《五月二十五日辰(安政三)年一〇月一日》 嘉永七(＝安政元)年一〇 証文控(貸金控)	横	一
	月		
三四七	《一〇月九日卯(安政二)年九月》 安政三年正月 用達金証文控(金額控)〔町田〕	横	一
三四八	明治四年十一月 証文金比賀恵(父上様へ渡し金額・利足など控)	横	一
三四九	《天保一二二年六月明治四年九月》 辰年八月 証文扣(父上様へ渡し金額・利足などの控)	横	一
三四〇	覚(貸金勘定覚帳)	横	一
三四一	《亥年五月子年正月、天保四年三月一八日、天保五年一〇月二七日》 覚(金銭貸方覚)	横	一
三四二	《天保一二二年六月安政四年一二月》 覚(金銭貸方覚)	横	一
三四三	《弘化四年六月安政四年四月》 覚(貸金返済取調帳)	横	一
三四四	《丑年一二月午年一二月》 (店賃・利足など金銭勘定覚)	横	一
三四五	再応調(元金・利金取調覚)	横	一
三四六	覚(金銭貸方覚)	(横)	四

## N 山林経営

文書 番号	年 代	文 書 名	形態	数量
三三六	文政五年五月	持分山ヶ所附帳〔新立〕	横	一
三三六	《文政四年一〇月～文政一〇年》			
三三六	文政一二年六月	壳木杉檜改	横	一
三三六	《文政一二年六月～巳〔天保四〕年八月》			
三三六	天保二年五月	持分山ヶ所附帳	横	一
三三六	天保一四年正月	杉山間刈帳〔間刈・山仕事人足名前付帳〕〔新館〕	横	一
三三六	《正月六日～五月七日》			
三三六	天保一四年六月	手山壳木控〔新館〕	横	一
三三六	《天保一四年、天保一五〔弘化元〕年、嘉永三年～明治八年》			
三三六	天保一五〔弘化元〕年	杉苗植付扣	横	一
三三六	《天保一五〔弘化元〕年二月二日～三月九日》			
三三六	弘化二年正月	杉山間刈帳〔記載なし〕〔新館〕	横	一
三三六	弘化三年七月	入札壳揚帳	横	一
三三六	《七月二日》			
三三六	嘉永元年	杉苗買取帳	横	一
三三六	嘉永三年六月	壳木入札帳	横	一
三三六	《戊〔嘉永三〕年六月二八日》			
三三六	慶応二年一〇月	炭山壳木書抜帳〔新館〕	横	一

三六六	《寅（慶応二）年九月朔日～十一月一七日》 慶応二年々 炭山代金請取帳（炭山代金書抜并請取分控）〔町田〕	横
三六六	《寅（慶応二）年九月一日～辰（慶応四＝明治元）年正月二九日》 明治元年一〇月一八日 釜の入炭山入札帳（黒舟町藤田屋）	横
三六七	明治元年一〇月 釜の入炭山注文（藤田屋分炭山代金見積帳）	横
三六七	明治四年六月より 売木比賀恵（手山立木販売本数・代金控帳）	横
三六七	《明治四年七月～明治十二年》 明治四年六月 売木比賀恵（手山立木販売本数・代金控帳）〔新館〕	横
三六八	《明治四年～一四年》 丑年七月 豆口峠売木改（杉・檜売木改帳）〔藤田屋〕	横
三六八	卯年三月 新田山諸掛り帳（植林諸入用および米・味噌渡し帳）	横
三六八	《三月二九日～五月九日》 午年二月 売木控（杉・檜売木本数・代金勘定控帳）〔町田〕	横
三六八	《二月二九日～七月二五日》 《文化九年一月二六日～文化一四年三月二日》 焼谷山檜裁付手控（山代金、反別控）〔町田栄次郎〕	横
三六七	《寅年九月朔日～寅年十一月一七日》 （炭山立木販売覚）	状態
三六六	《寅年一〇月晦日～卯年八月九日》 覚（炭山代金内金入金勘定）	横
三六六	覚（初五郎・勇次郎分杉本数・代金・内金としての勇吉入山金請取）	（横）
三六六	《六月二三日》 （手山伐出し見積りおよび立木販売落札者書上）	横

(檜・杉立本調帳)  
(山崩れ・川欠け箇所覚)

横 横

一 一

# 0 材木商売

## 全般

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
三六三	文化三年四月	万改（材木伐出しなどにつき改帳）〔町栄〕	横 一
三六四	《四月一五日改》二月一一日改》		
三六五	文化四年きさらき	万扣（材木伐出しなどにつき改帳）	横 一
三六六	《卯（文化四）年二月二日》三月二九日》		
三六七	文化四年三月	万改（材木伐出しなどにつき改帳）〔町栄〕	横 一
三六八	《三月一八日》二月二二日》		
三六九	文化四年四月	（町田屋勘定控）	横 一
三七〇	《卯（文化四）年四月》巳年二月一四日》		
三七〇	文化五年六月	材木見立帳（立木本数書付）	横 一
三七〇	文化六年正月	万改（材木伐出しなどにつき改帳）	横 一
三七〇	《辰年二月七日》一〇月二三日》		
三七〇	文化一四年七月	小殿乗合人足日記帳〔新館〕	横 一
三七〇	《丑（文化一四）年八月三日》卯（文政二）年四月二四日》		
三七〇	文化一五（文政元）年三 月	杉注文書（杉立木調べ注文書）〔南村中沢幸四郎〕	横 一
三七〇	文政元年六月	材木仕入金銀請取帳〔中川原弥四郎・町田栄次郎〕	横 一

三〇九二 《寅（文政元）年七月二日〓卯（文政二）年十二月二七日》  
文政四年五月 杉皮之通〔麻屋伊八↓新館栄治郎〕

《五月二六日〓十一月二六日》

三〇九三

一 文政四年五月 杉皮附送り帳〔新館〕

《五月二六日〓十一月一六日》

二 巳年一〇月二八日 〔杉皮附送り覚〕〔麻屋伊八↓新館栄治郎〕

《五月一六日〓八月二四日》

三〇九四

文政五年七月 材木仕入金銀請取通〔久林世話人勇蔵↓上名栗村栄治郎〕

《午（文政五）年七月一八日〓未（文政六）年八月一三日》  
（御用木買上につき改帳）

三〇九五

一 文政六年一〇月 杉皮出し帳〔なくり邑新館〕

《未（文政六）年一〇月一七日〓》

二 《申年正月八日〓三月一〇日》 山出〔六郎右衛門分木挽山出書付〕

三 （不開）

三〇九六

文政七年五月 角出し金銀出入帳〔町田〕

《五月一日〓七月一三日》

三〇九七

文政七年五月 中沢山万寛帳〔材木伐出しなどにつき〕〔町田〕

《五月一九日〓六月一六日》

三〇九八

一 文政八年六月 材木仕入金銀請取通〔世話人惣治郎↓新館栄治郎〕

横

綴

横

綴

綴

横

横

横

綴

一

一

一

一

一

二

一

一

一



《酉（文政八）年六月二〇日、戌（文政九）年二月二四日》

二 《戌（文政九）年三月一九日》  
（兵右衛門乗筏注文帳）

三 《四月一日》  
覚（兵右衛門乗筏注文帳）

四 《四月二日出》  
覚（兵右衛門のり筏注文）

五 《三月七日、三月八日》  
（筏注文）

六 戌年五月二二日  
覚（兵右衛門のり筏注文帳）

七 文政九年六月  
筏註文（惣次郎掛り分筏注文）

八 《六月晦日、七月朔日》  
（兵右衛門のり筏注文）

九 《九月朔日、九月二日》  
覚（筏注文）

三〇 《九月一五日、九月二〇日》  
杉皮通〔飯能町炭屋文右衛門、名栗新立町田栄次郎〕

三〇 《正月五日、二月一日》

三一 文政九年五月  
材木仕入金銀請取通〔世話人惣次郎、新立栄次郎〕

二 《戌（文政九）年五月朔日、亥（文政一〇）年一〇月一八日》

二 戌（文政九）年一〇月一  
覚（兵右衛門のり筏注文）  
七日、十一月

三 覚（杉皮出荷にともなう入用）

四 覚（筏注文）

五 《二月一九日出し・二月二〇日・二月二二日》

（兵右衛門のり筏注文）

六 《四月八日・四月九日》

（筏注文）

七 《四月一七日出し・四月一八日》

（不開）

八 覚（兵右衛門のり・梅助のり筏注文）

九 《（文政一〇）年閏六月四日出し》

覚（筏注文）

一〇 《亥（文政一〇）年八月二四日出し、八月二〇日出し》

覚（兵右衛門分筏注文）

一一 《九月二三日・二四日》

（惣二郎分筏注文）

（筏のり人名覚）

一二 《九月二四日》

材木仕入帳（㊤乗合名栗新立）

三三〇二 文政九年六月

《戌（文政九）年六月二七日・亥（文政一〇）年二月八日》

西年仕入諸掛ノ出帳（勘次郎）

三三〇三 文政九年一〇月

永田山帳（永田山からの材木伐出しなどについて万控帳）

一 文政九年

覚（永田山からの材木伐出しなどについて万控帳）

綴 横

一 一

横

一

《八月と九月》

覚（筏注文）〔町田屋・藤田屋〕

覚（永田山分材木伐出しなど）〔□↓新立栄治郎〕

《二月四日》

IIIHOM

文政一〇年閏六月

中藤坂山注文帳（材木仕入注文）

三六〇六

(文政一〇)年閏六月

王懸り中藤坂山勘定見帳

三三〇七

文政一一年六月

王材木仕入金銀請取帳

《子（文政一）年四月二日、文政二年一〇月》

三五〇八

一文政一年六月

山材木仕入金銀請取帳

《子（文政一二）年六月一日、丑（文政一二）年四月八日》

覺（山印筏注文帳）

《九月三日》

覺（筏注文）

《九月一日》

覺  
(筏注文)

《九月三日、九月一〇日》

覺（筏注文）

《一〇月一七日》

覺  
(山印筏山下ケ人数書)

《一〇月一六日—一〇月一九日》

(不開)

八

(筏注文)

綴 横 横 横  
一 一 一 一

- 九 《三月五日～三月六日》  
覚（筏注文）
- 一〇 《五月二日～五月六日》  
丑（文政一二）年四月七日 覚（材木売代金覚）〔山〕  
日
- 二 《五月一日～五月二日》  
（筏注文）
- 三 《五月一日～五月二日》  
覚（筏注文）
- 三 《五月一〇日～五月一四日》  
覚（山杉丸太・栗・檜寸法木数改覚）  
（払い人足付）
- 四 《五月二〇日～二一日》  
（筏注文）
- 一五 《五月二五日》  
（筏注文）
- 一六 《五月二二日》  
（筏注文）
- 一七 《五月二三日》  
（筏注文）
- 一八 《五月二六日～五月二七日》  
（筏注文）
- 一九 覚（筏注文）
- 二〇 《五月二七日出～六月朔日》  
（筏注文）

《五月二十九日出》

二

(筏注文)

《五月二十八日・二十九日出》

三

(筏注文)

《六月二日出》

三

(筏注文)

《七月二五日》

四

(筏注文)

《七月二五日》

三

(不開)

六

(不開)

三〇九

文(政)一二年六月

諸掛ノ出帳(材木伐出しなどにつき)

[山]

《子(文政一一)年六月一九日ノ丑(文政一二)年九月一七日》

三〇

文政一二年六月

材木仕入金銀請取帳〔富五郎〕

《丑(文政一二)年四月ノ寅(文政一三〓天保元)年八月一〇日》

二

(杉など木数改め書付)

三〇二

文政一三(〓天保元)年六月

丑材木仕入金銀請取帳〔世話人惣次郎ノ新館栄次郎〕

月

《文政一三(〓天保元)年六月ノ一五年九月》

二

覚(筏注文)

《二月二六日ノ七月二二日》

横

一

綴

一

綴

一

三二

一 文政一三(天保元)年八 材木仕入金銀請取帳〔七八人儀八〕

月

《五日～一五年一月二日》

二 辰年一〇月

卯年仕切〔町田屋〕

三

(不開)

四

(不開)

五

(不開)

三三

天保二年正月

山杉皮出覚帳

三四

《寅(天保元)年二月～卯(天保二)年正月一日》

三五

天保二年正月

杉皮請取帳〔真能寺村佐左衛門↓上名くり新立番頭〕

三六

《正月五日～二月一三日》

三七

天保二年六月

諸懸ノ出帳〔材木伐出しなどにつき〕〔山〕

三八

《寅(天保元)年》

三九

天保二年六月

山材木仕入金銀請取帳〔世話人勘次郎↓新館栄次郎〕

四〇

《卯(天保二)年六月七日～辰(天保三)年閏二月九日》

四一

一①天保二年六月

鬼丸山伐出諸掛帳〔新館〕

四二

《六月一八日～辰(天保三)年六月一四日》

四三

一②〔筏組貫のり〕

四四

《九月六日～二八日》

四五

一③ 覚〔仕切金など勘定〕

《天保二)年二月一日～天保三)年閏二月四日》

綴

一

綴

一

綴

一

綴

一

綴

一

綴

一

二五	《九月一七日～二四日》 (筏注文)
二四	《九月一七日～二三日》 (筏注文)
二三	《九月一四日～一六日》 (筏注文)
二二	覚(材木本数改め)
二一	(不開)
二〇	(山注文ノ覚)
一九	《三月二三日・二四日》 (材木数改覚)
一八	《三月二三日・二四日》 覚(筏注文)
一七	④山注文覚
一六	《二月一九日～二月二〇日》 覚(筏注文)
一五	《二月一七日～三月一六日》 覚(筏注文)
一四	《二月一六日・一七日》 (筏注文)
一三	《二月一三日～二月一五日》 覚(筏注文帳)
一二	(不開)

《九月二八日・二九日》

三八

天保二年七月

杉皮附込通〔飯能原ニ而双木利八↓新立町田栄治郎〕

横

《七月六日〜一日二二日》

三九

天保二年九月

積附通〔杉・檜皮新河炭川船積附通〕〔新河岸伊勢屋源右衛門↓名栗宿町田屋栄次郎〕

横

《九月一五日〜一日二二日》

四〇

天保二年一〇月

中藤分杉皮附込請取通〔飯能原丸木佐左衛門↓新立町田栄治郎番頭〕

横

《一〇月一四日〜一二月六日》

四一

天保二年一二月

曲り窪山杉かわ出シ覚帳

横

《一二月二五日〜一二月六日》

四二

一 天保三年七月

田材木仕入金銀請取通〔世話人惣次郎〕

綴

《七月〜末（天保六）年正月二六日》

二

覚〔玉筏注文〕

《四月二九日》

三

覚〔筏注文〕

《四月二四日》

四

〔筏注文〕

《八月二三日》

五

覚〔玉筏注文〕

《九月朔日》

六

〔玉筏注文〕

《十一月一六日出シ》

七

十一月二八日

勝平仕切〔勝平分材木附送り仕切状〕



三三三

《巳年八月二三日〜一月二七日》

一 天保三年七月

山材木仕入金銀請取通〔世話人勘次郎↓町田栄次郎〕

《辰（天保三）年七月晦日〜》

二

（不開）

三

覚（筏注文）

《二月二七日〜二月晦日》

四

覚（山印など筏注文）

《四月二五日》

五

覚（山筏注文）

《八月四日》

六

（山・無印筏注文）

《八月八日・九日》

七

覚（筏注文）

《丑年八月四日出》

八

覚（山筏注文）

《八月二六日》

九

覚（山ニ印筏注文）

《九月二日》

一〇

手控（筏注文手控）（山）

《午年正月一七日〜巳年一月一六日》

二

手控（筏注文手控）（山）

《午（天保五）年二月一四日〜二月一五日》

三 八月八日 覚〔筏注文〕〔山〕

三 午年八月 菅番手控（杉皮・材木筏注文）〔山〕

《午年八月二四日～八月二六日》

四 午年八月 式番筏注文〔山〕

《八月二七日～八月晦日》

一五 覚〔山筏注文〕

《九月四日出》

一六 覚〔筏注文〕

《九月五日出》

一七 〔筏注文〕

一八 覚〔筏注文〕〔山〕

《一〇月一日出～一〇月一五・一六日出》

一九 〔材木仕切荷物書出し帳〕

《天保三年六月～未（天保六）年六月二四日》

三〇 天保三年八月 卯年仕入諸懸りメ出帳（材木伐出しなどにつき）〔山〕

《卯（天保二）年六月～辰（天保三）年八月二六日》

三三 一 天保三年八月 四材木仕入金銀請取通〔磯八〕

《天保三）年八月～（天保五）年七月》

二 〔不開〕

三六 天保四年正月 万控帳（河並貸金等など）

《八月二六日～十一月二六日》

三七

綴 一

横 一

綴 一

横 一

一	天保五年六月	町田屋山諸掛り帳 (後欠)	
	《六月二五日》 (天保六) 年正月二三日	(於竊筏上荷物高など覚)	
二	天保五年六月	全材木仕入金銀請取通 (世話人庄次郎)	横
	《七月三日》未 (天保六) 年六月二一日		一
三	天保六年七月	四材木仕入金銀請取通 (世話人利八↓町田栄次郎)	横
	《未 (天保六) 年四月六日》申 (天保七) 年五月二八日		一
一	天保六年七月	四材木挽物仕入帳 (世話人勘次郎↓町田栄次郎)	綴
	《未 (天保六) 年七月七日》申 (天保七) 年六月		一
二	(天保六) 年閏七月一八	覚 (材木本数書付)	
	日、八月四日		
三	天保六年七月	四材木挽物仕入帳 (世話人利八↓町田栄次郎)	横
	《(天保六) 年閏七月朔日》申 (天保七) 年正月四日		一
一	天保六年七月	④材木挽物仕入帳 (世話人庄次郎↓町田栄次郎)	横
	《六月二四日》申 (天保七) 年三月出し		一
二	《七月二四日》	(矢の上杉本数書付)	状
			一
一	天保六年七月	五材木挽物仕入帳 (世話人惣次郎↓町田栄次郎)	綴
	《七月》申 (天保七) 年二月一〇日		一
覚 (川又のり合、初五郎山筏注文)			

三 (玉印川又のり合筏注文)

《申(天保七) 年四月七日出し、五月二日出し》

四 申(天保七) 年五月 のり合勘定帳

《未(天保六) 年一〇月、申(天保七) 年四月二七日》

### 三五四

一 天保六年七月 玉材木仕入金銀請取通〔世話人物次郎↓町田栄次郎〕

《九月二日、申(天保七) 年二月二五日》

二 《一〇月》 (筏注文)

三 覚(川又乗合筏注文)

《四月七日出し、五月三日出》

四 覚(筏注文)

《五月二六日》

五 (玉積材木代金覚)

六 覚(材木代金など勘定覚)

《酉(天保八) 年十一月二六日》

七 (金高差引勘定覚)

《未(天保六) 年二月、申(天保七) 年六月》

八 (天保六年、天保七年) 未年仕入、出帳(材木伐出などにつき)

### 三五五

一 天保七年六月 今材木諸懸り、出帳(材木伐出などにつき)〔町田内庄次郎〕

《未(天保六) 年七月二日、(天保七) 年四月二九日》

二 未(天保六) 年四月 手控(筏荷物、材木手控)〔山〕

- 《四月五日～四月二一日》  
 三 山松角筏 (筏注文帳)
- 《四月二六日～四月二七日》  
 四 (筏注文帳)
- 《五月三日》  
 五 (筏注文帳)
- 《五月一二日～五月一六日》  
 六 (筏注文帳)
- 《五月一九日～五月二〇日》  
 七 (筏注文帳)
- 《五月二二日～五月二四日》  
 八 未 (天保六) 年六月一三 覚 (筏注文帳)
- 日
- 三五六  
 一 天保七年六月 山材木仕入金銀請取通〔世話人勘次郎↓町田栄次郎〕  
 《八月二三日～酉 (天保八) 年八月二五日》  
 二 (筏注文)
- 《八月一七日出》  
 三 覚 (筏注文)
- 《九月二七日出、九月晦日出、一〇月四日出》  
 四 申 (天保七) 年一〇月二 覚 (筏注文)
- 六日出  
 五 (筏注文)

《八月二七日出〜二月二八日》

六 酉（天保八）年四月 手控（筏注文）〔四〕

《三月晦日〜四月二日》

七 酉（天保八）年四月八日 覚（筏注文）〔四〇↓勘次郎〕

八 覚（筏注文）

### 三三七

一 天保七年六月 四材木仕入金銀請取通〔世話人利八↓町田栄次郎〕

《申（天保七）年八月二七日〜酉（天保八）年一月一九日》

二 覚（四筏注文）〔中川原↓上〕

《九月一日出》

三 覚（筏注文）

《九月二三日》

四 杉本山削覚

《一月七日改》

五 覚（四印筏注文）〔中河原利八↓新館〕

《一〇月一八日〜一〇月二二日》

六 覚（利金など勘定）

《九月〜酉（天保八）年一〇月》

七 （金銭ノ方覚）

《申年六月九日〜酉年五月一〇日》

### 三三六

一 天保七年七月 材木仕入金銀請取通〔森河原勇次郎↓町田栄次郎〕

《七月二一日出〜酉（天保八）年八月七日》

二	(材木木挽など賃金覚)	
三	(大貫・中貫・三寸・小貫数書付)	
四	(杉出荷本数・代金覚)	《七月二日～七月二三日》
五	(材木本数書付)	
六	(材木本数書付)	
七	覚(材木本数書付)	《申年八月二四日》
八	(杉・栗・檜木数書付)	
九	覚(筏注文)	《八月二七日～九月四日》
一〇	覚(筏注文)	《九月二七日》
一一	覚(筏注文)	
一二	覚(筏注文)	《一〇月一二日出》
一三	勘定覚(人足日記勘定)	《九月五日～酉(天保八)年六月二〇日》
一四	(なわ代、木出人足名前書付)	《八月一日～八月二二日》
一五	(木出し人足名前書付)	《八月二三日～八月二六日》
一六	(全分金銀書書付)	

三五九 天保七年八月 諸掛り金請取通〔中藤村権左衛門〕上名栗村栄次郎・深川吉永町田屋安助〕

《八月九日〓酉（天保八）年八月二十六日》

三六〇 天保八年十一月 四申歳仕入勘定帳〔利八〕

《申（天保七）年六月九日〓酉（天保八）年十一月一九日》

三六一

一 天保八年十一月 ⑤申歳仕入勘定帳〔庄次郎〕

《申（天保七）年九月七日入〓酉（天保八）年十一月二七日》

二

（金銭書付）

《酉（天保八）年四月〓一〇月》

三

（月別金銭勘定書付）

《申（天保七）年二月四日〓酉（天保八）年四月二日》

三六二

天保一〇年六月 我野山諸色通〔名栗新立〕はん能町酒屋八左衛門〕

《亥（天保一〇）年六月〓丑（天保一一）年三月三〇日》

三六三

天保一三年六月 諸払帳〔材木仕出金銭出入〕〔名栗新館〕

《七月二八日〓一二月二八日》

三六四

天保一三年一二月書拔 万取〔細縄など代金請取帳〕〔井半〕町田屋〕

《八月〓一二月二七日》

三六五

一 天保一四年三月 諸払帳〔井上山伐出し等の諸払い帳〕〔丸土井上山〕

《正月二六日〓辰（天保一五〓弘化元）年四月一四日》

二

（不開）

三六六

天保一四年四月 人足〓〔武州高麗郡井上山伐出人足帳〕〔町田家〕

《四月一二日〓五月一二日》

横

一

横

一

綴

一

横

一

横

一

横

一

横

一

状

一

横

一



三五四 天保一四年五月 井ノ上山注文(材木本数書付)〔(町田家)〕

三五四 天保一四年六月 材木仕入帳〔新館〕

《天保一四年六月二五日》

三五四

一 天保一四年六月 杉皮丸キ高覚帳〔新館〕

《七月二日始メ八月二九日》

二 覚(山出し材木数覚)

三五四

天保一四年一月

相四分板積附書〔川船積附〕

〔扇河岸揚本忠次郎↓町田保助〕  
(マ)

《一月三日〜一月一六日》

三五四

一 (人足酒代などの通帳)

《卯(天保一四)年一二月〜辰(天保一五〓弘化元)年三月》

二 天保一四年二月

万覚帳(米・味噌遣い方覚帳)〔仁王沢新館〕

《一月朔日〜(天保一五〓弘化元)年三月分》

三五四

天保一五(〓弘化元)年六 材木仕入帳〔新館〕

月

三五四

天保一五(〓弘化元)年七 井上山万時貸覚帳〔名栗新館〕

月

《卯(天保一四)年三月二八日〜午(弘化三)年九月朔日》

三五四

天保一五(〓弘化元)年七 井上山金銀出入帳〔町安〕

月

《辰(天保一五〓弘化元)年七月二四日〜未(弘化四)年六月七日》

三五四

天保一五(〓弘化元)年七 井上山日雇勘定帳〔町安〕

横

横

綴

横

綴

横

横

横

横

月

《辰（天保一五〓弘化元）年八月一四日〓未（弘化四）年正月二五日》

三五六

天保一五（〓弘化元）年七 井上山人足日記帳〔新館〕

月

《七月一二日〓一月二三日、二月二六日〓巳（弘化二）年九月、午（弘化三）年六月一六日〓七月三日》

三五七

天保一五（〓弘化元）年一 我野井ノ上山日雇・月メ・小貸口取帳（町田家）

一月

《二月一四日〓巳（弘化二）年二月三日》

三五八

天保一五（〓弘化元）年一 井上山人足日記帳

二月

三五九

弘化二年正月 仕入諸掛り覚帳〔上名栗森河原安間勇吉〕

三六〇

《巳（弘化二）年六月〓午（弘化三）年四月》

三六一

弘化二年正月 万俵帳（材木・皮など仕入につき勘定俵付帳）〔新館〕

三六二

《正月六日〓午（弘化三）年正月》

三六三

弘化二年八月 杉伐人足帳（町田家）

三六四

《八月九日〓午（弘化三）年六月一六日》

三六五

弘化二年九月 万改帳（杉板出荷につき改め帳）

三六六

《七月二二日改メ》

三六七

弘化二年二月 万覚帳（杉伐初め・筏組・筏流しなどの勘定覚帳）

三六八

《二〇月一二日〓一月二七日改》

三六九

弘化三年正月 木出シ人足帳（町田家）

三七〇

《正月七日〓二六日》

三七五

弘化三年正月 杉皮出し覚帳（町田家）

横

一

横

一

横

一

縦

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

《正月一八日・正月三〇日》

三六六 弘化三年二月 万覚帳（材木伐出しにつき本数など覚帳）〔岡部惣次郎〕

《二月一四日・三月六日》

三六七

一 弘化三年七月 万勘定覚帳（材木伐出し人足勘定帳）

《午（弘化三）年一〇月一三日・未（弘化四）年八月二日》

二 弘化四年 井上山・平戸山筏人足勘定帳

《未（弘化四）年四月一〇日出・（嘉永元）年一月一二日》

三六八 弘化三年一〇月 根子坂山飯米通〔新館〕

《二〇月一一日・（弘化四）年二月一四日》

三六九 弘化四年二月 上白岩飯米通〔新館〕

《二月一五日・三月八日》

三七〇 弘化四年三月 切窪山飯米通〔新館〕

《三月一九日・四月二二日》

三七一 弘化五（嘉永元）年正月 檜平方覚帳（下平山）〔⊕上井上むら杣中間〕

《二月一五日・五月朔日》

三七二 嘉永三年七月 人足日記帳（西之久保山）〔新立⊕本〕

《七月一日・一二日》

三七三 嘉永三年七月 正覚寺入・西ノ前入覚帳〔新館〕

《七月一八日・八月一八日》

三七四 嘉永三年八月 万おほえ帳（白紙綴り）〔木場藤尾〕

三七五 嘉永五年正月 当座日記帳〔新館〕

《亥（嘉永四）年一二月二二日・子（嘉永五）年一二月二六日》

横 一

綴 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

三五六

嘉永五年七月

杉皮出き高帳〔名栗新館〕

横

一

三五七

〔安政〕  
一年正月

附込帳〔材木・杉皮伐出し附込帳〕〔新館〕

横

一

《正月四日～二月二九日、安政三年正月一七日～二月二九日》

二  
〔辰〕年一月一六日

〔辰九月五日・二日分のはまいはる□川原迄の材木・杉皮の覚〕〔ひかけ源蔵→土様〕

状

一

《辰年九月五日・二日》

三

〔不開〕

卯年七月

覚〔杉数、人足の覚〕〔白岩政八山↓新立〕

状

一

四

〔人足勘定〕

横

一

《四月六日～五月四日》

三五八

安政三年正月

山注文〔立木入札覚〕〔町田〕

横

一

《二月三日～八月一六日》

三五九

一  
安政三年

藤覚〔ふじつる束数・代金覚〕

横

一

《三月二日～四月二日》

二  
安政三年七月

ふじ井ニつる仕入帳〔新立〕

横

一

《辰年七月二六日～二月二五日、巳年四月二〇日～一月六日》

三

〔ふじ井ニつる仕入につき金銭の覚〕

状

一

《辰年一〇月一〇日～未年九月八日》

四

〔藤代払いの覚〕

状

一

五

〔金銭差引勘定〕

状

一

《一〇月二日・二五日》

	六①	未年七月勘定改	(藤代勘定の覚)〔夫惣次〕	状	一
		《辰年一〇月一〇日〓巳年九月四日》			
	六②	巳年八月一五日	覚(藤代金渡方の覚)	状	一
	七①		(藤代金渡方の覚)	状	一
		《八月一九日〓一月朔日》			
	七②		(藤代内渡の覚)	状	一
		《辰年一〇月一〇日〓未年九月三日》			
	三六〇	安政三年七月	人見向杉伐り(人足勘定)	横	一
	三六一				
	一	安政三年	安政三辰年四分勘定入附込帳	横	一
		《七月一三日〓巳年七月二五日》			
	二		(金錢勘定)	状	一
		《辰年二月一七日》			
	三		(材木代金払方の覚)	状	一
		《辰年一〇月四日払》			
	四		(檜・杉の寸法・数量の覚)	状	一
	五		(人足賃金の覚)	状	一
	三六二	安政五年三月	手控(筏注文)〔④内政五郎〕	横	一
		《三月七日〓五月二・三日、一二月一二日〓一七日、未年正月七日〓四月二三日》			
	三六三				
	一	元治元年五月	入札山注文〔真知田〕	横	一
		《六月二四日・七月二一日》			
	二		(材木数の書付)	状	一

三	(材木数の書付)		
三五四	慶応四(明治元)年正月 材木荷物引取帳〔新立〕	横	一
	《卯(慶応三)年三月辰(慶応四明治元)年三月一七日》		
三五五	明治二年正月 材木駄賃其外内貸扣〔新館〕	横	一
	《正月六日～二月二六日》		
三五六	明治二年正月 登津分沢山諸掛り控(人足名付帳)	横	一
	《七月二八日～二月二二日》		
三五七	明治二年正月 諸荷物改帳	横	一
三五八	明治二年三月 山伐并諸懸り控帳	横	一
	《三月二〇日～午年一〇月二〇日》		
三五九			
一	明治二年六月 杉伐人足覚帳	横	一
二	《七月二日～九月一七日》 覚(中指手山・仏ノ入・元次郎山材木伐賃金・米の覚)	横	一
	《七月二日～八月二六日》 覚(材木伐賃金の覚)	横	一
三	《巳年七月一三日～二月二四日》 覚(松土ぜ山杉伐り人足延人数の覚)		
四	(公秋ヶ谷・大宅人足延べ人数の覚)	状	一
五	(大宅・公秋ヶ谷式番口杉伐り人足賃金・白米の覚)	状	一
六	覚(大宅分はか人足賃金の覚)	状	一
七	(伐賃の覚)	状	一
八	(人足日記・勘定)	状	一
九			

三九〇	《七月二日〜八月二日》	土分（人足日記・勘定）	状	一
二〇	《巳（明治二）年六月晦日〜八月一日》			
三九〇	一 明治二年六月	山注文扣（出）	横	一
二	《七月四日〜七月九日》	手扣（麻疹流行・懸り金につき書状下書）〔町田〕	状	三
三	戊辰卯月	覚（人足賃の覚）	状	一
四	《二月二七日〜二八日》	歳暮書拔	状	一
五		覚（米・金の覚）	状	一
三九一	《戌年一二月二七日〜二八日》			
三九二	明治二年七月	杉切覚帳（松渡心手山④分）〔人足中〕	横	一
三九三	明治二年八月	杉伐諸懸り控帳	横	一
三九四	明治二年	明治二年々杉伐木扣	横	一
三九五	《三月六日〜七月二七日、明治五年》			
三九六	明治二年〜二二年	勘定扣（材木代金差引勘定控）〔中〕	横	一
三九七	明治二年〜二二年	勘定記（材木代金差引勘定）	横	一
三九八	《明治二年八月〜》			
三九九	明治三年三月	山代并諸懸り覚帳	横	一
四〇〇	明治三年六月	万俵大宝恵（貫・杉皮など人足仮覚帳）	横	一
四〇一	明治四年二月	杉檜角改控（材木本数改帳）	横	一
四〇二	明治四年四月	材木仕入帳	横	一

《午（明治三）年七月～（明治四）年九月》

三六〇〇 明治四年六月

杉伐り覚（立木調査および生産物の覚帳）

横

三六〇一 明治四年八月

豆口山杉伐り勘定帳（人足賃金勘定ならびに白米・味噌代金など勘定帳）〔町俊〕

横

《明治四年七月二十八日～》

三六〇二 明治四年九月

杣方勘定帳〔町俊〕

横

《明治四年九月三日～明治五年三月二十九日》

三六〇三 明治四年九月

杉檜角削高メ出〔町俊〕

横

《明治四年九月～明治五年三月》

三六〇四 明治四年一〇月

仮改帳（貫・角材本数仮改帳）〔町田家〕

横

三六〇五 辛未（明治四）年一〇月

相場帳（材木種別相場帳）

横

三六〇六 寅年二月

堂平角出し（人足賃銀払い帳）

横

三六〇七 寅年七月

井上山万手控（井上山よりの伐木手控）〔なぐり新立〕

横

《八月三日～九月二十八日》

三六〇八 寅年十一月

尺メ覚（尺メ本数・代金覚）

横

《十一月二十九日改》

三六〇九 卯年

卯年仕入メ出帳（材木仕入本数および筏流しにつき）

横

三六一〇 辰年正月

川岸出杉皮駄賃書出

横

《一〇月一五日～正月》

三六一一 辰年一〇月

万覚帳（材木本数・筏注文）

横

三六一二 巳年二月二三日

間地改（尺メ本数見積り）

横

三六一三 巳年九月二十九日改

覚（端ヶ原山諸懸り書抜）

横

三六一四 午年三月一二日

覚（萩の谷山檜元木数覚）

横

三六一五

横



一	午年五月一四日	(秋ヶ谷上廻り口の杉・檜材の木数)	横	一
二	午年五月六日	覚 (秋ヶ谷大角出し勘定)	状	一
三	午年七月	覚 (秋ヶ谷角出し勘定)	状	一
三六六	《卯年九月七日～午年七月》	井上山人足書 □ (人足賃錢覚帳) [新館]	横	一
三六七	申年七月三日改	(富士房向など檜立木寸法改帳)	横	一
三六八	申年一二月	半掛り仮請取控 (材木仕出し諸掛り請取控) [庄次郎]	横	一
三六九	《六月一九日～西七月一日》	未・申年仕入中川原世話勘定帳 (未・申年材木仕入勘定帳)	横	一
三六〇	酉年八月	勘定メ出し帳 (権左衛門分材木仕出しにつき)	横	一
三六一	《申年一〇月二〇日》	戌年仕入勘定帳 (材木仕入、買入荷物など代金勘定帳)	横	一
三六二	(戌年)	中藤山注文 (材木仕入注文控帳)	横	一
三六三	亥年六月	亥年仕入勘定帳 (材木仕入・買入物・山代金勘定帳)	横	一
三六四	(亥年)	覚 (木出し、筏川下げ諸懸り覚)	状綴	一
一	《四月朔日》	(金錢勘定の覚)		
二	《午年七月～未年二月》	覚 (筏注文の金錢受取)		
三	五月二日	筆まめ (材木伐出し、販売などの手控)	横	一
三六五	《寛政一〇年～文化八年》			

三六六

よろつ覚（材木商売につき万覚帳）

横

一

三六七

《戌（享和二）年七月ゝ子（文化元）年》

杉皮束高ひかへ〔町栄〕

横

一

三六八

《文化三年六月ゝ文化四年四月》

（材木商売などにつき万覚帳）

横

一

三六九

《文政六年二月ゝ文政一二年正月》

万改（杉皮・貫材・板材などの土場調控帳）〔新館〕

横

一

三七〇

《酉（文政八）年一二月ゝ亥（文政一〇）年閏六月》

（角取り帳）

横

一

三七一

《文政一〇年一二月》

（材木商売などにつき万覚帳）

横

一

三七二

《文政一一年二月一日ゝ天保六年六月八日》

覚（伐出し、木挽、筏川下げ諸掛り覚）

横

一

三七三

《巳（弘化二）年六月ゝ午（弘化三）年閏五月》

手飛哥恵（材木商売につき）〔町田氏〕

横

一

三七四

《戌（嘉永三）年六月二日ゝ万延元年八月一〇日》

覚（藤つる買入につき）

横

一

三七五

《寅年七月二日ゝ八月一六日》

寅年仕入々出帳（材木仕入本数および筏流しなどにつき）

綴

一

一

《卯年三月一日、三月二三日、四月二三日》

（浅太郎山分、寅年仕入丸キ高覚）

二

三

（貫板伐出し数付覚）

三六六	《二月一日～二月二日》	覚（山代内渡し、懸り金、口米覚）（表紙欠）	横	一
三六七	《卯年六月二三日～七月二日、六月二八日～七月二三日》			
一	《卯年六月～》	覚（字大久保ほか二ヶ所の杉・檜立木代金見積り書）	横	一
二		覚（字大久保ほか二ヶ所の杉本数書付）	状	一
三六八	《卯年八月～辰年九月三日》	山・玉卯年仕入筏杉皮出改（材木・杉皮山出し改帳）	横	一
三六九	《卯年》	覚（材木伐出し見積り覚）	横	一
三四〇	《辰年六月晦日～巳年二月二四日》	（材木伐出人足日記覚）（前欠）（仲ヶ間物富次郎・松次郎・新重郎・五兵衛・栄次郎）	横	一
三六一	《辰年二月五日～巳年九月二日》	色々勘定入用控	横	一
三六二	《辰年二月二九日～巳年八月二七日》	覚（材木・穀物有高調べ帳）	横	一
三六三	《巳年二月一日～二月三日》	（杉皮背負出し覚）	横	一
三六四	《巳年二月二八日～午年正月一〇日》	（筏川下げ入用控ならびに牛方吉兵衛運び穀物覚、駄賃覚）	横	一
三六五	《巳年二月二八日～午年正月一〇日》	（筏川下げ入用控ならびに牛方吉兵衛運び穀物覚、駄賃覚）	綴	一
一	《巳年二月二八日～午年正月一〇日》	（筏川下げ入用控ならびに牛方吉兵衛運び穀物覚、駄賃覚）	綴	一

午年勘定帳（筏乗り賃、人足賃勘定帳）

《午年二月分》

二

(人足出勤書日数付)

三

(午年分・未年分金銭書付)

《午年・未年》

四

(人足出勤人数覚)

《午年二月》

三六四六

(材木商売万覚)

《未年四月一六日～九月二〇日》

三六四七

覚(境之沢等からの伐出、筏流諸掛り見積覚)

《未年六月二八日～七月三日》

三六四八

辰巳仕入メ出帳(材木仕入本数および筏流しなどにつき)

《未年六月改》

三六四九

覚(材木仕出し、皮駄賃)

《未年一〇月一八日～一二月》

三六五〇

申年仕入諸懸リメ出帳(材木伐出しなどにつき)〔山〕

《申年六月二五日～酉年七月》

三六五一

(材木伐出し筏積み、川懸りなど諸入用勘定帳)

《申年六月二五日～八月八日》

三六五二

仕入山勘定(中藤村権左衛門への筏仕入金勘定)〔↓中藤村権左衛門〕

《申年十一月朔日～酉年八月二六日》

三六五三

(伐出人足勘定覚)(前欠)

《戌年七月一三日相済》

三六五四

覚(杉皮駄賃)

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

三六五	《戌年一二月一四日～亥年六月六日》	杉檜注文大宝得（材木仕出し見積り覚）	横	一
三六六	《亥年七月三日～亥年八月一二日》		綴	一
一		堂平山杉伐り（人足覚帳）		
二	《三月二〇日～四月二七日》	覚（国うつ沢栗木伐り人足覚帳）		
三六七	《二月三〇日～三月八日》	（木出し、筏組人足覚帳）	横	一
三六八	《四月二一日～五月九日》	（材木商売につき万覚）〔町郡〕	横	一
三六九	《五月二九日～申年九月一三日》	藤田屋人足酒代手控	横	一
三六〇	《六月二四日～戌年四月二七日》	（材木仕出し見積り綴）	状綴	一
三六一	《六月二七日改～七月二八日改》	（材木本数、尺メ調）	横	一
三六二	《七月一〇日改メ～十一月二九日改メ》	覚（丑方寅治郎分の材木本数改め覚）	横	一
三六三	《七月一三日前》	（丑方寅治郎分の材木本数改め覚）	横	一
三六四	《七月一八日より一〇月朔日》	（すこう沓番から三番、山中忠右衛門入の立木本数調）	横	一

《八月二五日》

三六五

(角出し人足名前書付)

(横) 三

《一月二日～二月二日》

三六六

(土橋木出し扣)

横 一

《一月二五日～二月二日》

三六七

(鬼丸山・源二郎山など伐出、木挽、筏川下げ掛り金覚)

横 一

《一月□□》

三六八

(貫背負出し覚)

横 一

三六九

覚(字なかいひら・字糸の木久保からの伐出し材木数と伐出し、筏流入用覚)

横 一

三六七

覚(字豆口峠などからの杉・檜材本数、木取見積、代金などの覚)

横 一

三六七

(材木商売につき万覚)〔町栄〕

横 一

三六七

(名郷沢藤田屋山などからの材木伐出、筏組みなど諸入用勘定覚帳)

横 一

三六七

町場手控(土場より各山迄の歩数手控)〔町栄〕

横 一

三六八

(材木など江戸市場値段より運賃を引き山元値段段算出覚)

横 一

三六七

(日雇人足勘定覚)(前後欠)

横 一

三六七

(檜丸太、杉丸太寸法別本数覚)

横 一

三六七

おほへ(木本数覚)

横 一

三六八

甲州巨摩郡雨畑山字御馬谷諸木伐り出し仕様帳(山入用・月割金なども併記)〔甲州

横 一

三六九

山梨郡牧平村島屋半兵衛)

横 一

三六八

(杉皮・炭・筏下げ勘定覚)

横 一

三六八

(切久保山他材木本数覚帳)

横 一

三六八

(杉・杉皮代金覚)

横 一

三六八

(立木本数調)

横 一

三六三

(立木本数覚)

横

一

三六四

(材木数覚)

(横)

一

三六五

覚 (個人別束数覚)

横

一

覚 (個人別束数覚)

横

一

覚 (勝平方貫類代金)

(横)

一

三六六

# 木 挽

三六七

文化九年一月一日

木挽覚帳 (山光神入木挽覚帳)

横

一

《二月一日〜二月一日》

三六八

文政四年七月

徳左衛門山挽木仕入懸り帳 (セ話人勘次郎・要介・金主栄次郎)

横

一

《巳 (文政四) 年七月一日〜午 (文政五) 年四月二九日》

三六九

文政五年六月

天寺山挽木諸懸り渡帳 (新館セ話人勘次郎・要介・金主栄次郎)

綴

一

午年九月六日

覚 (源八注文分材木覚)

三

《末年正月一七日改》

覚 (天山伐木覚) (新館↓勘右衛門)

四

《二年一二日片付》

(木数改書付)

五

《四月一八日》

(大貫束数書付)

六

七

(板・割・貫改書付)

《四月一八日改》

三六〇 文政五年一月

《二月一日—二日》

八王寺山杉皮請取帳（杉皮並に板・貫・角勘定帳）

三六九 文政六歲七月

挽木仕入帳〔世話人勘治郎↓名栗新館町栄〕

《未（文政六）年七月二日》申（文政七）年二月一五日》

三九二 文政六年一二月

馬之助山・八ヶ原山挽山勘定帳〔あな沢勘三郎〕

《未（文政六）年一二月二六日》

三六五  
文政七年七月

釜淵山挽木仕入帳〔セ話人勘次郎↓町田〕

《申（文政七）年七月一九日》

三六九四

一文政七年二月 天寺・八王子・馬之介・はしか原山々板貫仕切帳〔世話人〕

御手山挽削掛り帳

《申（文政七）年二月一五日》

三六五  
文政九年六月

王仕切改（但し表紙、入沢山貫引取帳）

《亥（文政一〇年か）二月二七日入ゝ天保六年六月割合渡》

三六六 文政九年六月

野取挽高帳〔穴沢村半次郎〕

《六月八日～七月三日》

三六七 文政九年八月

挽木野取帳〔平乗合（町田）〕

《八月六日～九月九日》

三六九 文政一〇年閏六月

中藤・坂山注文帳（貫数量覚）

三六九九

①文政一一年七月

挽木仕入金借り請通〔并沢友次郎↓新館栄次郎〕

橫

橫

橫

樁

經

構

構

檣

檣

縉



② 覚（挽木仕入金覚帳）

③ （源八分勘定覚）

④ 《丑（文政一二）年一〇月二三日》

① （不開）

② （源八分材木積出し書付）

③ （材木数書付）（前後欠）

④ （材木数書付）（前後欠）

三〇五 文政一二 年四月 秩父山槻板注文改（木挽改帳）

《六月残分改》

三〇六 文政一二（＝天保元）年三 挽物仕入金銀請取帳

月

三〇七 《文政一二（＝天保元）年三月～天保二年四月》

三〇八 文政一二（＝天保元）年七 玉挽木仕入金借り請通〔并沢友次郎↓上名栗村栄次郎〕

月

三〇九 《寅（文政一二＝天保元）年七月一二日～六月六日》

三一〇 文政一二（＝天保元）年七 玉挽木仕入金借り請取〔中沢庄右衛門↓上名栗村栄次郎〕

月

三一〇 《七月～卯（天保二）年五月八日》

三一〇 文政一二（＝天保元）年七 挽木仕入金銀請取帳〔万次郎↓上名栗村栄次郎〕

月

三一一 《□月□日～卯（天保二）年三月二一日～辰（天保三）年九月六日》

三一一 文政一二（＝天保元）年一 板貫挽高帳

二月

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

《十一月五日～十二月三日》

三七六

一 天保三年正月 まがり窪山木挽覚之帳〔新立〕

《たつ（天保三）年正月二日～三月二六日》

二

覚（米代など入用勘定覚）

三七七

天保三年正月 中沢山万木挽おほへ帳（野取帳）〔市良右衛門〕

《辰（天保三）年正月二四日～四月一八日》

三七八

天保五年正月 木挽野取帳〔町田軍藏〕

《巳（天保四）年一二月分～未（天保六）年二月》

三七九

天保五年一〇月 白岩木挽口取帳〔町田家〕

《一〇月～一一月二九日》

三三〇

天保七年二月 木挽野取帳〔新館〕

三三一

天保八歳七月 蟬差山勘定（貫・挽・削勘定帳）〔中河原〕

《申（天保七）年一二月～酉（天保八）年五月、酉（天保八）年五月、酉（天保八）年一〇月二三日改》

三三二

天保一四年三月 木挽野取帳〔名栗新館〕

《卯（天保一四）年正月二三日～五月一日》

三三三

天保一四年卯ノ月～辰（天万改覚（貫材木売買につき万改覚）〔并沢長吉～なくなり新立〕

保一五〓弘化元）年九月

《卯（天保一四）年一〇月五日～辰（天保一五〓弘化元）年九月》

三三四

天保一四年八月 板貫改覚帳〔并沢長吉〕

《卯（天保一四）年八月一日～巳（弘化二）年四月二三日》

三三五

天保一四年一〇月 仁王沢山木挽野取帳〔新館〕

《一一月一日～》

横

一

状

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

三七六 天保一五(＝弘化元)年三 大貫挽方改覚帳〔↓武州高麗郡上井上村木挽中〕

月

三七七 天保一五(＝弘化元)年五 豆口谷挽木覚帳〔新館内半三郎・半蔵〕

月

《二九日(＝翌)二六日》

三七八 天保一五(＝弘化元)年一 諸荷物請取控帳〔木挽〕〔新館〕

〇月

《一〇月一二日(＝弘化二)年六月一二日》

三七九 天保一五(＝弘化元)年一 挽木野取帳〔町田家〕

〇月

《一〇月一四日(＝十一月二九日)》

三七〇 弘化二年正月 端ヶ原木挽野取帳〔新館〕

《正月九日(＝二月一日)》

三七二 弘化二年二月 八ヶ原山木挽帳〔新館〕

《二月一〇日(＝二月二日)》

三七三 弘化二年五月 挽木おほえ〔挽木野取帳〕〔新館内音次郎〕

三七三 弘化二年六月 しらや貫山出シ控帳〔町田家〕

《五月朔日(＝七月七日)》

三七四 弘化二年一二月 挽木野取帳〔栃平山挽木野取帳〕〔町田家〕

《一二月三日(＝午(弘化三)年五月一九日)》

三七五 弘化二年一二月 木挽勘定帳〔黒かし木挽勘定帳〕〔町田家〕

三七六 弘化三年正月 笹の山木挽日記帳〔④新館善次郎〕

《巳(弘化二)年一〇月二三日(＝三月二五日)》

横 横

一 一

横

一

横 横

一 一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

三七七 弘化三年四月 木挽勘定帳

《巳》(弘化二) 年冬残り午 (弘化三) 年ノ春々》

三七六 弘化三年四月 根子坂木挽野取帳〔町田家〕

《四月一九日～六月一八日》

三七五 弘化三年四月 釜之入木挽野取帳〔新館〕

《午》(弘化三) 年四月二四日～未 (弘化四) 年四月二〇日》

三七〇 弘化三年八月 松后瀬山木挽野取調〔新館〕

《八月一四日～一二月二七日》

三七三

一 弘化三年一〇月 根子坂木挽野取帳〔新館〕

《一〇月三日～未 (弘化四) 年四月一五日》

二 弘化三年一二月 野取之帳 (根子坂山木挽野取帳半三郎分)

《一二月二八日～一二月一〇日》

三 弘化三年一二月 根子坂山貫丸キ之帳 (半三郎分木挽木種別数付帳)

《一二月二四日～未 (弘化四) 年二月一二日》

三七三 弘化三年一二月 上白岩山木挽野取帳〔新館〕

《未》(弘化四) 年二月一六日～四月七日》

三七三 午 (弘化三) 年六月 柚木挽勘定帳

三七四 弘化四年正月 板貫請取帳〔新館〕

《正月二日～一二月二九日》

三七五 弘化四年正月 西川原木挽野取帳〔新館〕

《正月七日～正月二九日》

三七六 弘化四年二月 手山分挽木扣〔勝五良〕

横

横

横

横

綴

横

横

横

横

横

《二月二十四日～一月四日》

三七七

弘化四年三月

切窪山挽木野取帳〔新館〕

横

一

《三月一日～四月二日》

三七八

弘化四年七月二〇日改置 木挽人足勘定帳〔ハケ原才次郎〕

横

一

《巳（弘化二）年三月七日分～未（弘化四）年三月分》

三七九

弘化四年八月

蟬指山木挽野取帳〔新館〕

横

一

《八月七日～申（弘化五）嘉永元年二月一日》

三七八

弘化四年八月

白岩山木挽野取帳〔新館〕

横

一

《九月一日～二月二九日》

三七四

弘化四年二月

蟬指山式番木挽野取帳〔新館〕

横

一

《二月一日～申（弘化五）嘉永元年二月一日》

三七三

弘化五（嘉永元年）正月 板貫請取帳

横

一

《未（弘化四）年二月～酉（嘉永二）年三月七日》

三七四

嘉永元年二月

根子坂木挽野取帳〔新館〕

綴

一

《二月一日～二月二六日》

二

《二月一日～二月二六日》

（人足勘定）

横

一

《二月一日～二八日》

三

《二月一日～二八日》

（人足勘定）

横

一

《五日・六日》

四

嘉永元年二月

根子坂万之通（米支払などにつき）〔木挽衆中〕

横

一

《二月一日～二月二二日》

三七四

嘉永二年二月

仏ノ入木挽野取帳〔新館〕

横

一

三七四 二月三日～三月二日、正月二八日～三月二日》  
嘉永二年一〇月 木挽寛之帳〔新立〕

《一〇月一日～二月二六日》

三七五 嘉永三年三月 かじや入木挽帳〔新館本〕

《二月一三日～三月一六日》

三七六 嘉永三年三月 境之沢木挽野取帳〔新館〕

《三月一五日～四月二三日》

三七七 嘉永三年一月 西之前木挽寛帳〔上名栗村④本〕

《一〇月二七日～二月二六日》

三七八 嘉永四年霜月 木挽野取帳〔名栗新館〕

《一〇月二九日～二月二四日》

三七九 嘉永五年正月 木挽野取帳〔堂平山〕〔町安〕

《正月三日～二月一六日》

三八〇 嘉永五年二月 木挽野取帳〔新館〕

《二月一日～四月二六日》

三八一 嘉永五年三月 木挽飯米寛〔新館〕

《正月一六日～三月二三日》

三八二 嘉永五年三月 木挽野取帳〔新館〕

《二月二六日～四月一五日》

三八三 嘉永五年一〇月 木挽野取帳〔白岩山〕〔上名栗新館〕

《一〇月一二日～十一月二三日》

三八四 嘉永五年十一月 道平山木挽野取帳〔上名栗村新館〕

《十一月一四日～十二月二四日》

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

三七六	嘉永六年正月	木挽野取帳〔辰尾沢〕〔新館〕	横	一
	《正月七日～五月三日》			
三七五	嘉永六年二月	仁王沢木挽帳〔新館〕	横	一
	《一月一日～二月二八日》			
三七六	嘉永六年正月	嘉□□〔永七〕 〔安政元〕年一 木挽野取帳〔堂平山〕〔新館〕	綴	一
	月			
二	《一月二日～二月二七日、正月一日、卯〔安政二〕年正月一日～四月二四日》			
	安政二年七月	〔木挽勘定帳〕〔半三郎〕		
三七五	《正月四日～四月七日》			
	安政二年九月	萩谷木挽帳〔新館〕	横	一
	《八月二八日～一月二二日》			
三七六	安政二年二月	白岩木挽帳〔新館〕	横	一
	《一月一七日～二月一六日》			
三七六	安政二年二月	名郷沢木挽帳〔新館〕	横	一
	《二月一七日〔安政三〕年二月一日》			
三七六	安政三年正月	白岩木挽帳〔新館〕	横	一
	《正月二九日～三月二九日》			
三七六	一	覚〔辰十二月盆前分白岩の削りの覚〕〔土〕	状綴	一
二	《辰年一二月》			
	《辰年一二月二七日》	覚〔盆後分山中の削りの覚〕〔忠助〕		

三 安政三年正月

所々削寛帳〔山中勘左衛門〕

四 (人足別々人数の書上)

(山中勘右衛門削りの材木数、代金の覚)

五 《辰年一二月二八日》

三六四 安政三年四月

子ノ山木挽野取帳〔新館〕

《四月九日～五月二三日》

三六五 安政三年一〇月

須郷木挽帳〔新館〕

《一〇月一日～一二月二九日》

三六六 安政三年

安政三辰年盆前分土〔木挽勘定帳〕〔半三郎〕

《正月六日～三月二日》

三七七 安政四年正月

須郷木挽帳〔新館〕

《正月五日～七月二日》

三七八 安政四年七月

湯沢入沢木挽帳〔町田家〕

《七月三日～八月九日》

三七九 安政四年一〇月

山中木挽帳〔新立〕

《一〇月一二日～一二月二七日》

三八〇 安政五年正月

木挽野取帳〔新立〕

《巳年一二月二八日～六月二五日》

三八一 安政五年一〇月

木挽野取帳〔新立〕

《一〇月五日～一二月二七日》

三八二 安政六年正月

木挽野取帳〔新立〕

《正月八日～六月二三日》

三八三 安政六年一〇月

水無沢木挽帳〔新館〕

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一



- 《一〇月一七日～十二月十五日》  
 三七一 安政六年一〇月 木挽帳〔新立〕  
 《一〇月二六日～申〔万延元〕年十二月二六日》  
 三七一 安政六年一〇月 久通立岩木挽帳〔新立〕  
 《十一月二日～申年三月二〇日》  
 三七六 安政七〔万延元〕年正月 山中・野竹木挽野取帳〔新館〕  
 《二月二日～四月一八日》  
 三七七 万延元年閏三月 木挽帳〔新立〕  
 《閏三月八日～四月二〇日》  
 三七八 万延元年一〇月 山中・野竹木挽野取帳〔新立〕  
 《九月二八日～十二月二六日》  
 三七九 万延二〔文久元〕年正月 山中野竹木挽帳〔新館〕  
 《申〔万延元〕年十二月二七日～五月四日》  
 三七〇 万延二〔文久元〕年正月 木挽帳〔新立〕  
 《正月五日～戌年十二月二五日》  
 三七二 万延二〔文久元〕年正月 竹の平木挽野取帳〔新立〕  
 《正月二六日～七月二日》  
 三六三 文久元年一〇月 萩の谷木挽野取帳〔新立〕  
 二 《十一月一〇日～戌年三月一三日》  
 文久二年七月 諸々木挽勘定帳〔町田家〕  
 《三月～》  
 三六三 文久元年一〇月 西平木挽野取帳〔新立〕

横

一

綴

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

《一月一日～二月二日》

三七六

文久元年二月

土橋木挽野取帳〔新立〕

《正月五日～二月二五日》

三七五

文久二年一〇月

山中・野竹木挽帳〔新館〕

《一〇月二一日～一二月二五日、亥〔文久三〕年正月八日～四月二四日》

三七六

文久三年一〇月

山中・野竹木挽野取帳〔新立〕

《一月一一日～二月二二日》

三七七

元治元年一〇月

白岩山木挽帳〔新立〕

《一〇月二二日～一二月二〇日》

三七八

元治元年一〇月

西平木挽野取帳〔新立〕

《一月四日～二月二五日》

三七九

元治二〔慶応元〕年正月

所々木挽野取帳〔新立〕

《正月八日～四月二二日》

三七〇

元治二〔慶応元〕年三月

辰沢入木挽野取帳〔新立木挽中〕

《四月一八日～閏五月八日》

三七二

慶応元年七月

柚方勘定帳〔削〕

《慶応元年七月～辰〔明治元〕年一〇月》

二 寅年盆前

寅盆前古武造栗角柚方人足調

三七三

慶応元年一二月

前河原木挽野取帳〔新立木挽中〕

《一月一九日～二月二六日、寅〔慶応二〕年正月八日～二五日》

三七三

慶応二年正月

仁王沢木挽野取帳〔新立木挽中〕

《二月七日～三月二七日》

横

横

横

横

横

横

横

綴

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

三六四	慶応二年一〇月	仏之入木挽帳〔新館〕	横
	《一〇月二六日、卯年四月二三日》		
三六五	慶応二年一二月	豆口峠木挽帳〔四分〕	横
	《一二月一五日、一二月二六日》		
三六六	慶応三年一〇月	仏の入木挽野取帳〔㊥木挽中〕	横
	《一〇月二八日、一二月二五日》		
三七七	慶応四〔明治元〕年正月	大窪山森河原木挽帳〔新立木挽中〕	横
	《正月八日、四月一三日》		
三七八	慶応四〔明治元〕年正月	削日記覚帳〔武蔵国秩父郡名栗村佐野氏〕	横
	《慶応四〔明治元〕年正月、四月二六日》		
三七九	明治元年一二月	釜の入木挽野帳〔㊥木挽中〕	横
	《一二月一〇日、一二月二五日》		
三八〇	明治二年三月	杉檜角間地覚〔削〕	横
三八一	明治二年四月	杣方野取帳〔萩之谷山㊥分〕〔中間中、鳥五郎他四名〕	横
	《四月一二日、四月二一日》		
三八二	明治二年	大宅山・右左九山土分〔半三郎〕	横
	《巳年一二月一〇日、明治三年二月二一日》		
三八三	明治三年九月	挽木野取帳〔豆口山〕〔町田家〕	横
	《九月一九日、未年一月一九日》		
三八四	明治三年一〇月一〇日	山中・白岩杉檜角削覚帳〔人見喜平〕	横
三八五	明治三年一〇月	仏の入山削高比賀恵〔土〕	横
	《一〇月九日、一二月二二日》		
三八六	明治三年一二月	仏の入木挽飯米覚〔不開〕	横

横

横 横

横

横

横 横

横

横

横

横

横

横

三八七	明治四年二月	杣方日記帳(杉・檜角材本数付帳)〔佐野半治郎〕	横	一
三八六	《二月二三日》			
三八六	丑年六月	杉四分板さゝ山出控(板貫など枚数付帳)〔五〕	横	一
	《六月一二日～六月一九日》			
三八〇九	寅年四月	堂平山木挽野取帳	横	一
	《四月三日～四月二六日》			
三八一〇			綴	一
一	寅年一〇月	杉四分(板削改覚帳)		
	《八月二七日～十二月二二日》			
二	寅年十一月	杉四分板削改覚帳		
三八二	卯年三月	仏の入貫駄賃勘定(仏の入貫山出しにつき駄賃勘定帳)	横	一
	《卯年正月二日～二月一八日》			
三八三	卯年四月	万改(貫・板・角など木挽束数改帳)〔町田〕	横	一
	《四月七日改辰年二月八日》			
三八三	辰年	(子の山木挽勘定帳)〔半三郎↓四〕	横	一
	《四月五日～六月四日》			
三八四	午年七月	勘定仮扣(木挽人足などの勘定仮控帳)	横	一
	《三月七日～午年七月一四日》			
三八五	午年十二月	壹番勘定仮扣(木挽人足などの勘定仮控帳)	横	一
	《巳年八月二三日～午年十二月二八日》			
三八六	未年二月	万改(木挽束数改帳)〔町田〕	横	一
	《巳年九月一二日改申年五月》			
三八七	未年十一月一日	畑中出会定(木挽・削など日雇人足賃金定)	横	一

三八八	申年六月八日改	しらや杉板削覚（杉板削板枚数覚）〔五左衛門〕	横	一
三八九	申年二月	とづら沢山木挽覚帳	横	一
三八〇	《二月六日～二月二十五日》	川くるみ入木挽野取帳	横	一
三八〇	酉年四月		横	一
三八二	《四月二三日～五月一〇日》		横	一
三八三	酉年二月	藤田屋分萩のケ谷木挽日記	横	一
三八三	《一月八日～二月二三日》		横	一
三八三	亥年十二月	書拔（勘定、板貫などの書拔帳）	横	一
三八三		覚（木挽・削賃錢支払い）	横	一
三八四	《卯（天保二）年～辰（天保三）年》		横	一
三八五	《未（明治四）年二月一日～明治五年四月二六日》	覚（白岩相久保山他木挽覚帳）〔元ノ①〕	横	一
三八五		見黒山惣高覚（貫束・角本数）〔源八〕	横	一
三八六	《子年十二月～丑年十一月》		横	一
三八六		覚（貫材挽賃、削賃、駄賃覚）	横	一
三八七	《寅年四月》		横	一
三八七		覚（角数・貫数）	横	一
三八八	《寅年極月二七日》		横	一
三八八		筆満免（木挽材木本数書付）〔町田〕	横	一
三八九	《卯年一月～午年五月》		横	一
三八九		覚（板貫数量・勘定覚）	横	一
三八〇	《辰年十二月》		横	一
三八〇		（角削り覚）	横	一

《巳年七月改》

三六三

綴

野久保貫積高（野久保より伐出した貫材出荷高覺）

《午年正月一三日～七月一三日》

道太郎貫積高（道太郎伐出し貫材出荷高覺）

《巳年一月一日～午年七月九日》

（木挽、人足覺帳）

《巳年一二月》

（半藏分角削り覺）

《巳年～午年》

（萩ヶ谷上廻ノ口角木数覺）

《午年一二月二五日～未年正月一四日濟》

諸荷物過不足改帳（杉皮・檜板など過不足改帳）〔山仕入〕

《午年殘荷物～申年七月改》

覺（貫材など買入束数、代金勘定帳）

《未年～申年六月》

覺（木挽材引取覺）

《申年正月一八日～六月一三日》

（貫束数・木挽代など覺綴）

《申年正月～一二月》

覺（木挽覺）〔中沢留吉〕

《酉年四月》

《酉年四月》

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

二	《酉年九月八日》	覚（木挽覚）〔改人寅八〕	
三	《戌年三月二三日》	覚（木挽覚）〔荷主留吉・請取人寅八〕	
四	《戌年五月七日》	覚（木挽覚）〔中沢留吉・請取人寅八〕	
三八四〇	《酉年一二月》	（卯右衛門、半蔵の木削り本数、代金勘定書付）	横
三八四一	《酉年分》	注文帳ヲ揚合（角数覚）	横
三八四二	《正月一八日〜七月朔日》	（木挽勘定覚）	綴
一			一
二		（木挽覚）	
三		（木挽覚）	
三八四三	《三月二九日・四月二日》	（搬出賣材木買上帳）	横
三八四四	《三月六日〜五月二四日》	（貫代前金、仕切金など請取控帳）	横
三八四五	《三月一〇日〜十一月一八日》	（板材寸法及び枚数控帳）	横
三八四六	《四月二六日〜巳年三月二一日》	覚（市松・川西・ひさ分賣材搬出束覚）	横

横 綴 横 横  
一 一 一 一

《五月二四日～六月八日》

三八七

覚（貫材・小割材仕入束数覚）

《六月一三日～亥年正月一三日》

三八八

覚（中沢佐七分貫挽出束数覚）

《一〇月一九日～一月朔日》

三八九

（大割・角出しなど木挽人足名前書付）

《二月二九日》

三九〇

（しらや山などより板・貫・角材の伐出し本数覚帳）〔削人見吉右衛門〕

一

（角材・貫材・皮材などの数付覚）

三九一

根子板山覚（木挽人足材木本数、酒代など）〔㊦〕

三九二

（木挽覚）

三九三

（板材枚数・貫材束数改め控）

三九四

（蟬差山からの貫材・板材・挽・削・丸キ出し高の内訳覚書）

三九五

（貫材・杉皮など出荷束数覚帳）

三九六

（貫材出荷束数覚）

三九七

（東之入山檜角・貫材・小割板材など伐出し覚）

三九八

麦窪山柚削高扣

三九九

記（貫材木代金、山出し人足人数覚）

四〇〇

（木挽き覚）

四〇一

（板貫駄賃勘定帳）〔新館〕

四〇二

（角削り賃書上帳）（表紙欠）

四〇三

覚（木挽につき）

横

横

（横）

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一





## 三六三

(筏注文帳)

一 文化一三年閏八月

筏注文〔新館世話人新右衛門〕

《閏八月一〇月二日》

二 文化一四年二月

新右衛門世話分筏注文

《二月八日一三月朔日》

三 文化一四年五月

新右衛門世話分筏注文

《五月五日》

四 文化一四年五月

新右衛門世話分筏注文

《五月一〇日》

五 文化一四年五月

新右衛門世話筏注文

《五月一五日一五月一六日》

六 文化一四年八月

新右衛門世話筏注文

《八月一八日一八月二五日》

七 文化一四年八月

新右衛門世話筏注文

《八月二三日一八月二五日》

八 文化一四年八月

新右衛門世話筏注文

《八月二五日一八月二六日》

九

(新右衛門世話分筏注文書付)

《閏八月一八日》

## 三六五

文政元年一月

筏注文〔小殿・新館〕

《一月一日一二月一三日》

## 三六六

文政七年五月

中沢山角新寺筏注文帳〔町田〕

《五月二四日一六月二日》

綴

一

横

一

横

一

三六五 文政七年五月 杉角杉敷飯能出筏覚帳〔町田や〕

《六月六日～六月八日》

三六六 文政七年六月 新寺出筏注文帳〔町田〕

《六月二日～六月六日》

三七七 文政七年八月 中沢山筏新寺組立并七日廿四日大水懸り書拔帳〔町田〕

《七月二日～八月二四日》

三八七 一 文政九年四月 筏注文〔藤田屋〕

《四月八日～七月六日》

二 (人別金錢覚)

三 六月一〇日 〔筏注文〕

《六月一〇日、六月一四日》

三九七 文政九年一〇月 平乗合筏注文帳〔新立〕

《一〇月二日～一〇月二三日》

三九八 文政一〇年八月 富五郎懸り筏組下ケ之帳

《一九日～子(文政一一)年五月八日》

三九九 文政一二年九月 樺川下ケ諸色帳〔高麗郡小岩井村目ケ貫中埜長松・松本奥次〕

《九月四日・五日出、九月二六日済》

四〇二 一 未(天保六)年正月 筏注文

《正月～五月》

二 未(天保六)年一〇月 筏注文〔町田〕

天保六年八月二六日 半筏注文書〔新館内庄次郎〕

横 一

横 一

横 一

綴 一

横 一

横 一

横 一

綴 一

横 一

三八四 天保六年一月一三日 中川原利八セ話出筏懸勘定帳

《天保六年一月一三日》申（天保七年五月）

三八五 天保七年四月 半筏注文書（新館内庄次郎）

三八六 天保七年五月朔日 半筏註文書（新立内庄次郎）

《五月朔日》五月三日》

三八七 天保一四年八月 手ひかゑ（材木の筏山出し手控）〔町菊〕

《一〇月五日》一〇月一二日》

三八八 天保一四年九月 井上山註文書（井上山からの材木等江戸送りにつき）

《九月六日》一〇月二〇日》

三八九 天保一五（弘化元）年三 筏註文〔新館〕

月

《三月二三日》四月二日》

三九〇 天保一五（弘化元）年三 筏注文〔新館〕

月

《三月二三日》四月二三日》

三九一 天保一五（弘化元）年四 手控（材木・板の本数・枚数改控）〔上名栗新館内町菊〕

月

《辰（天保一五）弘化元》年四月一〇日》四月一五日》

三九二 天保一五（弘化元）年五 角秤注文帳〔新館〕

月

《五月一二日》六月二日》

三九三 天保一五（弘化元）年七 鳥渡控（筏送り諸掛り）

月

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

《三月二日～六月三日》

三六四

天保一五(弘化元)年一 筏下注文

〇月

《辰(天保一五弘化元)年一〇月五日～一月三日》

三六五

一 天保一五(弘化元)年一 筏註文

〇月

《一〇月五日～十一月二日》

二

(筏組人足名前寛)

《天保一五(弘化元)年一〇月一五日》

三六六

天保一五年(弘化元)一 筏註文

〇月

《一月六日～八日》

三六七

弘化二年二月 下注文(筏下注文)〔⊕〕

《二月二四日～三月三日》

三六八

弘化二年二月 筏註文〔新館〕

《二月二四日～三月》

三六九

弘化二年七月 筏下註文〔新館〕

《七月一八日～七月二二日》

三七〇

弘化二年八月 井上山筏川下ケ注文

《七月一七日～八月九日》

三七二

弘化二年八月 筏組下ケ人足帳

《(八月)二八日～九月四日》

横

一

横

一

状

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

三九二 弘化二年九月 井上山筏勘定帳

《七月一日出〜九月四日出》

三九三

一 弘化三年四月 筏注文控帳〔新館〕

《四月朔日〜四月十五日》

二 弘化三年四月 筏注文控帳

《四月二七日〜五月二三日》

三 午（弘化三）年六月一五（杉敷等筏注文帳）〔名栗村新館〕  
日

三九四 弘化三年四月 筏注文〔⊕新館〕

《四月七日〜八日》

三九五 弘化三年六月 井上山筏組下註文

《六月一八日〜七月三日》

三九六

一 弘化三年八月 桴乗下ケ注文帳

《午（弘化三）年八月二三日〜十一月二七日》

二 三月四日 覚（筏乗りにつき）

三九七 弘化三年一二月 筏勘定覚帳（筏組下ケ人足勘定覚帳）

《午（弘化三）年三月朔日出〜八月一三日出》

三九八 弘化三年 筏注文

《三月》

三九九 弘化四年二月 桴乗下ケ注文帳

《未（弘化四）年二月二二日〜六月二三日》

横

綴

横

横

横

状

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

三九〇 弘化四年六月 ④印筏注文

《六月二二日出》

三九一 弘化四年八月 枅乗下ケ註文帳

《八月一〇月》

三九二 弘化五(嘉永元)年三月 枅乗下覚帳

《三月一〇月》

三九三 嘉永元年九月 枅註文

《一五日・一七日》

三九四 嘉永二年二月 枅乗下ケ註文帳

《一〇日・一日・一二日》

二 嘉永三年二月 筏注文帳〔新館〕

《四月二二日・九月四日》

三 (筏注文)

《未年四月朔日、四月二二日・二六日》

三九五 嘉永三年二月 筏注文覚帳〔新館〕

《二月二〇日・三月一四日》

三九六 嘉永三年二月 筏出高覚帳〔④新館〕

《二月二〇日・一〇月九日》

三九七 嘉永三年三月 筏出覚之帳〔新館④〕

《二月二〇日・六月三日》

三九八 嘉永三年三月 筏注文帳〔町田順蔵〕

一

横 一

横 一

横 一

横 一

綴 一

横 一

横 一

横 一

横 一

《三月一四日—一〇月四日》

（不開）

三九二九 嘉永四年三月 筏注文帳〔新立町田〕

《三月二十九日—四月一六日》

三九〇 嘉永四年三月 筏注文〔新立〕

《三月二十九日～六月二日》

三九二 嘉永四年卯月 仮注文〔町安〕

《九月二四日、晦日、六月二五日》

三九三 嘉永五年三月 笈注文〔新館〕

《二月一八日〜四月五日》

三九三 嘉永五年三月 筏注文〔上名栗村町新順〕

《三月二五日、九月朔日》

三五四 嘉永五年四月 筏注文〔新立〕

《四月一日〜九月朔日》

三九五 嘉永五年八月  
筏注文〔新館町田順〕

《八月五日と二九日》

三二六 嘉永六年三月 註文帳〔上名栗新館〕

《三月二日—一〇月一七日》

三九七 嘉永六年九月 諸材木控帳

《九月一七日》寅（嘉永七〓安政元）年六月晦日》

三九八 嘉永七(＝安政元)年正月 筏注文帳〔新館〕

《三月一二日—一〇月一二日》

三九 安政二年正月 筏注文帳〔新館〕

狀  
四

横

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横

橫

横

黃  
一

横  
一



三九〇	《正月一三日～一月二日》 安政二年一〇月 註文帳〔町田〕	横	一
三九一	《一〇月二二日～一月二日》 安政三年正月 仮注文〔函店〕	横	一
三九二	《七月一六日～九月二〇日、已〔安政四〕年四月二九日～八月二五日》 安政三年正月 仮注文〔新立〕	横	一
三九三	《三月二三日～九月一九日、五月一日～五月二五日、已〔安政四〕年八月二四日～二八日》 安政三年正月 筏注文帳〔新館〕	横	一
三九四	《三月二三日～八月三日》 安政四年正月 手控〔筏送りにつき〕〔㊥内政五郎〕	横	一
三九五	《安政四年四月一九日～閏五月二五日、八月二二日～安政五年三月七日》 安政四年正月 筏注文帳〔内容記載なし〕〔新館〕	横	一
三九六	《四月一日～六月六日》 安政六年正月 手控〔筏送りにつき〕〔㊥内政五郎〕	横	一
三九七	《四月一日～六月六日》 安政六年五月 筏注文仮扣帳	横	一
三九八	《未年四月一日～六月六日》 安政七〔Ⅱ万延元〕年正 注文帳〔新立〕	横	一
三九九	《二月二八日～一月二日、〔万延二Ⅱ文久元〕年二月二日》 万延元〔Ⅱ安政七〕年正月 筏注文帳〔新立〕	横	一
四〇〇	《申年二月二八日～一〇月三日》 万延元年七月 桴乗書拔帳〔新立〕	横	一
四〇一	《二月～五月》	横	一

三九四

一 万延二(=文久元)年正月 注文〔新立〕

《二月二十四日～一月二五日》

二 申年一〇月三日

(炭など荷物送り状)〔名栗新館→浅草今戸町藤田屋喜助〕  
覚(藤田屋行の筏・炭の数量書上)

《申年一〇月二八日出》

三九三

万延二(=文久元)年正月 筏注文帳〔新立〕

《二月二十四日～一月二五日》

三九二

文久元年七月 筏川下りメ出帳〔新立〕

《二月～一月》

三九一

文久二年正月 筏注文〔新立〕

《五月二日～九月五日》

三九〇

文久二年七月 筏乗書拔帳〔新立〕

《五月三日～一〇月一二日》

三八九

一 文久三年二月 筏注文〔新立〕

《二月九日～一〇月一四日》

二

(不開)

三八八

文久三年一二月 筏注文書拔

《二月九日～一月一日》

三八七

元治元年三月 筏注文〔新立〕

《三月二一日～一二月八日》

三八六

甲子(元治元)年七月・筏乗貸書拔

横

状 状

横

横

横

横

横

状

横

横

横

極月

《三月二日～二月八日》

三三〇 元治元年一月 筏注文〔新立〕

《子（元治元）年二月六日（丑）（慶応元）年一〇月二六日》

三九五

一元治二（一慶応元）年三月 筏注文〔新立〕

《三月二日—一〇月二〇日》

（不開）

三九三 慶応元年七月・一二月両 筏乗賃書拔帳〔新立帳場〕

度

《三月二日—一〇月二六日》

三九五三

一慶応二年三月  
筏注文〔新立〕

《三月四日～六月七日》

—

申年一月一日

(町田俊三郎殿分荷物渡方につき届) [町田や安助]

三九五四

慶応二年七月

筏乗賃書出帳〔新立〕

《三月四日～六月七日》

三九五五

慶応二年・三年

立・土分筏注文書拔〔町田〕

《寅（慶応二）年三月四日～六月一五日、卯（慶応三）年三月五日～九月六日》

三九五六

慶応二年・三年

①分笈注文調書〔町田〕

《寅（慶応二）年三月六日～六月七日、卯（慶応三）年三月八日～九月七日》

三九五七

慶応三年正月

注文帳〔新館〕

《三月五日—二月三日》

横

横

状

橫

横

状

横

橫

橫

橫

三六六

慶応三年四月

十分注文帳〔町田〕

横

一

三六五

《寅（慶応二）年三月四日～六月五日、卯（慶応三）年三月五日～四月一日》

十分注文扣〔町田〕

横

一

三六〇

《寅（慶応二）年三月四日～六月五日、卯（慶応三）年三月五日～四月一日》

筏乗賃書拔帳〔丸土新立帳場〕

横

一

三六二

慶応四（明治元）年正月

注文帳〔新館〕

横

一

《四月六日～五月一七日》

横

一

二

《辰年五月一日》

〔杉丸太古木の寸法・数量書付〕

状

一

三六三

慶応四（明治元）年正月

筏乗書拔帳

綴

一

月・七月

《閏四月二日～九月六日》

〔筏乗書拔帳〕

状

一

二

《辰（慶応四明治元）年閏四月二日～九月六日》

〔筏乗書拔帳〕

横

一

三六三

慶応四（明治元）年皐月

仮注文〔新館〕

横

一

《五月一日～十二月二七日》

二

辰（慶応四明治元）年〔筏乗人への賃金支払覚〕〔使丑松〕

状

一

十二月二六日

《辰年五月一日》

状

一

三 辰（慶応四〇明治元）年（筏乗人への賃金支払覚）〔使竹次郎〕  
六月五日

《五月一五日・一六日》

三六四 慶応四（明治元）年八月 筏注文〔新館〕

《八月一〇日～九月五日》

三六五 明治二年正月 仮注文〔新館〕

《二月一〇日～九月二〇日》

三六六 明治二年三月 土筏注文帳〔新館〕

《二月～九月》

三六七 明治二年六月 於宝恵（山毎の伐出し・川下げ費の覚）

三六八 明治二年二月二五日 赤工茂八のり筏勘定帳

《二月一二日～九月一〇日》

三六九

一 明治三年正月 注文帳〔町俊〕

《三月二〇日～一〇月三日》

二 覚（筏注文）

《午年三月二日～一〇月三日》

三七〇 明治三年三月 土筏注文帳（筏注文および問屋よりの金銭請取帳）〔町田俊三郎〕

《午（明治三）年三月二〇日出～閏一〇月三日》

三七七 明治三年三月 筏川出来書抜帳〔武州高麗郡赤工村高野茂八〕

《午（明治三）年四月一日～六月二六日》

三七八 明治三年六月 註文控

《六月二六日～八月二一日》

状

横

横

横

横 横

横

状

横

横

横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

三九五

明治三年一〇月

桴川下覚帳〔下赤工村高野茂八〕

横

一

三九四

明治三年一〇月

桴川下覚帳〔下赤工村高野茂八〕

横

一

三七五

明治三年

明治三庚午年々桴数書拔〔町田俊三郎〕

横

一

三七六

明治三年

明治三庚午年々赤工筏勘定扣

横

一

三七七

明治四年正月

仮覚〔筏注文〕

横

一

三九六

明治四年三月

筏注文扣

横

一

三九七

明治四年三月

④筏川下ケ帳〔赤工村高野茂八〕

横

一

三九八

明治四年三月

注文帳〔町俊〕

横

一

三九八

明治四年五月

仮註文（一部不開）

横

一

三九八

明治四年一月

④値段覚

横

一

三九八

明治七年七月

筏注文扣

横

一

三九八

子年二月

富五郎懸り筏敷上荷改帳

横

一

三九八

《二月一六日～六月二日》

手控〔筏注文〕

横

一

三九六	《三月二日～三月二十六日》	手控（筏注文）〔町田〕（一部不開）	横	一
三九七	子年五月 《五月八日～》	手控（筏注文）〔町田〕	横	一
三九八	《五月二日～》 丑年五月 《五月朔日～五月六日、四月一日》	老番手控（筏注文）〔町田〕	横	一
三九九	丑年五月 《五月一日～五月一四日》	貳番手控（筏注文）〔町田〕	横	一
四〇〇	丑年五月 《五月一九日～五月二九日》	三番手控（筏注文）〔町田〕	横	一
四〇一	丑年五月 《五月二三日～五月二七日》	四番筏注文	横	一
四〇二	丑年七月一四日 丑年一〇月 《一〇月二日～一〇月二三日》	（十七双半の筏の材木の数量・買高・差引金額の覚） 手控（筏注文）〔町田〕	横	一
四〇三	卯年五月 《卯年五月二日～六月六日、三月二七日》	井上山筏注文	横	一
四〇四	卯年六月 卯年九月 《九月一〇日》	井上山筏注文〔新館〕 筏注文	横	一
四〇五	辰年正月 《正月一四日～二〇日》	手控（筏注文）〔町田〕	横	一

三六

辰年正月

初川亭番手控〔筏注文〕〔町田〕

横

一

《正月一九日～二〇日》

三九

辰年正月

式番手控〔筏注文〕〔町田〕

横

一

《正月二六日・二八日》

四〇

辰年二月

中の川三番手控〔筏注文〕〔町田〕

横

一

《二月六日～一日、卯年一〇月一三日》

四一

辰年二月

問屋相場書〔筏問屋渡し覚〕〔惣治〕

横

一

《正月一九日～二月一九日》

四二

辰年二月

四番手控〔町田〕

横

一

《二月一日、一二日～一六日》

四三

辰年二月

仕舞川五番手控〔筏注文〕〔町田〕

横

一

《二月一日～二月二日・二二日》

四四

辰年二月

六番手控〔筏注文〕〔町田〕

横

一

《二月二日～》

四五

辰年

辰年分図〔筏のり名附出し〕

横

一

《四月二九日～五月二五日》

二

辰年

図筏のり名附出し

横

一

《四月二九日～閏五月二五日》

四六

巳年三月四日～一四日

覚〔筏川下諸経費〕

横

一

四七

巳年五月

五番筏注文〔町田〕

横

一

《五月二九日～六月九日》

四八

巳年九月

覚〔材木仕出賃および筏代金など〕

横

一



《己年九月、午年三月、六月二五日、酉年三月六日、巳年九月、午年三月、巳年二月五日、午年四月一四日、巳年九月二七日、午年四月二二日》

四〇九 巳年九月 手控〔筏注文〕〔町田〕

《六月二二日、一〇月朔日》

四一〇 巳年一〇月 手控〔筏注文〕〔町田〕

《一〇月一五日、一〇月一九日》

四一一 午年三月 大宝恵〔筏注文につき覚〕〔町安〕

《三月二〇日》

四一二 午年三月 筏注文〔町軍〕

四一三 午年六月 手控〔筏送りの枚数・代金・諸掛り差引き勘定〕〔町利〕

四一四 午年七月二六日 覚〔筏乗下ケ賃受取帳〕〔赤工茂八〕

《午年三月二〇日、七月二六日》

四一五 午年九月 筏注文書抜〔町栄〕

《九月三日》

四一六 午年一〇月 赤工茂八勘定

《八月一二日、九月七日》

四一七 未年正月改 辰・巳筏勘定〔筏勘定帳〕〔王〕

《辰〔天保三〕年三月一日、未〔天保六〕年八月二六日》

四一八 未年四月 二番筏注文〔町田〕

《四月一九日、五月四日》

《四月一九日、四月二二日》

二 未年四月 半筏注文〔町田〕

《四月一九日、四月二二日》

横

横

横

横

横

横

横

横

綴

三 未年四月 三番筏注文〔町田〕

《四月二四日～五月二日》

四 未年四月 四番筏注文〔町田〕

《四月二九日～五月二日》

五 未年五月 五番筏注文〔町田〕

《五月四日～六日》

六① 未年五月 六番筏注文〔町田〕

《五月一二日～一三日》

六② 五月七日 覚〔筏送りにつき〕〔新立→惣次郎〕

七 未年五月 七番筏注文〔町田〕

《五月一六日～五月二四日》

八 (筏注文) (前欠)

《四月六日～五月四日》

四〇一九 申年二月 筏員数手控

《二月八日》

四〇二〇 申年四月 中沢山桴懸り勘定帳〔新館〕

《三月五日～九月一八日》

四〇二一 申年四月 筏上乘金并出来金渡控

《四月二四日～一〇月六日》

四〇二二 申年六月 中沢山筏手控

《五月晦日～八月三日》

四〇二三 申年八月 筏注文〔町田〕

《八月二二日～一〇月二一日》

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

四〇四	申年八月	中沢山角筏手控〔町田〕	横	一
四〇五	酉年三月	手控〔筏注文〕〔町栄〕	横	一
四〇六	酉年四月	筏注文〔新館〕	横	一
四〇七	《三月晦日〜四月一四日》 酉年七月	筏注文〔町田〕	横	一
四〇八	《七月八日〜八月二五日》 戌年七月	筏出人足帳〔新立〕	横	一
四〇九	《戌年二月二四日〜六月三日》 亥年卯月	筏注文扣帳〔新立↓町田屋〕〔一部不開〕	横	一
四一〇	《三月二九日〜》 亥年八月	筏注文	横	一
四一一	《亥年八月一日〜八月一八日出》 亥年八月	筏注文	横	一
四一二	《八月一七日〜八月二一日》 八月一九日	〔筏乗勘定受取帳〕〔前欠〕〔市原清之助↓名栗善吉・井上宇八〕	横	一
四一三	《(五) 月二三日〜七月三日》		綴	一
四一四	一	覚〔筏の数量内訳〕		
四一五	二	式番手控〔筏注文〕〔町田〕		
四一六	三	覚〔筏の内訳〕		
四一七	《八月二六日〜八月二〇日》			
四一八	《午年八月七日》 八月	三番手控〔筏注文〕〔新館〕		

《八月二八日》

五

栃窪山分四ばん手控（筏注文）〔新立〕

《九月三日～九月七日》

閏八月六日

閏八月六日川掛り覚

四〇三六

《閏八月三日～二八日》

一〇月

手控（筏注文）〔新館〕

四〇三五

《一〇月一日・一二日～二九日》

手控（筏注文につき）〔町田氏〕

四〇三六

《八月一六日、文化四年五月三日～六年九月、九月一七日～一二月三十一日》

《子年五月五日～五月九日》

四〇三七

（筏注文野取覚）

四〇三八

（豆口峠貫材削り本数覚）

覚（筏注文帳）

二

《一〇月朔日～一〇月一七日》

（不開）

三

（筏注文帳）

四

《寅年三月八日～三月一四日》

覚（筏注文帳）

五

《六月九日～六月一日》

（不開）

六

（八番大川原又八郎乗分寅四月一八日始メ送り筏覚）

四〇三九

《寅年四月一八日》

横

一

綴

一

横

一

横

一

横

一

横

一

HOBO

《寅年四月二二日》

(九ばん大川原又八乗分寅四月二二日始メ送り筏覚)

横

一

HOBI

《寅年四月二六日》

(拾番久須美忠七郎乗分寅四月二六日始メ送り筏覚)

横

一

HOBI

《寅年四月二六日・二九日》

(拾壹ばん仏子伊左衛門殿乗分寅四月二六日、拾貳ばん二九日送り筏覚)

横

一

HOBI

《寅年四月二八日》

(拾三ばん曲竹丑太郎乗分寅四月二八日送り筏覚)

横

一

HOBI

《寅年五月朔日》

(十四ばん小平治乗分寅五月朔日出送り筏覚)

横

一

HOBI

《寅年五月七日》

覚(拾五はん久須美惣七乗分寅五月送り筏覚)

横

一

HOBI

《寅年七月》

覚(の田安右衛門渡し清介のり寅七月出送り筏覚)

横

一

二

《寅年九月》

覚(の田民五郎のり作兵衛のり寅九月出送り筏覚)

HOBI

一

①

《寅年八月一四日》

(小平治乗分寅八月一四日初メ送り筏覚)

横

一

②

《寅年八月一五日》

(作藏乗分寅八月一五月初メ送り筏覚)

③ (仏子伊左衛門乗分寅八月一二日初メ送り筏覚)

《寅年八月一二日》

④ (久米掛内乗分寅八月一六日初メ送り筏覚)

《寅年八月一六日》

二 (小平治分寅八月一四日送り筏覚)

《寅年八月一四日》

三 (仙藏乗分寅八月一五日送り筏覚)

《寅年八月一五日》

四〇八 (龜佐衛門殿分筏世話出し覚)

《寅年一〇月二七日～六月一三日改》

四〇九 覚(筏注文)

《卯年九月一六日～一二月朔日》

四一〇 覚(筏注文) (断簡)

《卯年一二月二日、六月、午年四月、午年三月、一二月、六月一二日》

四一一 覚(筏山出注文)

一 《辰年二月一四日～一〇月一七日》

二 (不開)

三 (不開)

四 (不開)

四一二 (辰年一〇月組みの筏材木本数書付)

《辰年一〇月九日～一〇月一〇日》

四一三 横 一

横 一  
状 一  
状 一  
状 一

横 一

横 一

横 一

横 一

状 一

状 一

	一	覚（筏送り）	
	二	《巳年二月二日～九月八日》 覚（筏送り）	
	三	《巳年二月一日～一〇月一八日》 江戸ニ而出来借書拔（借金覚）	
四〇四		《巳年二月三日～九月七日》 （町田屋栄助方へ送った筏山出覚）	横
四〇五		《巳年四月九日～一〇日》 （町田屋栄助方へ送った筏山出覚）	横
四〇六		《巳年四月一日～一三日》 （藤田屋へ送った筏山出覚）	横
四〇七		《巳年四月一四日～一五日》 覚（筏川下諸経費）	横
四〇八		《巳年六月一三日～二四日》 （筏乗賃書上帳）	横
四〇九		《午年三月七日～未年九月一八日》 （筏組材木数付帳）	横
四一〇		《午年三月二〇日改～三月三〇日》 （筏注文）	横
四一一		《午年七月一四日出～午年七月一五日出》 覚（行先別筏乗賃）	横
四一二		《八月一五日～九月二八日、午年七月》 金銀判取控（筏乗金銀判取控帳）	横

横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一

《未年三月十一日～午年一〇月六日》

2034

(筏注文)

《未年三月十九日～一〇月二〇日》

2035

覚(筏注文)

《未年八月二一日～九月一九日》

2036

赤工茂八の勘定書付〔赤工村高野茂八〕

《未年八月二四日～一〇月一五日、申年三月二四日～七月晦日》

2037

(筏注文)

《未年一〇月一一日、一九日》

2038

覚(筏送り)

《申年二月二一日》

2039

土仕来覚(筏乗代金受取り)〔赤工村高野茂八〕

《申年三月二三日～六月二七日》

二

おほへ(筏乗代金受取り)〔赤工茂八↓土〕

《九月三日～一六日》

三

おほへ(申年一十一月一六日町安行筏乗代金請取り)〔赤工茂八↓名栗④〕

《申年一十一月一六日》

2040

(筏代金受取覚帳)

《申年四月一三日～五月一日》

2041

覚(四筏注文)

《酉年四月三日出～酉年一十一月一五日出》

2042

横 横 横 状 状 横 横 横 横 横



一	《六月二四日～一〇月八日》	記（送り筏枚数書上）	
二	《酉年六月二七日～一〇月二〇日》	筏出来金渡扣	
四〇九	《亥年九月》	覚（筏注文）	横
四一〇	《正月二六日～二月二日》	覚（山筏乗賃）	横
四一一	《二月二七日～三月二六日》	（筏送り諸懸り覚）	横
四一二	《三月七日～三月九日》	（筏注文）	横
四一三	《三月一七日～二七日》	（野口分・八王寺山分の材木筏の内訳書上）	横
四一四	《四月三日～九月五日》	山上荷物山証文（杉板など上荷物山注文覚）	横
四一五	《四月九日～一〇日》	覚（送り筏の内訳）	横
四一六	《四月二〇日》	（筏山出しの覚）	横
四一七	《四月二一日出・八月二八日出》	（材木の内訳・筏数の覚）	横
四一八		②筏注文（井上山）	横

《四月二四日～四月二六日》

四〇二

(筏材木山注文覚)

横

一

《五月朔日～六月七日》

四〇三

(送り筏の枚数・代金覚)

(横)

一

《五月朔日～七月二三日》

四〇四

(送り筏の枚数覚)

横

一

《五月朔日～七月二九日》

四〇五

(送り筏の内訳覚)

綴

一

《七日》

二

覚(送り筏の内訳)

《五月七日》

三

(送り筏の内訳覚)

《五月七日》

四〇六

覚(筏注文覚帳)

横

一

《五月八日出～五月一六日》

四〇七

(筏の材木の内訳覚)

綴

一

《六月七日～六月一七日》

二

(筏の材木の内訳覚)

《七月二日》

三

覚(筏の材木の内訳)

《七月朔日》

四〇八 《六月一〇日》 (丑山注文、田水揚改、水揚差引の材木数改め帳) 横

四〇九 《六月一二日～六月二〇日》 ①三双式枚調 (筏注文ならびに筏水揚覚) 横

四一〇 《六月一七日～六月二〇日》 覚 (筏注文) 横

四一一 《六月一九日～六月二二日》 (筏人足日記帳) (横) 横

四一二 《六月二四日出、六月二六日出、六月二三日出、六月二五日出》 (筏注文帳) 横

四一三 《六月二四日～七月一〇日》 記 (筏送り諸掛り書上) 横

四一四 《七月二日～一〇月二四日》 (筏注文) 横

四一五 《七月二三日～七月二四日》 筏註文扣 横

四一六 《七月二三日～一二月》 覚 (筏送り諸掛り) 横

四一七 《八月一四日～八月二二日》 覚 (筏注文) 横

二 (筏注文) (前後欠) 状

四一八 覚 (筏川下げ入用) (↓仏子清次郎) 横

《八月一日～八月二日》

四〇九

名栗川下ヶ桴覚帳

横

《八月一日～九月二八日》

四一〇

井上山筏注文〔新館〕

横

《八月二〇日～九月八日・九日》

四一一

筏注文（井上山）

横

《八月二七日～九月六日》

四一二

覚（筏送りの人足代）

横

《九月四日～九月二四日》

四一三

筏組控

横

《九月九日～九月二二日》

四一四

（筏山出し覚帳）（前欠）

横

《九月一〇日～九月二二日》

四一五

筏注文（井上山より伐出し分筏注文帳）

横

《九月一五日～九月二二日》

四一六

覚（筏乗出しの枚数・人名）

横

《九月一六日～二二日》

四一七

覚（筏川下げ入用金）

横

《一〇月朔日》

四一八

覚（山筏川下げ入用）

横

《一〇月三日～一〇月七日》

四一九

筏註文

横

《一〇月四日～一〇月七日》

一

四一〇

(組の筏材本数書付)

横

一

《一〇月一〇日〜一二日》

四一一

(筏送り控帳)

横

一

四一二

(町田屋入分筏の内訳書付、藤田屋入分筏の内訳書付)

折本

一

四一三

覚(筏の材木内訳)

横

一

四一四

(浦八分筏注文)

状綴

一

一

(浦八分筏注文)

状

一

四一五

覚(杉・檜材、杉皮の筏送り代金)

横

一

四一六

注文(不開)

横

一

四一七

切□山注文(不開)

横

一

四一八

調(檜・杉材木送り本数)

横

一

四一九

覚(石川筏川下げ数)

横

一

四二〇

(筏組材木本数覚)

横

一

四二一

(筏川下げ入用控)

横

一

# 水揚・仕切

四二三

寛政六年八月一八日

御荷物仕切(本八町堀二町目大坂屋庄三郎↓町田浦之助)

横

一

四二四

《四月一五日〜四月一七日》

四二五

享和三年極月

材木炭之仕切状(ふじ田屋喜助↓町田栄次郎)

横

一

四二六

《(享和三)年閏正月六日〜子(享和四||文化元)年正月一三日》

四二七

文化四年七月二四日

荷物仕切帳(万屋七左衛門↓名栗村新立栄次郎)

横

一

《(文化三) 年九月二二日》

四二五 文化五年九月二二日 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄次郎〕

《(卯) (文化四) 年四月六日～一〇月四日》

四二六 文化七年極月 巳年入分材木仕切帳〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

《(文化六) 年二月二二日～一月一八日》

四二七 文化八年二月一六日 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《(巳) (文化六) 年正月二九日～(文化七) 年二月二日》

四二八 文化九年 材木仕切状之事〔後欠〕〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《(未) (文化八) 年二月一六日～九月一四日》

四二九 文化一〇年三月 諸材木請取之通〔町田屋栄助↓新館町田栄治郎〕

《三月二一日～八月二七日》

四三〇 文化一〇年二月一四日 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《(申) (文化九) 年二月一八日～一〇月四日》

四三一 文化一一年二月 諸材木之通〔町田屋栄助↓新館町田栄治郎〕

《二月一六日～一〇月九日》

四三二 文化一三年正月一八日 材木仕切状〔町田屋栄助↓新館町田栄次郎〕

《(戌) (文化一) 年二月一六日～一〇月九日》

四三三 文化一四年二月二日 材木仕切状〔町田屋栄助↓新館栄治郎〕

《(子) (文化一三) 年三月八日～一〇月一五日》

四三四 文政二年三月 諸材木請取通〔町田屋栄助↓新館町田栄治郎〕

《(卯) (文政二) 年三月一五日～一月二〇日》

四三五 文政五年四月 諸材木之通〔町田屋栄助↓町田栄次郎〕

《四月七日～九月二三日》

横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一

四二六

一 午（文政五）年八月一三 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄治郎〕  
日

《文政四年八月二六日～文政五年閏正月二二日》

二 未（文政六）年正月 仕切状〔藤田や喜助↓町田栄治郎〕

《巳（文政四）年》

四二七

文政五年 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄治郎〕

《文政五年四月七日～九月二〇日》

四二八

文政六年正月 諸材木之通〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《二月四日～九月一九日》

四二九

文政六年二月 材木仕切状〔上総屋清右衛門↓新館栄次郎〕

《未（文政六）年七月二八日～九月一七日》

四三〇

文政七年四月九日 仕切覚〔堺屋市右衛門↓新立栄治郎〕

《四月四日～四月六日》

四三一

文政七年七月二日 仕切覚〔堺屋市右衛門↓新立栄治郎〕

《六月一九日》

四三二

文政七年十一月二五日 材木仕切状〔町田栄助↓町田栄治郎〕

《二月四日～九月一九日》

四三三

文政酉（八）年六月一八 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

日

四三四

文政八年二月九日 御荷物仕切〔大坂屋庄三郎↓町田栄次郎〕

《五月七日・五月九日》

四三五

文政九年三月二六日 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

状

横

横

横

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

《(文政八) 年四月二八日～六月九日》

四二六

文政九年 材木仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

《文政九年三月一七日～一月朔日》

四二七

文政九年 材木仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

《文政九年三月一八日～一月二日》

四二八

文政九年 材木仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

《文政九年四月一八日～一月一七日》

四二九

文政九年 筏荷物請取覚〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

《四月一八日～一月一七日》

四三〇

文政一〇年三月 諸材木之通〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

《三月三日～九月一九日》

四三一

亥〔文政一〇〕年九月三 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄次郎・佐野富次郎〕

横

日

《(文政九) 年四月二三日～一月一三日》

四三二

亥〔文政一〇〕年九月三 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄次郎〕

横

日

《三月一四日～一月一六日》

四三三

一 文政一二年 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓王印町田栄次郎〕

横

《正月四日～四月五日》

二

文政一二年 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓印町田栄次郎〕

横

《正月二五日～一〇月二九日》

三

文政一二年 御荷物仕切状〔ふじたや喜助↓町田栄次郎〕

横

文政一二年 御荷物仕切状〔ふじたや喜助↓町田栄次郎〕

横



四二五	《六月一八日》 文政一二年 《正月四日～一月朔日》 材木水揚帳〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕	横	一
四二五	文政一二年 《正月四日～一月朔日》 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕	横	一
四二六	文政一二年正月 《三月一九日～六月二三日》 諸材木之通〔惣次郎↓町田栄治郎〕	横	一
四二五	文政一二年六月 《丑〔文政一二年〕年六月二日～六月一七日》 杉四方板売帳〔町田〕	横	一
四二五	文政一二年六月 《三月一五日・一六日》 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕	横	一
四二五	文政一二年一〇月 《子〔文政一二年〕年九月一日～一月朔日》 材木仕切状〔町田屋安助↓新立本家〕	横	一
四二〇	文政一二年一〇月 《三月一六日》 御荷物仕切状〔町田屋安助↓新館栄次郎〕	横	一
四二一	丑〔文政一二年〕年一二月 材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕 朔日	横	一
四二二	《二月二七日～九月二六日》 文政一二年一二月五日 材木水揚帳〔町田屋安助↓町田栄次郎〕	横	一
四二三	《一〇月二九日～一月朔日》 文政一二年一二月 御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕	横	一
四二四	《七月五日～八月二二日》 文政一二年 材木水揚帳〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕	横	一

《三月一五日～六月一四日》

四二五

天保二年正月

諸材木之通〔町田屋安助↓町田栄次郎〕

横

一

《三月五日～四月二七日》

四二六

天保二年

諸材木水揚〔藤田や喜助↓町田栄治郎〕

横

一

《三月八日～五月朔日》

四二七

一 天保三年正月

諸材木之通〔町田屋安助↓町田栄次郎〕

横

一

《正月晦日～一〇月二九日》

二

午年一〇月二九日

覚〔材木を請け取り、内金を渡した覚〕〔町田屋安助↓新立栄次郎〕

状

一

四二八

一 辰年九月二八日

万覚扣〔貫など材木上荷受取〕〔堺屋藤右衛門↓新立栄次郎〕

綴

一

二

辰年一〇月四日

万覚扣〔材木等荷物受取〕〔堺屋藤右衛門↓新立栄次郎〕

《一〇月四日～一〇月一八日》

三

覚〔杉皮・材木など請取状〕〔堺屋藤右衛門↓新立栄次郎・惣次郎〕

《一一月三日》

四

天保壬辰（三）年一〇月

万覚扣〔材木など荷物受取〕〔堺屋藤右衛門↓新立栄次郎〕

四二九

天保三年

材木水揚帳〔藤田屋喜助↓武州上名栗町田栄治郎〕

横

一

《四月二日～一〇月二九日》

四三〇

天保四年九月二〇日

材木仕切状〔町田屋栄助↓新館栄治郎〕

横

一

《九月九日》

四三一

天保四年

荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

横

一

《三月七日～九月一四日》

四三二

天保五年正月

諸材木之通〔町田屋安助↓町田栄次郎〕

横

一

《正月二三日～一〇月二七日》

四七五

天保五年正月

諸材木水揚之通〔町田屋歌助↓町田栄治郎〕

《正月二四日～一〇月二七日》

四七六

一 天保七年正月二日

御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓④印町田栄次郎〕

《九月七日・九月一四日》

二 天保七年正月二日

御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓王印町田栄次郎〕

《正月二五日～一〇月二一日》

三 天保五年

御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓半印町田栄次郎〕

《五月六日～九月二日》

四七七

天保五年

上荷物改帳〔④〕

四七八

天保六年正月

諸材木之通〔町田屋栄助↓勘次郎〕

《四月一九日～八月二六日》

四七九

天保六年三月

材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《正月一九日～一月三日》

四八〇

天保六年三月

材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《正月二三日～一〇月二四日》

四八一

天保六年四月

御荷物水揚之通〔町田屋安助↓町田栄次郎〕

《四月一八日～五月一〇日》

四八二

天保六年六月

丑仕切改覚〔亥年より午年までの丑・辰仕切改覚〕

《亥年～午年》

四八三

天保六年

御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓半町田栄次郎〕

《四月二〇日～一〇月一四日》

横

横

横

横

横

横

横

綴

横

四八三	天保六年	御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓④町田栄次郎〕	横	一
	《四月二日～五月一四日》			
四八三	天保七年正月一二日	御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓④町田栄次郎〕	横	一
	《正月二八日～九月七日》			
四八四	天保七年正月一二日	御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓④印町田栄次郎〕	横	一
	《四月朔日～一〇月二三日》			
四八五	天保七年四月	材木水揚通〔町田屋安助↓町田栄次郎〕	横	一
	《四月一四日～九月一二日》			
四八六	天保七年一〇月一八日	荷物仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕	横	一
	《一〇月六日～一〇月一五日》			
四八七	天保七年一〇月	材木仕切状之事〔町田屋安助↓町田栄治郎〕	横	一
	《一〇月三日～一〇月一一日》			
四八八	天保七年一二月	御荷物仕切〔町田屋歌助↓町田栄治郎〕	横	一
	《五月二日～五月八日》			
四八九	天保九年正月	諸材木水揚之通〔町田屋安助↓新館本家〕	横	一
	《閏四月一七日～六月一二日》			
四九〇	天保一〇年	④印天保十亥年分御荷物仕切状〔藤田屋喜助↓町田安助〕	横	一
	《二月一四日入～九月二日入》			
四九一	天保一一年	御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓④印町田安助〕	横	一
	《二月六日～九月二日》			
四九二	天保一一年	御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓④印町田安助〕	横	一
	《二月二四日～九月二日》			
四九三			綴	一

一 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓土印町田安助〕

《二月二八日》

二 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓全印町田安助〕

《二月二七日・九月二日》

三 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓王町田安助〕

《二月二九日》

四 天保一四年六月 水揚帳〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

《六月一〇日入〜六月一七日入》

五 天保一四年九月 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓新立安之助〕

《九月一五日入〜一〇月一八日入》

六 天保一四年 井上山御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

《正月二五日入〜六月二七日入》

四二六 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓⊕印町田安助〕

《三月六日》

四二七 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓四印町田安助〕

《三月六日〜四月五日》

二 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓全印町田安助〕

天保一一年

《□月七日〜一月一六日》

三 天保一一年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓⊕印町田安助〕

《四月三日〜一月二六日》

四二八 天保一三年七月 王印御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田安助〕

横

一

横

一

横

一

《天保一二年九月一日入》

二 天保一三年七月 全印御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田安助〕

《天保一二）年三月一〇日入、四月二二日入》

三 天保一三年七月 土印御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田安助〕

《天保一二）年三月一〇日入》

四 天保一三年七月 ④印御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田安助〕

《天保一二）年四月二二日入、一〇月一四日入》

五 天保一三年七月 ④印御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田安助〕

《天保一二）年四月二二日入、九月一日入》

六 天保一二年 丑印御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田軍藏・勇次郎〕

《一〇月二二日入・一一月六日入》

七 天保一三年七月 高麗川出御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田軍藏〕

《五月七日入》

八 天保一三年七月 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田軍藏・梨本次郎〔右衛門〕〕

《天保一二）年九月一〇日入、天保一三年三月晦日入》

四二七 天保一四年正月 井上山万禿帳 横 一

《卯（天保一四）年正月二六日、八月五日、辰（天保一五）弘化元年正月二〇日、二七日、（天保一四）年閏九月》

四二六 天保一四年六月 丑印水揚帳〔藤田や喜助↓勇次郎〕 横 一

《六月一七日》

四二五 天保一四年一〇月 杉板通〔紺屋甚右衛門↓新立町田〕 横 一

《卯（天保一四）年一〇月二七日、一一月七日》

四二四 天保一四年 井上山御荷物仕切帳④〔藤田屋喜助↓町田安之助〕 綴 一

《五月二日入〜七月朔日入》

二 天保一四年 御荷物仕切〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

《五月二日入〜六月二日入》

三 天保一四年 御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓井上勇次郎〕

四〇二 天保一五〔弘化元〕年四 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

月

《四月二八日入〜一月》

四〇三 天保一五〔弘化元〕年一 水揚帳

一月

《一月六日入〜二〇日》

四〇四

一 弘化二年 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

《三月九日入〜三月一二日入》

二 弘化三年 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

《九月一日入〜九月一六日入》

三 弘化二年 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓町田安之助〕

《八月一四日入》

四〇五

一 嘉永四年四月 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓田印町田軍蔵〕

《四月六日入〜四月二〇日入》

二 嘉永四年八月 御荷物水揚帳〔藤田屋喜助↓町田軍蔵〕

《六月二八日入》

四〇六

嘉永四年一二月 御荷物水揚之通〔町田屋安助↓町田軍蔵〕

横

綴

綴

横

横







《慶応二》年六月一〇日入》

四二九

明治二年正月

④御荷物仕切目録〔伏見屋竹三郎↓町田瀧之助〕

《明治元年九月五日入〜九月一三日入》

四三〇

明治二年一〇月二八日

④御荷物仕切書〔伏見屋竹三郎↓町田瀧之助〕

《六月一七日入・九月七日入》

四三一

明治二年一〇月二九日

御荷物仕切帳〔藤田屋喜助↓町田瀧之助〕

《明治元（Ⅱ慶応四）年八月二日入〜明治二年九月四日入》

四三二

明治二年一〇月

④御荷物仕切目録〔伏見屋竹三郎↓町田瀧之助〕

《二月二六日入〜三月二五日入》

四三三

明治二年一〇月朔日

御荷物仕切〔町田屋安助↓町田瀧之助〕

《七月三日入〜九月一日入》

四三四

明治三年閏一〇月

土御荷物仕切書〔伏見屋猛三郎↓町田俊三郎〕

《三月二六日入〜一〇月二九日入》

四三五

明治三年閏一〇月

御荷物仕切〔町田屋安助↓新立〕

《七月三日入〜閏一〇月朔日入》

四三六

明治三年一二月朔日

御荷物仕切帳〔堺屋七五郎↓町田俊三郎〕

《三月晦日入〜一〇月二九日入》

二

（元金・利金覚）

四三七

午（明治三）年一二月一

仕切（材木仕切状）〔町田屋安助↓町田俊三郎〕

一日

《一〇月一日〜閏一〇月二日》

四三八

明治四年六月七日

土御荷物仕切書〔伏見屋猛三郎↓町田俊三郎〕

横

横

横

横

横

横

横

横

横 状

横

一

一 一

一

一

一

一

一

一

一

一

《五月一日入》

四三九

明治四年一〇月一八日

④御荷物仕切書〔伏見屋猛三郎→町田保之助・同俊三郎〕

横

一

《九月晦日入》

四四〇

御荷物仕切帳

一 明治四年一〇月二五日

仕切状之事〔堺屋七五郎→町田俊三郎〕

《三月一九日入→九月一二日入》

二 (明治四) 年一月三日

仕切状之事〔堺屋七五郎→町田俊三郎〕

《一〇月二五日入》

四四一

一 明治四年一二月二日

④御荷物仕切書〔伏見屋猛三郎→町田俊三郎〕

《五月一日入→九月一三日入》

二 未 (明治四) 年一二月四日

覚〔仕切書覚〕〔伏猛→町俊〕

日

四四二

明治四年一二月一三日

④御荷物仕切書〔伏見屋猛三郎→名栗町田保之助〕

《三月一九日入→一〇月二〇日入》

四四三

(筏取水揚)

一

①一〇月三日

記〔筏取水揚〕〔堺屋七五郎→町田俊三郎〕

②一〇月三日

記〔筏取水揚〕〔堺屋七五郎→町田俊三郎〕

二

①卯年九月二八日

覚〔筏取水揚〕〔江戸や甚兵衛→町田俊三郎〕

②一二年一〇月一日

記〔筏取水揚〕〔朝日屋卯之助→④印孫次郎〕

③一〇月一日

記〔筏取水揚〕〔堺屋七五郎→町田俊三郎〕

綴

一

綴

一

横

一

状

一

横

一

綴

一



八	辰年九月二八日	(筏仮水揚 (前欠) [町田屋安助↓町田瀧之助・野田仁兵衛])	状
九	辰年七月一三日	仮覚 (筏水揚仮覚) [町田屋安助↓野田仁兵衛]	状
一〇	辰年七月一三日	(筏仮水揚 (前欠) [町田屋安助↓野田仁兵衛])	状
二	卯年五月二六日	(筏仮水揚 (前後欠) [町田屋安助↓新館分野田仁兵衛])	状
三	卯年九月四日	(筏仮水揚 (前後欠) [町田屋安助↓新館分野田仁兵衛])	状
三	一月三日	(筏仮水揚 (前後欠) [安助↓新館分野田仁兵衛])	状
一四	辰年九月二九日	(筏仮水揚 (前後欠) [安助↓名栗新立分野田仁兵衛])	状
一五	辰年九月二八日	(筏仮水揚 (前欠) [町田屋安助↓新館分野田仁兵衛])	状
一六	卯年五月二九日	(筏仮水揚 (前後欠) [町田屋安助↓新館分野田仁兵衛])	状
一七	卯年二月二八日	(筏仮水揚 (前後欠) [町田屋安助↓新館分野田仁平])	状
一八		仮水揚 (後欠) (筏仮水揚)	状
一九		(筏仮水揚 (部分) [↓野田仁兵衛])	状
四三四	丑年六月二二日	仕切覚 (不開) [堺屋藤右衛門↓栄治郎]	横
四三五	寅年一二月三日	材木仕切状 [町田屋栄助↓上名栗豊次郎・栄次郎]	横
四三六	《丑年八月一日入↓丑年九月三日入》		一
四三七	卯年五月一六日	(筏仕切覚) [堺屋藤右衛門↓町田瀧之助]	横
四三八	《三月二四日入・五月二〇日入》		一
四三九	卯年六月	藤田屋入井ノ上山水揚写 (町安)	横
四四〇	《卯年正月二五日入↓六月二二日入》		一
四四一	卯年七月二六日↓七月二七日	材木仕切状 [藤田屋喜助↓町田栄次郎]	横
四四二	《丑年二月一五日入↓卯年四月七日入》		一
四四三	卯年一二月二二日	寅年分材木仕切状 [町田屋栄助↓新館栄治郎]	横

《寅年二月一六日入〜十一月一三日入》

四四〇 辰年正月

仕切勘定覚〔中村屋与惣次↓町田屋軍蔵・甚七〕

四四一 辰年四月

江戸着新館筏注文帳〔木場店〕

《二月二日入〜六月一日入》

四四二 辰年五月一二日

材木仕切状〔不開〕〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

《四月八日〜》

四四三 辰年九月改

田勘定覚〔材木出荷勘定控帳〕

《卯年三月一二日〜辰年九月》

四四四 巳年九月一〇日

卯年分材木仕切状〔町田屋栄助↓新館栄次郎〕

《卯年三月一五日入〜十一月朔日入》

四四五 巳年一二月一七日

辰年入之分材木仕切状〔町田屋栄助↓新館栄治郎〕

《辰年正月二八日入〜九月二四日入》

四四六 午年八月

諸材木御荷物目録之覚〔藤田屋喜助↓町田栄次郎〕

《辰年三月晦日入〜九月一七日入》

四四七 午年八月

巳年分材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄次郎〕

《巳年七月晦日入〜一〇月二五日入》

四四八 午年

〔水揚帳〕

《一月二七日入〜二月九日入》

四四九 未年六月改

④未六月改覚〔金銀支払いにつき〕

《巳年七月四日〜未年六月二日》

四五〇 未年八月九日

午年分材木仕切状〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《午年四月一七日入〜九月二〇日入》

四五一

〔筏請取状〕

状綴

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

一 申年三月一二日 寛(筏請取)〔藤八屋喜助↓町田安助〕

二 申年三月一三日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 赤工茂八〕

三 申年三月一三日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 野田仁兵衛〕

四 申年三月二七日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 野田仁兵衛〕

五 申年三月二七日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 野田仁兵衛〕

六 申年三月二七日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 野田仁兵衛〕

七 申年三月二七日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 野田仁兵衛〕

八 申年三月二七日 仮水揚(筏請取)〔町田屋安助↓(新館) 野田仁兵衛〕

四三三 酉年四月一四日 (材木仕切帳)〔前欠〕〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《四月二五日入〜二月一〇日入》

四三三 戌年四月一五日〜七月三 (仮水揚綴)〔町田屋安助↓町田俊三郎・赤工茂八〕

〇日

四三四 戌年一月二四日 仕切状之事〔堺屋七五郎↓町田俊三郎〕

《酉年一〇月二日入》

四三五 亥年五月一六日 材木仕切状之事〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

《酉年三月二一日入〜同年八月二七日入》

四三六 四仕切改〔藤キ〕

《文政九年〜未(天保六)年七月二日》

四三七 寛(材木など残荷物改帳)

《天保六年》

四三八 (材木仮水揚)〔町田屋安助↓新館分赤工茂八・新館分あひな吉造〕

《未年五月二五日〜六月一日》

四三九 諸材木□通〔町田屋栄助↓町田栄治郎〕

(横) 九

綴 一

横 一

横 一

横 一

縦 一

状綴 一

横 一

《三月六日入、閏八月二十四日入》

四三〇

覚（筏水揚帳）

《四月二七日入、一二月二十四日入》

四三一

（江戸着筏注文帳）

《六月一〇日、六月二二日、卯年正月二五日、六月七日》

四三二

（材木仕切帳）（表紙欠）〔町田屋太助〕

横

一

横

一

横

一



## P 人足

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
四六三	寛政一〇年二月二日	万之通（人足に払渡した米・味噌・金などの通帳）〔新館↓日雇頭治郎右衛門〕	横 一
四六四	《年（寛政一〇）年二月一〇日始メ〜二月二九日》 寛政一〇年二月	月々覚帳（人足日記帳）〔頭治郎右衛門〕	横 一
四六五	《一〇日〜一二日》 文化一二年正月	大福帳（人足日記・勘定帳）〔町栄〕	横 一
四六六	《戌（文化一）年一〇月〜亥（文化二）年二月》 文化一三年正月	大福帳（人足日記・勘定帳）〔町栄〕	横 一
四六七	《亥（文化一）年二月〜卯（文政二）年二月》 文化一三年	奉公人請状	縦 一
四六八	文政二年正月	人足当座帳〔新館隠居〕	横 一
四六九	《文政》二年正月〜（文政）四年二月 文政□年正月	大福帳（一部不開）（人足日記・勘定帳）	横 一
四七〇	《卯（文政二）年二月〜巳（文政四）年六月》 文政五年八月 《八月〜九月》	忠左衛門普請人足帳 （寸法書付） （不開）	横 一 状 一 状 一



四三七 文政五年一〇月 給金渡控帳〔新館〕

《酉（文化一〇）年二月、丑（文化一四）年二月》

四三七 文政一三（天保元）年一 子之山人足覺

二月

《文政一三（天保元）年九月四日、卯（天保二）年一〇月三日》

四三七 辰（天保三）年閏一月（人足覺）

一六日、午（天保五）年

一二月二八日

四三七

一 天保四年正月 人足日記帳〔町栄〕

《正月、七月》

二

覺（人足日記帳）

《閏一月一九日、二九日》

四三七 天保五年正月 人足日記帳

《正月、九月》

四三七 天保五年一〇月 人足日記帳

《一〇月、十二月》

四三七 天保六年正月 万控帳（後欠）

《正月、九月》

四三七 天保一四年正月 人足日記帳〔町菊〕

《正月、三月》

四三七 天保一四年六月 万日記覚帳（後欠）

《五月、九月》

横 一

横 一

横 一

綴 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

四六〇 天保一五(＝弘化元)年四 人足仮寛帳〔後欠〕

横 一

月

《四月～六月》

四六一 弘化三年三月 人足日記帳〔新館〕

横 一

《二月一日～五月二一日》

四六二 弘化三年九月 人足帳〔新館〕

横 一

《九月二〇日～十二月二九日》

四六三 弘化四年正月 人足帳〔新館〕

横 一

《正月二日～六月一八日》

四六四 弘化四年正月 人足口取帳〔新館〕

横 一

《正月～申(嘉永元)年二月》

四六五 弘化四年三月 人足口取帳〔新館〕

横 一

《三月～十二月》

四六六 弘化四年三月～嘉永元年 日雇勘定帳〔新館〕

横 一

一二月

四六七 弘化四年六月 式番人足帳〔新館〕

横 一

《一八日～一〇月一四日》

四六八 弘化四年九月 式番人足口取帳〔新館〕

横 一

《八月六日～十二月晦日》

四六九 弘化五(＝嘉永元)年正月 式番人足 (日記帳) ☐☐ (表紙欠)〔新館〕

横 一

《正月七日～四月二二日条》

四七〇 弘化五(＝嘉永元)年正月 人足内貸帳〔新館〕

横 一

《正月～十二月》

《一〇月一六日—一二月二八日》

《正月六日—一〇月一六日》

《嘉永二年七月、三年一二月》

《一〇月一七日と一二月二九日》

《正月六日～二月二八日》

《正月五日》、《二月二九日》

《嘉永四年七月》安政元年一二月》

《正月六日、二月二八日》

《正月三日～二月一七日》

嘉永六年正月  
給金帳〔新館〕

《丑（嘉永六）年五月、寅（慶応二）年四月》

覺（人足給金につき）〔新立↓松本久助〕

七月二日  
覺（太次郎給金取替）〔代八↓①〕

- 四三〇 嘉永七(=安政元)年正月 人足日記帳〔新館〕  
 《正月二日～二月大晦日》
- 四三〇一 安政二年正月 人足日記帳〔新館〕  
 《正月二日～二月七日》
- 四三〇二 安政二年正月 人足勘定帳〔新館〕  
 《(安政二)年～午(安政五)年一二月》
- 四三〇四 安政三年正月 人足日記帳〔新館〕  
 《正月二日～二月二七日》
- 四三〇五 安政三年正月 人足日記帳〔印〕  
 《三月七日～閏五月二四日》
- 四三〇六 安政四年正月 人足日記帳〔新館〕  
 《正月二日～二月》
- 四三〇七 安政四年二月 人足覺〔新立内福松〕  
 《正月二四日～□月一四日》
- 四三〇八 安政四年閏五月 人足仮扣〔新館〕  
 《五月～九月二〇日》
- 四三〇九 安政五年正月 人足日記帳〔新館〕  
 《正月二日～二月一九日》
- 四三一〇 安政五年二月 人足日記帳  
 《二月一〇日～四月二九日》
- 四三一一 安政六年正月 人足勘定帳  
 《未(安政六)年～亥(文久三)年一二月》
- 四三一二 安政(六)年正月 人足日記帳〔新館〕

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

四三三	《正月二日～二月二九日》 安政六年七月 諸勘定仮控
四三四	《七月一日～二月二九日》 安政六年九月二七日 岩切人数覚帳〔三社村石工嘉吉〕
四三五	《九月二七日～霜月七日》 安政七〇万延元年正月 人足日記帳〔新館〕
四三六	《正月二日～二月二九日》 万延元年七月 諸勘定仮扣〔新立〕
四三七	《七月一日～二月二九日》 万延元年 〔人足月々帳〕
四三八	《申年正月～七月七日》 万延二〇文久元年正月 人足日記帳〔新館〕
四三九	《正月二日～文久二年二月一八日》 万延二〇文久元年正月 人足月々帳〔新館〕
四四〇	《正月～二月》 文久二年正月 人足日記帳〔新立〕
四四一	《正月四日～文久三年正月二〇日》 文久二年七月 人足月々帳〔新立〕
四四二	《正月～二月》 文久三年正月 人足日記帳〔新館〕
四四三	《正月五日～二月二三日》 文久三年七月 人足玉取・筏川下ヶ書出帳〔新立〕
四四四	《正月～二月》

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

四三四 文久三年八月 藏根縫並石垣人足帳〔新立〕

《八月九日、丑（慶応元）年六月二三日》

四三五 文久四(元治元)年正月 人足日記帳〔新立〕

《正月五日》—二月二九日》

元治元（＝文久四）年正月 人足勘定帳〔新立〕

《子（元治元）年々卯（慶応三）年一二月》

元治元年七月 諸勘定附込〔新立〕

《子（元治元）年二月、寅（慶応二）年二月》

四三八 元治元年七月 人足月ノ帳

《正月と二月》

四三九 元治元年一〇月 屋根普請人足諸掛帳〔新立帳場〕

《二月一日〜慶応元年一月四日》

01111111

一子（文久四＝元治元）年給金貸書拔

正月一五日、巳（明治二）

年二月

慶應二年 慶應二寅年小作金請取扣

《二月晦日》  
《二月一五日》

元治二（1170）年正月 人足日記帳〔新立〕

《正月八日》、《二月二十九日》

慶応元年七月二日  
人足月々帳〔新立帳場〕

《正月と二月》

慶応二年正月  
人足日記帳〔新立〕

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

《正月四日》、《二月二四日》

四三三 慶応二年正月 万おぼへ帳（人足覚帳）〔浅見寅次郎〕

《正月五日、卯（慶応三）年三月一七日》

四三五 慶応二年正月 給金帳〔新館〕

《寅（慶応二）年々未（明治四）年二月》

四三六 慶応二年一二月 駄賃内貸帳〔新立帳場〕

《寅（慶応二）年、卯（慶応三）年九月》

四三七 慶応二年一二月 人足月々帳〔新立〕

《正月と二月》

四三六 慶応二・三年七月 諸勘定帳〔新立〕

《丑（慶応元）年一二月、卯（慶応三）年一二月》

四三九 慶応三年正月 人足日記帳（人足勘定帳）〔新館〕

《正月四日～二月晦日》

慶応三年七月 人足月々帳〔新立〕

《正月～二月》

慶応四（明治元）年正月 人足勘定帳〔新館〕

《卯（慶応三）年一二月～辰（慶応四＝明治元）年一二月》

三三三

慶応四（明治元）年正月 人足日記帳〔新館〕

《正月五日～二月二九日》

二 九月 覚(安太郎分ゆの沢山材木切り出し数量)

慶応四（明治元）年正月 人足月ノ帳

《正月と二月》

横

横

横  
一

横  
一

横  
一

横

横  
一

横  
一

横  
一

橫 狀  
一 一

明治元年十二月

麦の窪山横丸キ高引取帳〔薪搾え人足帳〕

横

一

明治二年

人足日記帳〔新館〕

横

一

《正月二日～十二月晦日》

明治三年正月

《正月二日～二月二三日》

人足日記帳〔新館〕

横

一

明治三年正月

午年四月～八月

人足勘定帳〔新館〕

明治三年二月

大旦那仕入米麦貸扣〔新立帳場〕

横

一

《三月二日～八月二五日》

明治三年六月

勘定仮ひかへ

横

一

《午〔明治三〕年二月～申〔明治五〕年七月》

明治三年

人足日記帳〔名栗嘉七〕

横

一

《正月九日～九月一二日》

明治四年正月

人足日記帳〔町俊〕

横

一

《正月八日～十二月晦日》

卯年一〇月一三日～一二

名栗出駄賃寛〔↓原利八〕

綴

一

月朔日

覚〔杉皮代金の受取りにつき〕〔原利八↓町田栄次郎〕

卯・辰・巳年

《卯年二月～十一月》

卯年分辰巳三ヶ年分①分口取無之分仮扣〔卯右衛門〕

横

一

①分口取無之分仮寛



《卯年二月二十五日～辰年二月一日》

①分口取無之分貸仮写

《辰年二月～巳年二月》

四三三

辰年七月

(人足月ノ帳)

四三四

辰年十二月

(人足月ノ帳)

四三五

辰年

辰年國分貸

《五月～一〇月》

四三六

巳年七月

(人足月ノ帳)

《五月》

四三七

午年七月

午七月丑長

《正月～七月》

七月

七月午年人足下改長

《巳・午年》

四三八

午年九月

石碑注文〔北川村石工金蔵〕

《午年九月一日～翌未年四月二四日》

四三九

午年

(人足勘定帳)

《辰年七月～午年七月》

四四〇

未年

(人足勘定帳)

《辰年七月～未年十二月》

申年十二月

四六一

(人足代・米代勘定)

入人足至帳

横 状

一 一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

《七月～十二月》

四三六  
申年

万附込帳（人足への貸金・貸穀寛帳）〔日影海戸新五郎他四名〕

横

一

《正月～七月》

四三六

寛（人足数・賃金につき）

横

一

《文政一三（＝天保元）年七月二六日～一二月一五目》

四三六

寛（人足延人数・賃銀・小作金の書付）

横

一

《天保一五（＝弘化元）年八月～文久三年》

四三六

（人足賃金支払帳）

横

一

《弘化三年三月二日～一二月二八日》

四三六

（日雇人足勘定寛）

横

一

《丑（嘉永六）年一月七日～嘉永七（＝安政元）年七月朔日》

四三六

横

一

一

一①

（人足勘定帳）

《丑年九月》

一②

（人足日記帳）

《丑年八月一三日～卯年五月三一日》

二

（メ人数、賃金書付）

三

（メ人数、賃金書付）

四

（メ人数、賃金書付）

《辰年四月二七日～五月二八日》

五

（メ人数、賃金書付）

《大宝恵（人足への貸金・貸穀寛）

四三六

（人足人数、賃金書付）

横

一

一

四三六	《寅年七月二日～一二月大晦日》 (人足勘定帳)	横	一
四三〇	《卯年九月～二月》 (人足月々帳)	横	一
四三二	《卯年二月(別筆) 十一月三日迄》 覚(金・麦など半次郎・永五郎への支払いにつき)	横	一
四三三	《巳年正月一二日～午年六月二一日》 (年季奉公給金帳)	(横)	五
四三三	《巳年二月～午年八月》	綴	一
一	午年分④分口取無之分貸仮揚		
二	《巳年一二月～未年三月》 未年分④分口取無之分貸出抜		
四三四	《午年一二月～未年一二月》 (人足勘定帳)	横	一
四三五	《午年三月～未年一二月》 (人足貸金覚)	横	一
四三六	《午年～申年》 (人足日記・勘定帳)	横	一
四三七	《未年正月～申年四月》 (人足月々帳)	横	一
四三六	《未年七月一五日～一二月朔日》	横	一

一 覚 江戸駄ちん

《未年七月～酉年十一月二〇日》

二 (駄ちん勘定)

(日雇人足勘定覚)

《未年一二月晦日～戌年六月二六日》

(人足覚)

《申年二月二六日・二七日》

覚 (貸金・貸穀につき)

《戌年一月八日～四月五日》

(人足月々帳)

《戌年正月～六月》

(人足日記帳)

《正月二八日～午年正月七日》

人足勘定帳

《正月～五月》

(人足勘定帳)

《正月～七月》

覚 (人足出役数につき)

《四月五日～二八日》

(杉本数・人足人数の書付)

《八日》

(人足日記帳) (前欠) (新館)

横

状

横

(横)

横

横

横

横

横

横

横

状

横

《五月二二日～九月一八日》

四六八

(人足日記帳)

横

一

《三日～一三日》

(人足日記帳)

横

一

《六月三日～七月一三日》

(人足日記帳) (前後欠)

横

一

《六月一八日～九月三日》

(人足勘定帳)

横

一

四三九〇

《八月一日～一〇月二九日》

(人足日記帳) (前後欠)

横

一

四三九一

《八月一九日～九月一四日》

四金渡覚 (人足賃などにつき)

横

一

四三九二

《十一月九日～二月一〇日》

覚 (人足賃などにつき)

横

一

二

《二月朔日～一月五日》

(村用人足仕事覚)

(横)

一

四三九三

《十一月一七日～一月晦日》

記 (人足日記)

横

一

四三九四

《二月一九日～戊年五月二七日》

(金錢勘定・人足日記)

横

一

四三九五

《八月～二月二〇日》

横

一

四三六

(人足日記帳) (前後欠)

(横)

一

《一五〇月一二日》

四三七

覚 (賃金借につき)

横

一

四三八

覚 (年季奉公人給金につき)

横

一

四三九

覚 (人足賃金につき)

横

一

覚 (人足賃金につき)

横

一

覚 (人足賃金につき)

横

一

(人足日雇勘定覚)

横

一

(人足日記帳) (前後欠)

横

一

四四〇

四四二

## Q 町田家酒造

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
2202	文化一〇年八月八日	蔵々諸方江直出金改(一部不開)〔新館蔵〕	横 一
2203	文化一〇年八月	申年分蔵諸入用取調帳〔新館〕	横 一
2204	文化一〇年九月	ながし普請掛り控帳(一部不開)〔新館蔵〕	横 一
2205	(文化一〇年)	酉年分米代出金調〔新館蔵〕	横 一
2206	文化一一年七月	給金渡控帳〔新館蔵〕	横 一
2207	《戌(文化一一)年七月ゝ子(文化一三)年六月》 文化一二年二月	酒質取調帳	横 一
2208	《酉(文化一〇)年大晦日ゝ亥(文化一二)年二月》 文化一二年二月	万之通(醤油・米買入につき)〔下店↓本店〕	横 一
2209	《戌(文化一一)年一〇月八日ゝ子(文化一三)年正月一日》 文化一二年二月	貸方表引請取調帳(売掛金引請につき)〔表栄次郎↓蔵ノ茂八他一名〕	横 一
2210	文化一二年二月	醤油引請店改帳(後欠)〔引請人乙次郎〕	横 一
2211	文化一三年二月	有物貸方調帳(酒代など)〔新館蔵↓預主茂八他二名栄治郎〕	縦 一
2212	文化一四年正月	有物貸方調帳(酒代など)〔新館↓預主茂八他二名栄治郎〕	縦 一
2213	文化一四年正月	有物貸方調帳(酒代など)〔新館蔵↓預主茂八他二名栄次郎〕	縦 一
2214	文化一四年七月	人足賃松控〔日野屋店↓新館町田栄治郎〕	横 一
2215	《七月ゝ九月》 文政四年二月	上ケ金請取帳〔新館蔵〕	横 一

《辰（文政三）年二月二十八日～巳（文政四）年九月一日》

四二六

一 文政五年正月

上ケ金請取覚

横

一

《巳（文政四）年二月二十八日～申（文政七）年九月》

二 未（文政六）年九月一七 覚（上ケ金受取覚）

状

一

日

《午（文政五）年一〇月～未（文政六）年九月》

四二七

文政七年正月

金子控（日野屋善七↓町田栄次郎）

横

一

《午（文政五）年七月二二日～申（文政七）年閏八月一四日》

四二八

文政七年一二月

上金請取帳（新館）

横

一

《申（文政七）年二月二九日～戌（文政九）年二月二五日》

四二九

文政九年一〇月

蔵普請諸掛り帳

横

一

《九月二十九日》

四三〇

文政九年一二月

普請諸掛り勘定帳（上蔵）

横

一

《（文政九）年一〇月二二日～亥（文政一一）年三月一〇日》

四三一

文政一二二年正月

諸色之通（米穀日用品通帳）（日野屋善七↓町田栄治郎）

横

一

《五月一八日～一月七日、十一月一五日～一月二三日》

四三二

一 天保元年一二月

上ケ金請取控（上蔵）

横

一

《寅（天保元）年二月二八日～卯（天保二）年七月二七日》

二

覚（上ケ金受取覚）

状

一

《寅（天保元）年二月二八日～卯（天保二）年六月二九日》

四三三

綴

一



	一	天保四年正月	上ケ金請取控〔上蔵〕	
		《辰（天保三）年大晦日〱巳（天保四）年九月一三日》		
	二	《正月〱八月》	（上ケ金寛）	
	三		（上ケ金勘定寄控）	
四二四		天保七年正月	上ケ金請取帳	横
四二五		《申（天保七）年正月二三日〱七月二七日》		
四二六		嘉永三年九月	穀買帳〔上名栗土屋重蔵〕	横
四二七		《嘉永三年九月〱辰（慶応元）年七月六日》		
四二八		安政六年一〇月	普請人足控〔土屋〕	横
四二九		《二〇月一九日〱十一月六日》		
四三〇		安政七（〱万延元）年正月	万年大福帳〔酒代金売掛勘定帳〕〔武州上名栗土屋重蔵〕	横
四三一		《安政七（〱万延元）年正月〱文久四（〱元治元）年》		
四三二		文久二年正月	□□酒之控〔酒代金売掛勘定帳〕〔土屋幾三郎〕	横
四三三		《万延元年〱元治二（〱慶応元）年》		
四三四		文久三年	本家書拔帳〔年ごとの本家酒代寛〕〔土屋重蔵〕	横
四三五		《天保七年〱文久二年》		
四三六		慶応二年正月	大福帳〔酒代金売掛勘定帳〕	横
四三七		《万延元年正月〱慶応三年正月》		
四三八		酉年四月	手控〔酒代金売掛勘定帳〕〔日野屋〕	横
四三九		《四月二四日〱二月》		
四四〇		酉年七月一八日	有物改〔酒・焼酎・糖・粕・かすなどの有物改ならびにわらしなど買物代寛〕 万之扣〔酒・焼酎ほか買物代金売掛勘定帳〕〔日野屋善七〱町田栄次郎〕	横

《辰年七月ゝ申（文政七）年閏八月二日》



（桶木引取り数寛）

《九月二九日ゝ一〇月六日》



寛（半切り・柳樽など酒造用品寛）

《一〇月六日ゝ一〇月一〇日》

横

一

横

一

## R 酒買入

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
四三六	一	享和二年正月 現金酒之通〔日野屋善七↓新館栄次郎〕 《二月七日〜二月一六日》	横 一
二		(酒差引勘定)	状 一
四三七	一	享和三年正月 酒之通	横 一
二		《戌(享和二)年大晦日(丑)(文化二)年正月二〇日》 (去戌大晦日より当亥六月二六日迄の酒の量覚、二月二五日始り十月晦日迄内又七分人足賃の覚、二月十日より十一月朔日迄内伊之□分人足賃の覚)	状 一
四三八		《戌(享和二)年大晦日(亥)(享和三)年二月二五日〜一〇月晦日、二月一〇日〜一月朔日》 酒之通〔酒之通・米之覚〕〔ひのや善七↓町田軍蔵〕	横 一
四三九		《五月一四日〜一〇月一〇日、四月二七日〜二月七日》 酒之通〔二部不開〕〔土屋重蔵↓町田栄次郎〕	横 一
四四〇		《天保六年九月〜申(天保七)年七月二七日》 酒之通〔井上(村)池田屋五兵衛↓名栗新館軍蔵〕	横 一
四四一		《天保一四年正月 酒之通〔日野屋善七↓町田安之助〕》	横 一
		《天保一四(三)年二月二七日〜卯(天保一四)年二月二四日》	
		《天保一四(三)年二月二九日〜(天保一四)年閏九月八日》	

四四三

天保一四年正月

酒之通〔土屋重蔵↓町田安之助〕

横

一

《寅（天保一三）年二月二十九日〓卯（天保一四）年二月二十九日》

四四三

天保一四年九月

式番酒之通〔日野屋善七〕

横

一

《閏九月一〇日〓二月二三日・辰年一〇月二十五日》

四四四

天保一四年

酒之通〔土屋十蔵↓新館〕

横

一

《寅（天保一三）年二月二十九日〓卯（天保一四）年七月一三日》

四四五

天保一五（〓弘化元）年正

酒之通〔日野屋善七↓町田安之助〕

横

一

月

《卯（天保一四）年二月二十四日〓辰（天保一五）年六月二〇日》

四四六

天保一五（〓弘化元）正

酒之通〔日野屋善七↓町田安之助〕

横

一

月

《卯（天保一四）年二月二十四日〓辰（天保一五）年二月二十四日》

四四七

天保一五（〓弘化元）年正

酒之通〔井上（村）池田屋五兵衛↓名栗元〓新館軍蔵〕

横

一

月

《卯（天保一四）年二月二十八日〓辰（弘化元）年二月二七日、二月二十九日〓弘化二年二月二八日、弘化三

年六月一七日〓七月五日》

四四八

天保一五（〓弘化元）年正

酒之通〔土屋十蔵↓町田安之助〕

横

一

月

《正月七日〓三月一九日》

四四九

弘化二年正月

酒之通（後欠）〔土屋〕

横

一

《辰（弘化元）年二月晦日〓》

四五〇

弘化三年正月

酒之通〔土屋重蔵↓新館町田安之助〕

横

一

《正月八日〓三月一三日》

四五一 弘化三年三月 酒之通〔土屋重蔵↓町田安之助〕

《三月二十四日～二月二十九日》

四五二 弘化五(嘉永元)年月正 酒之通〔日(野屋善七)↓新立町田安之助〕

月

《正月元日～二月二二日》

四五三

一 嘉永四年正月 酒之通〔柏屋清八↓新立町田安之助〕

《戊(嘉永三)年二月二七日～亥(嘉永四)年二月二二日》

二 嘉永三年一〇月 酒之通〔柏屋清八↓町田安之助〕

《二〇月一九日～二月二八日》

四五四 嘉永四年正月 酒之通〔土屋重蔵↓新館町田安之助〕

《正月六日～二月二九日》

四五五

一 嘉永五年正月 酒之通〔土屋重蔵↓新館〕

《正月六日～一〇月二〇日》

二 嘉永五年正月 一番酒之通〔土屋重蔵↓新館〕

《一〇月二一日～二月二九日》

四五六 嘉永六年正月 酒之通〔土屋重蔵↓新館〕

《子(嘉永五)年二月二九日～丑(嘉永六)年二月二八日》

四五七 嘉永六年二月 書拔帳〔町田家分酒代、金貸讓分〕〔土屋重蔵↓新立〕

《文政(一〇)亥年七月～丑(嘉永六)年二月》

四五八 嘉永六年二月 書拔帳〔町田家分金貸讓分〕〔土屋重蔵↓新立〕

《天保一〇年七月～嘉永六年二月》

横 一

横 一

綴 一

横 一

綴 一

横 一

横 一

横 一

四四九	嘉永七(＝安政元)年正月 《正月七日～十二月晦日》	酒之通〔土屋重蔵↓新館町田瀧之助〕	横	一
四四〇	安政二年正月 《正月七日～辰(安政三)年正月二日》	酒之通〔土屋重蔵↓新館町田瀧之助〕	横	一
四六一	安政四年正月 《正月二日～十二月晦日》	酒之通〔土屋重蔵↓町田瀧之助〕	横	一
四六二	安政六年正月 《正月四日～十二月晦日》	酒之通〔土屋重蔵↓新館町田瀧之助〕	横	一
四六三	万延二(＝文久元)年正月 《正月五日～極月二九日》	酒之通〔土屋重蔵↓新館町田瀧之助〕	横	一
四六四	文久元年正月 《正月四日～極月二九日》	酒之通〔土屋重蔵↓新館町田瀧之助〕	横	一
四六五	文久三年正月 《正月五日～十二月晦日》	酒之通〔土屋重蔵↓御本家町田瀧之助〕	横	一
四六六	一 文久四(＝元治元)年正月 《正月五日～七月一二日》	酒之通〔土屋重蔵↓新立御本家町田〕	綴	一
二	文久四(＝元治元)年七月 元治二(＝慶応元)年正月	酒之通〔土屋重蔵↓新館御本家町田瀧之助〕	横	一
四六七	慶応二年正月 《正月一五日～八月七日、極月二七日～卯(慶応三)年二月四日》	酒之通〔土屋重蔵↓新立町田瀧之助〕	横	一
四六八	慶応三年九月 《天保八年八月～慶応三年》	酒代書拔帳〔土屋重蔵↓新館〕	横	一

四七

明治二年一〇月

酒之覚

《一〇月朔日～一二月二八日》

四七

(酒覚)  
(前欠)

《六月二五日～七月五日》

横

一

横

一

## S 炭 商 売

## 全 般

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
四七三	弘化四年六月	通（縄・金など渡し方通帳）〔新館→中沢万次郎〕	横 一
四七三	慶応二年一二月	仮扣（炭商売諸事仮控帳）〔新館内浦八〕	横 一
四七三	《一二月六日～卯（慶応三）年正月二七日》		
四七四	明治二年正月	当座帳（炭入・炭出帳）〔新館〕	横 一
四七四	《正月二日～九月二五日》		
四七五	明治三年正月	当座帳（炭入・炭出帳）〔新館〕	横 一
四七五	《正月二日～三月晦日》		
四七六	明治三年一二月	式番仮控（炭・穀物などにつき）（一部不開）	横 一
四七六	明治四年正月	仮控（炭・穀物などにつき）	横 一
四七六	《未（明治四）年正月二日～四月四日》		
四七六	庚午（文化七または明治三）年	炭午（文化七または明治（炭出入帳）（表紙欠）	横 一
四七六	《四月朔日～一二月二六日》		
四七六	亥年一〇月	万おほへ（炭入荷覚）	横 一
四七六	《一〇月二〇日～（戌）年一二月八日》		



入荷・生産

四〇	享和二年正月	御屋敷炭入口取帳〔町田〕	横	一
四一	癸亥〔享和三〕年	炭木山買出し積帳〔町栄〕	横	一
四二	文化三年正月	炭請取通〔唐竹村文次郎↓上名栗村栄次郎〕	横	一
四三	《文化二年二月》二二日～〔文化三〕年三月二二日《		横	一
四四	文化四年二月	炭付出〔新館迄〕〔新立〕	横	一
四五	《二月二五日～五月一日、七月一六日改》		横	一
四六	文化五年正月	炭仕切帳〔町栄〕	横	一
四七	《卯〔文化四〕年二月一八日～巳〔文化六〕年四月朔日》		横	一
四八	文政七年二月	炭入帳〔町田〕	横	一
四九	《二月一九日～二月二七日、酉〔文政八〕年正月一〇日改》		横	一
五〇	文政一二年三月	焼谷炭焼出覚帳	横	一
五一	《文政一二年三月～寅〔天保元〕年二月》		綴	一
五二	天保五年四月	炭覚帳〔町田屋〕	綴	一
五三	《四月一日～一〇月二七日》		綴	一
五四	二午〔天保五〕年二月	津辺曾山炭覚帳	横	一
五五	《二月四日～六月五日》		横	一
五六	三	覚④〔炭出帳〕	横	一
五七	《三月二四日～四月六日》		横	一
五八	天保一四年正月	炭覚帳〔新館〕	横	一

《正月一日～七月》

四九八 天保一四年 (炭入帳)

《五月一日～九月一六日》

四九九 弘化二年正月 炭寛帳(一部不開)

五〇〇 弘化二年一〇月 麦窪山炭控帳(新館)

《一〇月一七日～二月七日》

五〇一 弘化三年三月 白岩炭焼内貸帳

《三月一五日～二月二六日》

五〇二 弘化三年一〇月 炭之通(新立↓穴沢房五郎)

《一〇月一三日～一月一六日》

五〇三 弘化三年 式番<sup>(炭)</sup>□入帳(新館)

《五月一〇日～一〇月一三日》

五〇四 弘化三年～嘉永元年 弘化三年年々嘉永元申年迄炭仕切勘定調

《弘化三年～嘉永元年》

五〇五 弘化四年正月 炭入帳(新館)

《正月八日～四月二九日》

五〇六 弘化四年五月 白岩・湯ツ沢山炭入帳(新館)

《六月二六日～一月一〇日》

五〇七 未(弘化四)年六月改 弘化二年二月山重次郎殿炭米之通

《巳(弘化二)年二月一八日～午(弘化三)年四月二七日》

五〇八 弘化四年一二月 三番炭入帳(新館)

《一月一六日～二月二九日》

五〇九 嘉永元年 嘉永元年但午年々申年迄改白岩炭焼勘定帳(新館)

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

《午（弘化三）年～申（嘉永元）年》

四三〇 嘉永二年正月 菅番炭入帳〔新館〕

《正月一〇日～十一月二七日》

四三一 嘉永二年～元治元年 嘉永二酉年より元治元子年迄炭仕切勘定調<sup>（マ）</sup>

《嘉永二年～元治元年》

四三二 嘉永三年正月 炭入帳〔町田安之助〕

《（嘉永二）年十二月～（嘉永三）年十二月》

四三三 嘉永四年正月 炭入帳〔町田安之助〕

《正月～十二月》

四三四 嘉永五年正月 手控帳（炭出につき）

《二月二日～二月二五日、丑（嘉永六）年六月二日～二月三日、卯（安政二）年九月一七日～一〇月二三日、正月一日～二月二日》

四三五 嘉永五年正月 炭入帳

《四月朔日～二月二六日、正月四日～二月》

四三六 嘉永六年正月 炭入帳〔新館〕

《正月～十二月》

四三七 嘉永六～安政二 年 （嘉永六年より安政二年迄炭仕切勘定帳）

《丑（嘉永六）年～卯（安政二）年》

四三八 嘉永七（＝安政元）年正月 炭入帳〔新館〕

《正月～十二月》

四三九 安政二年正月 炭入帳〔新館〕

《正月～十二月》

四四〇 安政三年 炭入帳〔新館〕

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

《正月～二月》

四三二 安政四年正月 炭入帳〔新館〕

《正月九日～二月二九日》

四三三 安政五年正月 炭入帳〔新館〕

《正月一日～二月二八日》

四三四 安政六年正月 炭入帳〔新館〕

《正月六日～二月二八日》

四三五 安政七(＝万延元)年正月 炭入帳〔新館〕

《正月五日～二月二九日》

四三六 万延二年 炭入帳〔新館〕

《正月六日～二月晦日》

四三七 文久二年正月 炭入帳〔新館〕

《正月四日～二月二九日》

四三八 文久三年正月 炭入帳〔新館〕

《正月五日～二月二九日》

四三九 元治元年七月 炭仕切之扣〔新立内宗藏〕

《嘉永元年～元治元年》

四四〇 慶応三年正月 炭焼人足貸扣〔町田〕

《正月五日～三月二五日》

四四二 慶応四(＝明治元)年正月 炭入帳〔新館〕

《正月四日～二月二九日》

四四三 明治元年一〇月 堂の入山証文藤田や分

四四三 明治元年十一月 心大宝恵〔炭入寛〕

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

《辰（明治元）年二月五日～二月一〇日》

四三

明治二年正月

炭入帳〔新館〕

横

一

《正月四日～大晦日》

四三

明治四年四月

仮控（炭入帳）

綴

一

《二月朔日～二月二十九日》

二

（炭入帳）

《正月三日～二月晦日》

四三

一

覚（炭山代金算出覚）

綴

一

卯年正月七日

覚（炭山代金算出覚）〔西平近之助・木成寅次郎・山見利八〕

卯年正月七日

覚（炭山代金算出覚）〔峰出之・沢原明吉・立合引受浜吉・山見利八〕

卯年正月一三日

覚（炭山代金算出覚）〔浜居場反八・山見利八〕

卯年正月二〇日

覚（炭山代金算出覚）〔弥之吉〕

卯年正月

覚（炭山代金算出覚）〔弥次郎〕

卯年正月

覚（炭山代金算出覚）〔善次郎・関次郎〕

卯年正月

覚（炭山代金算出覚）〔人見治助〕

四三

午年

午年分白岩内貸附込帳

横

一

《三月一日～六月一日》

四三

未年正月

麦ヶ窪炭（炭入帳）〔鳴子沢市五郎口取与七・西之助〕

《正月五日～五月八日》

四三

申年

〔浜口〕  
□□山炭入帳〔日雇人吉右衛門〕

《正月一日～四月一八日》

横

一

四五〇

戌年一月

戌十一月市松炭調扣（一部不開）

横

一

四五二

《一月二七日》

（炭仕切勘定帳）

横

一

四五三

《弘化三年と万延二（＝文久元）年》

炭仕切勘定書抜（表紙のみ）

（横）

一

四五三

《嘉永二年と弘化三年と明治元年迄》

（文久二年より慶応四（＝明治元）年まで炭焼仕切勘定帳）

横

一

四五四

《文久二年正月と慶応四（＝明治元）年二月》

覚（炭焼代払覚）

横

一

四五五

《申年三月二八日と酉年七月二八日》

（炭出荷控帳）

横

一

四五六

《亥年始と卯年七月八日》

覚（炭焼諸掛帳）

横

一

四五七

《正月五日と二月三日》

（炭出荷控帳）

横

一

四五八

《正月六日と二月三十一日》

（永助からの炭入控）

横

一

四九九

《二月二五日と一月晦日》

（炭入帳）

横

一

四四〇

《二月二五日と二月二七日》

（新五郎からの炭入控）

横

一

四五一

《二月二五日と二月六日》

（炭入帳）

横

一

《五月四日～一月一九日》

四五二

(炭背負納入覚)

横 一

《一〇月二二日～二七日》

四五三

(炭入荷仮控) (表紙欠) (一部不開)

横 一

四五四

(炭入帳)

(横) 二六

四五五

(炭入荷覚) (前後欠)

(横) 一三

## 出荷・販売

四五六

享和三年二月

炭之通 (飯能町堺屋又右衛門↓新館町田永二郎)

横 一

《二月一七日～二月二六日》

四五七

享和三年～文化二年

享和三亥年々文化二丑年迄三ヶ年分炭改帳 (上名栗村新立)

横 一

《亥(享和二)年～丑(文化二)年》

四五八

享和四(＝文化元)年正月

炭之通 (はん能境屋又右衛門↓新立町田栄次郎)

横 一

《正月三日～二月二八日》

四五九

文化元年

炭売上り積帳

縦 一

四六〇

文化二年正月

炭之通 (はんのう境屋又右衛門↓新館町田栄次郎)

横 一

《子(文化元)年(一二)月～二月二日》

四六一

文化三年一月

炭之通 (近江屋八郎兵衛↓町田栄次郎)

横 一

《二月二八日～二月二六日》

四六二

文化四年正月

炭之通 (近江屋八郎兵衛↓新立栄次郎)

横 一

《正月二〇日～七月一〇日》

四六三

文化五年正月

積付通 (炭積付舟賃通) (扇川岸中村忠助↓上名栗新館町田栄次郎)

横 一

《二月三日》(文化六) 年二月八日》

四五四

文化五年正月

駄賃通〔新立↓いくら武左衛門〕

横

《二月二五日〜二月二八日、巳(文化六) 年四月二八日改》

四五五

文化五年一二月

小殿炭之通〔はんのう酒屋徳左衛門↓名栗新立町田栄次郎〕

横

《文化六年正月七日〜三月二日》

四五六

文化六年正月

諸色書拔〔炭・槇・白米等納入につき〕〔町栄↓申柳〕

横

《辰(文化五) 年五月二三日》(文化六) 年一二月》

四五七

文化六年正月

店勘定之帳〔町田屋置場佐兵衛↓町田栄次郎〕

横

四五八

文化六年一〇月

炭之通〔はんのう炭屋文右衛門↓名栗新館町栄〕

横

《一〇月朔日〜二月二〇日、一二月二七日》

四五九

文化六年一〇月

炭之通〔飯能酒屋徳左衛門↓名栗新立町田栄治郎〕

横

《一〇月一六日〜二月二五日、午(文化七) 年正月改》

四六〇

文化七年正月

炭之通〔飯能酒屋徳左衛門↓名栗新立町田栄治郎〕

横

《正月五日〜四月晦日》

四六一

文化七年一二月

炭之通〔原横町金子〕

横

《二月一〇日〜未(文化八) 年九月七日》

四六二

文化七年一二月〜文化九

庚午十二月申九月迄炭積高書拔帳〔扇川岸中村忠助↓新館町田栄次郎〕

横

年九月

《未(文化八) 年正月一五日〜申年九月二五日、文化一〇年九月三日改》

四六三

文化八年正月

金銀炭之通〔浅草山之宿町田屋置場左兵衛↓上名栗村町田栄次郎〕

横

《年(文化七) 年一二月二八日〜(文化八) 年一二月二日》

四六四

文化八年一〇月

武番荷物通〔はん能原横町金子清吉↓名栗新館町田栄次郎〕

横

《一〇月一二日〜申(文化九) 年二月一二日》



四五六

文化九年正月

川岸駄賃風聞控并改帳〔町栄〕

横

一

四五六

《申（文化九）年正月二二日、文化一三年一二月六日》

金銀炭之通〔浅草山之宿町田屋置場佐兵衛↓上名栗村町田栄次郎〕

横

一

四五六

《正月七日〜二月二六日》

炭薪并掛方引取之帳〔町田屋置場治兵衛〕

横

一

四五六

《未年残り〜申（文化九）年一二月九日》

炭薪并掛方引取之帳〔町田屋置場治兵衛↓名栗村町田栄治郎〕

横

一

四五六

《正月二四日入〜九月一二日入》

炭相場控帳

横

一

四五六

《文化一〇年二月〜文政二年四月》

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

横

一

四五六

《九月二六日〜二月二五日》

金銀炭之通〔置場治兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

横

一

四五六

《正月一八日〜二月二六日》

金銀炭之通〔置場治兵衛↓町田栄治郎〕

横

一

四五六

《正月五日〜二月二五日》

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓町田栄治郎〕

横

一

四五六

《正月七日〜二月七日》

炭之通〔飯能町堺屋又右衛門↓新館町田栄次郎〕

横

一

四五六

《七月一〇日〜一〇月一八日》

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

横

一

四五六

《四月一〇日〜二月二四日》

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

横

一

二

覚（金銭覚）

《子年一月～丑年十二月》

三

（金銭覚）

四六

文化一年正月

炭荷物仕切通〔町田屋治兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

《四月一〇日～二月二四日》

四七

文化二年二月

炭の通〔丸屋半兵衛↓上名栗町田栄次郎〕

《九月一〇日～二月一八日、二月二〇日改》

四八

文化二年正月

炭之通〔炭屋文右衛門↓新館町田栄治郎〕

月

《正月一日～大晦日、卯（文政二）年二月二六日改》

四九

文化二年正月

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

月

《正月六日～二月二一日》

五〇

文化二年正月

炭荷物仕切之通〔町田屋治兵衛↓上名栗村町田栄次郎〕

月

《正月六日～二月》

五一

文政二年正月

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓町田栄治郎〕

《正月五日～二月二日》

五二

文政二年二月

炭之通〔はんのう板屋半兵衛↓上名栗村町田栄治郎〕

《一〇月二六日～二月一〇日改》

五三

文政三年正月

金銀炭之通〔町田屋治兵衛↓名栗村新館町田栄治郎〕

《正月七日～二月二五日、巳（文政四）年正月九日改》

五四

文政七年一〇月

炭之通〔油屋六兵衛↓名栗新館町田安治郎〕

状

状

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

《一〇月二十六日～十二月十二日》

四五六

文政八年二月 炭之通〔飯能入口儀右衛門↓町田〕

《申（文政七）年十二月六日～（文政八）年二月朔日》

四五六

文政一〇年三月 金銀請取通〔金請取人音次郎↓元々〕

《亥年三月～寅（文政一三〥天保元）年九月七日》

四五六

文政一二年正月 炭之通〔飯能堺屋又右衛門↓新館町田栄次郎〕

《正月～二月》

四五六

文政一三〥天保元年閏 覚〔代官所炭請取につき〕〔江戸代官役所〕

三月

四五六

天保二年一月 炭の通〔板屋半兵衛↓上名栗町田栄治郎〕

《卯（天保二）年九月一六日～（天保三）年三月一六日》

四五六

天保一〇年二月 去戌年炭荷物調帳〔油屋八左衛門↓町田軍蔵〕

《（天保九）年正月一五日～二月》

四五六

一

天保一三年正月 荷物通〔新立〕

《天保一三年正月五日～天保一四年六月一五日》

二

辰年正月 覚〔味噌代金請求覚〕〔酒屋八五郎↓⊕様分〕

《卯年三月一日～八月四日》

四五六

天保一四年正月 牛方日記帳〔炭・米穀等荷送りにつき〕〔新軍〕

《正月二日～七月一四日》

四五六

天保一五（弘化元）年正 炭出帳〔新館〕

月

《正月四日～五日》

横

横

横

縦

横

横

横

状

横

横

横

四九四	天保一五(弘化元)年極炭・杉皮御仕切差引御通〔堺屋又右衛門↓町田安助〕	横	一
四九五	弘化二年正月炭出帳	横	一
四九六	《辰(天保一五弘化元)年正月四日～一〇日、巳(弘化二)年正月二日～八月五日》 万覚帳(表紙のみ)	横	一
四九七	弘化三年正月炭俵数覚帳(炭出帳)	横	一
四九八	《午(弘化三)年正月二日～弘化四年三月二六日》 万覚帳(炭など荷物駄送につき)	横	一
四九九	弘化四年正月 《二月二五日～三月一四日》 堺又・酒八・入口炭出帳(新館)	横	一
五〇〇	弘化四年六月二日 天保一四年々弘化三年迄炭仕切目録〔酒八↓町田本宅〕	横	一
五〇一	《天保一四年正月～弘化三年一二月》 嘉永元年分炭仕切目録〔堺屋又右衛門↓町田安助〕	横	一
五〇二	《正月～一二月》 壱番炭出帳(新館)	横	一
五〇三	嘉永二年正月 《正月二日～一二月二五日》 炭出日記帳(上名栗村新館)	横	一
五〇四	嘉永三年正月 《正月二日～一二月二八日》 嘉永二酉年炭御仕切状〔堺屋又右衛門↓④店〕	横	一
五〇五	成(嘉永三)年正月 ④・田御両家炭仕切帳〔堺屋又右衛門↓町田軍蔵〕	横	一
五〇六	成(嘉永三)年分炭之通〔堺屋又右衛門↓④本家〕	横	一
五〇七	嘉永四年正月 《正月二日～一二月二八日》	横	一

《正月二日～二月二八日》

四六〇九 嘉永五年正月 炭出帳〔新館〕

《正月二日》、二月二四日、丑（嘉永六）年正月六日、正月一日

嘉永五年正月 炭之通〔堺屋又右衛門↓①本家〕

《正月二日～二月二八日》

嘉永五年分 嘉永五子年分炭御仕切帳〔堺屋又右衛門↓(土)店〕

四二 嘉永六年正月 炭出帳〔新館〕

《正月二日》一二月二八日、寅（安政元）年正月四日《

四三 嘉永六年正月 炭之通〔堺屋又右衛門↓①店〕

《正月二日～二月二九日》

四六四 嘉永七(＝安政元)年正月 炭之通〔堺屋又右衛門↓①店〕

《正月二日、二月大晦日》

四二五 嘉永七(＝安政元)年正月 炭出帳〔新館〕

《正月四日～二月一四日》

四六 嘉永七(＝安政元)年一二 仕切(嘉永七年一二月分炭仕切帳)〔堺屋又右衛門↓町田瀧之助〕

月

四二七 寅（嘉永七<sub>二</sub>安政元）年 嘉永六丑年分御両家様炭仕切調之帳〔堺屋又右衛門↓町田軍藏〕

正月

炭出帳〔新館〕

《正月二日～二月六日》

四二九 安政二年正月 炭之通〔堺屋又右衛門↓⑤店〕



《安政五年分》

四六三

安政六年

炭出帳〔新館〕

横

一

《正月二日～二月二十九日》

四六三

安政七(Ⅱ万延元)年正月

炭之通〔堺屋又右衛門↓上名栗⊕店〕

横

一

《正月二日～二月二十八日》

四六四

安政七(Ⅱ万延元)年正月

炭出帳〔新館〕

横

一

《正月二日～二月二十九日》

四六五

万延二(Ⅱ文久元)年

炭出帳〔新館〕

横

一

《正月二日～二月晦日》

四六六

文久元(Ⅱ万延二)年正月

炭之通〔飯能町堺屋又右衛門↓名栗新館⊕店〕

横

一

《正月二日～大晦日》

四六七

酉(文久元)年五月

安政六末年・同七申年両年分炭仕切調書〔堺屋又右衛門↓町田本宅〕

横

一

《安政六年～安政七(Ⅱ万延元)年》

四六八

文久二年正月

炭出帳〔新館〕

横

一

《正月二日～二月二十六日》

四六九

戌(文久二)年正月

炭仕切之帳〔堺屋又右衛門↓田店〕

横

一

《文久元(Ⅱ万延二)年正月～二月、安政六年六月》

四七〇

文久二年八月

炭売帳〔新立〕

横

一

《八月二十八日～戌(文久二)年二月一七日》

四七一

文久三年正月

炭出帳〔新館〕

横

一

《正月二日～二月晦日》

四七二

文久三年正月

炭之通〔堺屋又右衛門↓⊕店〕

横

一

《正月三日～二月晦日》



四六三

文久三年六月

文久二戌正月、三月吉日前まで④・田御両店炭仕切帳〔堺屋又右衛門↓町田善之助〕

横

《文久二年正月、三月》

四六四

文久三年一〇月二九日

文久二戌年三月、同三亥八月迄炭仕切之状〔堺屋又右衛門↓町田瀧之助〕

横

《文久二年三月、文久三年八月二九日》

四六五

文久四（＝元治元）年正月

炭出帳〔新立〕

横

《正月二日、二月二九日》

四六六

文久四（＝元治元）年正月

炭之通〔堺屋又右衛門↓④店〕

横

《正月二日、二月二九日》

四六七

文久四（＝元治元）年正月

炭入帳〔新立〕

横

《正月六日、二月二八日》

四六八

元治元年一月

炭相場手扣〔新立〕

横

《亥（文久三）年一〇月、子（元治元）年九月二〇日》

四六九

子（元治元）年一月

文久三亥年九月より元治元子年十一月迄炭仕切状〔堺屋又右衛門↓町田本宅〕

横

《文久三年九月、元治元年一月》

四七〇

元治二（＝慶応元）年正月

駄賃預書抜帳〔新立〕

横

《丑（慶応元）年七月二〇日、卯（慶応三）年二月二五日》

四七一

元治二（＝慶応元）年正月

炭之通〔飯能町堺屋又右衛門↓上名栗④店〕

横

《正月二日、二月二九日》

四七二

慶応二年正月

炭之通〔飯能町堺屋又右衛門↓上名栗④店〕

横

《正月二日、大晦日》

四七三

慶応二年正月

炭駄賃帳〔新立新井安五郎〕

横

《正月二三日、五月四日》

四七四

慶応三年正月

荷物出入通〔炭・米穀など〕〔岩淵築地庄左衛門↓新館本店〕

横



《正月二十八日、二月、辰（明治元）年分、明治二年三月晦日》  
 慶応三年正月 炭之通〔飯能町堺屋又右衛門↓④店〕

《正月二日、二月二十九日》

四六五

一 卯（慶応三年二月朔日 炭之通〔炭代金仕切〕〔岩淵村築地庄左衛門↓上名栗町田利八〕

《寅年十一月二日、二月二日》

二 寅年正月晦日（炭仕切状）

四六六

慶応三年二月 炭穀有高改帳〔新立〕

《二月朔日》

四六七

一 慶応四年（明治元）年正月 炭出帳〔新館〕

《正月二日、巳（明治二）年正月一三日》

二 辰（明治元）年一月五日（炭出状）

日、巳（明治二）年正月

一九日

四六八

慶応四年（明治元）年九月 炭之通〔名栗新館↓大所藤七〕

《九月八日、二月二七日、巳（明治二）年二月二三日》

四六九

明治二年正月 炭之通〔堺屋又右衛門↓④店〕

《正月五日、二月二七日》

四七〇

一 明治二年三月

文久四年十一月、明治元丑年十二月迄炭仕切状之事〔堺屋又右衛門↓町田〕

二 《文久四（元治元）年一月二日、明治元年二月二〇日》  
 （炭仕切状）

横

横

横 状

横

状

横

横

横

状



四六五

〔炭之通〕〔飯能金子〕  
《午年一月三日～未年一〇月一二日》

四六四

〔炭等江戸送り諸掛り覚〕  
《申年九月～酉年六月一〇日～一二月二六日》

四六三

〔炭之通〕〔堺屋又右衛門↓⊕店〕  
《正月二日～一二月一六日》

四六二

〔炭之通〕〔堺屋又右衛門↓⊕店〕  
《正月五日～一二月二九日》

横  
一

〔横〕  
一

横  
一

横  
一

## T 穀物仕入

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
四六七	享和三年正月 《八月二六日》亥(享和三) 年正月二六日》	現金米之通(あさや権兵衛↓名栗村町田栄治郎)	横 一
四六八	文化四年正月 《卯(文化四) 年正月二九日》巳(文化六) 年正月晦日》	穀物通(はんのふ堺屋又右衛門↓新館町田栄次郎)	横 一
四六九	文化一〇年七月 《酉(文化一〇) 年七月一七日》子(文化一三) 年十一月五日》	蔵勘定帳(上名栗村新館蔵) 大豆・小麦庭着調へ〔新館〕	横 一
四七〇	文化一〇年七月	塩之通(一部不開)〔川越〕 扇かし中屋忠兵衛↓上名栗新館町田栄治郎)	横 一
四七一	文化一〇年九月	現金塩之通(川越扇川岸中屋忠兵衛) ↓上名栗村町田栄治郎)	横 一
四七二	文化一一年正月 《正月五日》八月二二日》	現金万之通(麻ふのりなどの通帳)〔はしこや忠五郎↓土や栄治郎〕	横 一
四七三	文化一三年正月 《正月二三日》八月三日》	穀物通(飯能上町堺屋又右衛門↓名栗新立町田栄次郎)	横 一
四七四	文政五年四月 《四月九日》二月二五日》	穀物之通(一部不開)〔はんのふ麻屋伊八↓新立安治郎〕	横 一
四七五	文政七年正月	穀物之通(はんのふ麻屋伊八↓新立栄治郎)	横 一
四七六	文政八年正月 《二月二五日》八月一四日》	穀物之通(はんのふ麻屋伊八↓新立栄治郎)	横 一
四七七	文政九年六月	穀物之通(はんのふ麻屋伊八↓新立栄治郎)	横 一

《七月一三日～一二月二三日》

四六八

文政一〇年正月

穀物之通（はんのふ麻屋伊八↓新立町田栄治郎）

横

一

《正月二四日～一月一九日》

四六九

天保四年正月

穀物通（酒屋八左衛門↓町田栄次郎）

横

一

《三月二〇日》

四七〇

天保四年三月

万覚帳（米麦庭着につき）（町田軍蔵）

横

一

《天保四年五月二六日～（天保六）年正月二三日》

四七一

天保一四年正月

万通（白米・味噌・餅米などの通）

横

一

《正月六日～三月二二日》

四七二

天保一四年五月

万之通（牛方駄賃稼ぎ）（新館↓牛方三次郎）

横

一

《五月二七日～閏九月晦日》

四七三

天保一四年五月

荷物渡志帳（米・麦荷物渡し帳）（酒屋八左衛門↓上名栗新館町田安之助）

横

一

《六月一三日～八月二〇日》

四七四

弘化三年二月

万荷物入帳（米・麦・縄などの荷物入帳）（新立）

横

一

《三月一五日～一二月二八日》

四七五

弘化三年四月一三日

万改帳（前蔵内米麦など）

横

一

弘化三年□月

四七六

《巳（弘化二）年一二月～二月一五日》

万之通（穀・麦など）（金子長吉↓町田本宅）

横

一

弘化四年正月

四七七

《正月二日～一二月一四日》

万荷物入帳（米・麦・縄などの荷物入帳）（新立）

横

一

弘化五（＝嘉永元年正月）

四七八

《正月二日～一二月二五日》

万荷物入帳（米・麦・縄などの荷物入帳）（新館）

横

一

嘉永元年

嘉永元年申正月より十二月迄改麦米出入帳

横

一

B100

一 嘉永二年正月 万荷物入帳(米・縄などの荷物入帳)〔新立〕

《正月二日～一〇月一三日》

二 (万荷物改帳)

《寅極月二三日～七月二七日》

B101

嘉永五年正月 現金穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～二月二二日》

B102

嘉永六年正月 現金穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月四日～大晦日》

B103

嘉永七(＝安政元)年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕本家)

《正月二日～二月二五日》

B104

安政二年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～二月二一日》

B105

安政三年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～一月二五日》

B106

安政四年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～二月二一日》

B107

安政五年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～二月二七日》

B108

安政六年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～二月九日》

B109

安政七(＝万延元)年正月 穀物通(堺屋又右衛門↓⊕店)

《正月二日～二月二一日》

綴

横

横

横

横

横

横

横

横

横

四七〇	文久元(＝万延二)年正月 《正月二日～大晦日》	穀物通〔堺屋又右衛門↓④町田店〕	横	一
四七一	文久二年正月 《文久二年正月二日～文久三年二月二七日》	荷物請取帳〔米・麦・縄など荷物請取〕〔新館〕	横	一
四七二	文久二年正月 《正月一〇日～二月九日》	穀物通〔堺屋又右衛門↓④本家〕	横	一
四七三	文久三年正月 《正月二日～二月二六日》	穀物通〔堺屋又右衛門↓④店〕	横	一
四七四	文久三年八月 《文久二)年二月二九日～戊(文久二)年二月一六日》	穀物買入書入帳	横	一
四七五	文久四(＝元治元)年正月 《正月二日～二月二九日》	穀物通〔堺屋又右衛門↓④店〕	横	一
四七六	元次二(＝慶応元)年正月 《正月二日～二月二三日》	穀物通〔飯能町堺屋又右衛門↓上名栗④店〕	横	一
四七七	慶応二年正月 《慶応二年正月二日～慶応四(＝明治元)年正月四日》	荷物請取帳〔米・麦・縄などの荷物請取〕〔新立〕	横	一
四七八	慶応二年正月 《正月二日～三月二六日》	穀物通〔飯能町堺屋又右衛門↓上名栗④店〕	横	一
四七九	慶応二年正月 《正月二日～二月二六日》	穀物通〔飯能堺屋又右衛門↓上名栗④店〕	横	一
四八〇	慶応三年正月 《正月一〇日～二月二六日》	穀物通〔飯能堺屋又右衛門↓④店〕	横	一
四八二	慶応四(＝明治元)年正月 《正月一〇日～二月二六日》	穀物通〔飯能堺屋又右衛門↓④店〕	横	一

《正月二日～二月二八日》

四七三

明治元年十二月

穀物出入扣

横

《辰（明治元）年十二月二四日改～巳（明治二）年三月七日、十二月二五日～三月二日》

四七三

明治二年正月

穀物請取帳

横

《巳（明治二）年正月二日～二月二八日》

四七四

明治二年正月

穀物通〔堺屋又右衛門→④店〕

横

《正月二日～二月二九日》

四七五

明治三年正月

穀物請取帳

横

《正月一〇日～五月朔日》

四七六

明治三年正月

現金穀物通〔飯能中屋清兵衛→名栗⑤本家〕

横

《正月一七日～二月二六日》

四七七

明治三年三月

附込覚（穀物仕入、貸穀）

横

《三月二四日～二九日》

四七八

明治三年三月

飯能夕引取候米麦覚

横

《八月一六日～九月一〇日》

四七九

一 午年正月一七日

（穀物仕入覚綴）

綴

《正月一二日入～一四日入》

二

午年二月一七日仕入

覚（穀物仕入覚）

一

午年四月朔日

三

《三月晦日》

（穀物仕入覚）

一

四

（穀物仕入覚）

《午年四月七日入～四月一日入》

一





《正月二日～五月六日》

## U 日用品商売

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
四三九	文政四年正月	万之通(米・麦販売につき)〔前出店↓本店〕	横 一
	《文政四》年正月二日～午(文政五)年二月六日》		
四四〇	文政四年五月	蘭仕入金請取通(金請取人半七・差添後見忠五郎)	横 一
	《巳(文政四)年五月二九日～午(文政五)年正月一八日》		
四四二	文政六年正月	貸寛帳(掛売寛)	横 一
	《一二月晦日改～一二月三日》		
四四三	文政七年正月	万寛帳(米・麦販売につき)	横 一
	《二月四日～(文政八)年八月二九日》		
四四四	文政七年正月	万仕入控帳(織布など仕入控)〔町田屋〕	横 一
	《正月二日～一月一五日》		
四四五	文政八年八月	売掛書出し帳(売掛品代人別書出し)	横 一
	《午(文政五)年十一月～西(文政八)年八月》		
四四六	巳年極月	巳極月書抜(白米売掛通帳)〔いの上↓新館〕	横 一
	《七月一七日～九月二五日》		
四四七	戌年六月	売懸取立控(売懸代金取立控帳)〔新館蔵〕	横 一
	《六月六日～一二月二九日》		
四四七	《午年十一月～戌年七月》	大福帳(日用品商売につき)〔後欠〕	横 一

四七四

(呉服など諸色売掛け金入別勘定帳) (前欠)

横

一

四七五

《申年一月二三日々亥年六月》

(呉服・手拭などの売高仕入帳)

横

一

四七六

(日用品商売につき覚帳)

横

一

# V 金 錢 出 入

全 般

文書 年 代 文 書 名

四七三 元禄一七(=宝永元)年三 (金受取帳の表紙写)

月

四七三 享和二年正月 諸色勘定帳

《戌年二月六日~二月二三日》

四七三 文化二年二月二八日 名栗行大宝恵(金銭遣い方)

《未年正月一六日~天保一〇年九月二六日》

四七三 文化四年臘月 金銀品物万渡帳(名栗新立(一部不開)

《卯(文化四)年二月八日~》

四七三 文化五年七月 金銀諸色帳

《辰(文化五)年七月一七日改~巳(文化六)年正月六日改》

四七三 文化八年四月 手控(金銭・米遣し方につき)〔町栄↓日野屋善七〕

《未(文化八)年四月一日~酉(文化一〇)年七月朔日》

四七三 文化一一年三月 金銀請取通〔表〕

《四月四日~亥年二月七日》

四七三 文化一三年正月 改帳(金銭勘定改帳)(新館)

四七三 文化一四年正月 改帳(金銭勘定改帳)(新館)

形態 数量

(横) 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

《文化一三》年閏八月ゝ子（文化一三）年一二月》

四六〇 文化一四年分 年中世帯入用凡積り帳〔武陽新館町田氏〕

四六一 文政四年六月 前々勘定残り書拔帳（一部不開）〔新館〕

《申年一月七日》

四六二 文政四年一二月 金銀請取通〔新館表↓音治郎〕

《巳年九月三日ゝ午年一二月一八日》

四六三 文政五年三月 金銀請取通〔伊三郎〕

《午（文政五）年三月一日ゝ亥（文政一〇）年三月二五日》

四六四 文政五年一〇月 おしげ殿仕送帳

《午（文政五）年九月二八日分ゝ午（天保五）年六月八日》

四六五 文政八年正月 大宝恵（金銀出入控・板貫相場控）

《申（文政七）年六月三日ゝ亥（文政一〇）年二月一七日》

四六六 文政八年正月 金銀控（金銀出入勘定）

《文政八年ゝ天保八年七月改》

四六七 文政九年二月 金銀書拔帳（金銀勘定書拔帳）〔土屋音次郎〕

《戌（文政九）年正月ゝ亥（文政一〇）年大晦日》

四七八 文政一一年正月 店落勘定帳

《子（文政一一）年正月二三日改》

二 覚（金高勘定覚）

《亥（文政一〇）年三月ゝ二月》

四七九 文政一三（天保元）年正 金銀出入帳〔町田栄治郎〕

月

横

一

綴

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

縦

一

四七〇	《正月七日～八月晦日》 文政一三(天保元)年八 月 金銀出入帳〔町田栄治郎〕	横	一
四七一	《九月朔日～卯(天保二)年正月朔日》 文政一三(天保元)年 年中世帯入目凡積帳〔町田〕	縦	一
四七二	天保二年正月 金銀出入帳〔表紙のみ〕	横	一
四七三	天保三年正月 金銀出入帳〔町田栄次郎〕	横	一
四七四	《二月一八日～(天保四)年四月一日》 天保四年正月 金銀出入帳〔町田栄治郎〕	横	一
四七五	《四月一日～一月二九日》 天保四年三月 金銀出入帳〔名栗新館町田軍蔵〕	横	一
四七六	《三月二日～六月三日》 天保四年五月 勘定帳〔町田軍蔵〕	横	一
四七七	《巳(天保四)年四月二九日～午(天保五)年二月一四日》 天保五年正月 金銀出入帳〔町田栄治郎〕	横	一
四七八	《午(天保五)年二月朔日～未(天保六)年一〇月九日》 天保六年一〇月 金銀出入帳〔名栗町栄〕	横	一
四七九	《一〇月九日～大晦日》 天保六年 年中世帯入目凡積り帳〔町田〕	縦	一
四八〇	天保七年正月 金銀出入帳〔町栄〕	横	一
四八一	《申(天保七)年正月朔日～一二月二九日》 天保九年閏四月 よろつおほえ(金銭遣い方)	横	一
四八二	《四月二三日～八月一日》	横	一





四七九三	嘉永元年八月	金銀出入帳〔新館〕	横	一
	《八月一日～二月二十九日》			
四七九三	嘉永二年正月	金銀出入帳〔町田安之助〕	横	一
	《申年十二月三日～戌年一月二十六日》			
四七九四	嘉永三年正月	金銀出入帳〔町田安之助〕	横	一
	《元日～大晦日》			
四七九五	嘉永三年正月	万出入覚帳〔金銭・藤・杉皮など〕〔上名栗村町田屋順□ <sup>(蔵力)</sup> 〕	横	一
	《一月六日～九月七日》			
四七九六	嘉永四年正月	金銀出入帳〔町田安之助〕	横	一
	《正月元旦～二月二十九日》			
四七九七	嘉永四年正月	小遣帳〔金銭出入〕〔新館〕	横	一
	《正月～二月二十六日》			
四七九八	嘉永四年極月	よろつ覚帳〔金銭出入〕〔上名栗村町田氏〕	横	一
	《二月二十七日～四月十五日》			
四七九九	嘉永五年正月	小遣帳〔金銭出入〕〔新館〕	横	一
	《正月五日～翌正月二日》			
四八〇〇	嘉永五年正月	心覚之帳〔金銭出入〕〔町幸綱〕	横	一
	《嘉永四年正月～安政四年七月九日》			
二	亥年正月九日～亥年一五	覚〔出金の覚〕	状	一
日				
三	巳年八月～申年	覚〔出金の覚〕	状	一
四	卯年～巳年八月	覚〔出金の覚〕	状	一

四〇二 子（嘉永五）年正月 金銀出入帳〔町田安之助〕 横 一

《元日～大晦日》

四〇三 嘉永五年三月 万覚帳（金銭出入）〔町田瀧之助〕 横 一

《三月一二日～嘉永大晦日》

四〇四 嘉永五年一〇月 ひかえ（金銭遣い方）〔藤本瀧川〕 横 一

《一〇月一〇日～一二月五日》

四〇五 一 嘉永五年一二月 万おほへ帳（金銭遣い方）〔藤屋瀧川〕 横 一

《一二月二九日～翌正月二〇日》

二 子年三月二七日 覚（生活用品・食料など） 横 一

四〇六 嘉永六年正月 金銀出入帳〔新館〕 横 一

《元日～寅年正月一六日》

四〇七 嘉永六年正月 小遣帳（金銭出入）〔新館〕 横 一

《正月一二日～一二月二九日》

四〇八 一 嘉永七（＝安政元）年正月 金銀出入帳〔新館〕 横 一

《元日～卯年四月》

二 五月三日 （五月三日付の金覚） 横 一

四〇九 嘉永七（＝安政元）年正月 小遣帳（金銭出入）〔町田〕 横 一

《正月一二日～卯年正月六日》

四一〇 嘉永七（＝安政元）年正月 万覚帳（金銭出入）〔武州住人町田栄川〕 横 一

《正月二四日～大晦日》

四一一 安政二年正月 小遣帳（金銭出入）〔新館〕 横 一

四二	《昨（安政元）年一二月大晦日～一二月二九日》	安政二年正月	金銀出入帳〔新館〕	横	一
四三	《元日～一二月二九日》	安政二年正月	万覚帳（金銭出入）〔町田〕	横	一
四三	《正月～一二月大晦日》	安政二年七月	おほえ（金銭出入）〔名栗村町田〕	横	一
四三	《七月一三日～翌四月二日》	安政三年正月	金銀出入帳〔新館〕	横	一
四四	《元日～一二月大晦日》	安政三年正月	小遣帳（金銭出入）〔新館〕	横	一
四五	《元日～大晦日》	安政三年五月	万覚帳（金銭出入）〔町田〕	綴	一
四六	《正月一三日～五月四日》	安政三年五月	金銀出入帳		
一	《五月一日～一二月大晦日》	安政三年卯月	手扣（出金手扣）〔町田〕	横	一
四七	《正月元日～一二月大晦日》	安政四年正月	金銀出入帳〔新館〕	横	一
四八	《正月～一二月二九日》	安政四年正月	金銀出入帳	横	一
四八	安政四年	覚（金銭出入）		横	一

四二 安政五年正月ノ六月迄 ④分立替書抜扣〔瀧之助〕

《正月二日ノ六月二三日》

四三 安政五年正月 小遣帳（金銭出入）〔新館〕

《正月二日ノ安政六年正月一五日》

四三 安政五年正月 金銀出入帳〔新館〕

《正月一四日ノ六月二九日》

四四 安政五年七月五日ノ文久 本家懸り金受取控（新館金銭出入帳よりの抜書）

二年一〇月一三日

四五 安政五年ノ文久元年 安政五年ノ月々出入ノ寄帳〔新館〕

《安政五年正月ノ文久元年一二月》

四六 安政六年正月 金銀仮控（金銀出入帳）〔新館〕

《正月ノ大晦日》

四七 安政六年七月 仮出入帳月々ノ寄扣〔瀧之助〕

《七月一日ノ万延元年閏三月》

四八 安政七（＝万延元）年正月 金銀仮控（金銀出入帳）〔新館〕

《正月ノ大晦日》

四九 文久元年正月 金銀出入控（金銀出入帳）〔町田〕

《万延二（文久元）年正月ノ一二月大晦日》

五〇 文久二年一月 勘定簿

《一〇月二二日ノ十一月二日》

五一 文久二年 到来物書抜帳

《七月一三日ノ明治元年一二月二七日》

五二 文久三年正月ノ一二月大（金銀出入帳）

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

晦日

四八三

文久三年二月

仮大宝恵(支払い金、小作金取立控など)〔町田〕

横

一

《二月一九日～二月大晦日》

四八四

文久三年八月

金銀出入控〔新立留守居宗蔵〕

横

一

《八月二日～九月分、一二月分》

四八五

文久四(≡元治元)年正月

金銀仮控(金銭出入帳)

横

一

《正月元日～二月大晦日》

四八六

元治元(≡文久四)年正月

覚(出金覚)

横

一

九日～二月二九日

四八七

元治元年六月

金銀附込通(支払い金通)〔新立帳場〕

横

一

《六月一八日～二月二九日》

四八八

甲子(元治元)年一二月

おほえ(金銭残高覚)〔真知田〕

横

一

《二月二七日～二八日》

四八九

慶応元(≡元治二)年正月

(金銭出入帳)

横

一

～二月

《正月元日～二月二九日》

四九〇

慶応元年六月

金銀附込通〔新立帳場〕

横

一

《六月一三日～二月二九日》

四九一

慶応二年正月

金銀仮扣(金銀出入帳)

横

一

《正月元日～二月大晦日》

四九二

慶応二年三月

金銀出入扣〔新館留守居宗蔵〕

横

一

《三月四日～三月一日》

四九三

慶応三年正月

金銀仮扣(金銀出入帳)〔町田〕

横

一

《正月元日～四月二七日》

入用扣（金銭出入）〔町田〕

《卯年四月二十八日～六月晦日》

おぼえ（金銭出入）〔まち田〕

《四月二十八日～二月大晦日》

金銀仮出入之扣

《二月二十八日～大晦日》

金銀仮扣（金銀出入帳）

《元日～一二月大晦日》

ひかえ（金銀出入）

《一月二十六日～翌三月二二日》

金銀出入帳（新館）

《正月元日～一二月大晦日》

（金銀出入控）

月二三日

金銀ひかえ（金銭出入控）

《六月一五日～一月二九日》

留守中おぼえ（金銭出入覚）〔新館〕

《九月晦日～一二月大晦日》

金銀仮覚帳（金銀出入）

《一月二八日～正月三日》

当日仮出入之扣（金銭出入）〔町田〕

《巳年一二月一六日・一七日》

横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

四六五 明治三年正月 金銀出入扣（金銀出入帳）

《正月元日～八月一二日》

四六六 明治三年正月 金銀ひかえ（金銭出入）

《正月五日～四月八日》

四六七 明治三年二月八日 小松仮控（金銭出入）〔新館帳場〕

《二月八日～二月一六日》

四六八 明治三年六月 金銀ひかえ（金銀出入帳）

《六月二五日～一二月二九日》

四六九

一 明治三年八月 よろつおほえ（金銭出入）〔町俊〕

《八月二〇日～一二月二五日》

二 明治三年一二月二五日 当日仮出入帳〔真知田〕

《一二月二五日～一二月二九日》

三 （明治三）年一二月 おほえ（金銭出入）〔真知田〕

《一二月二五日～一二月二九日》

四 午年六月二四日～二月 覚（金銭遣方）

二六日

四七〇 明治四年正月 金銀ひかえ（金銭出入）

《正月元日～四月二五日》

四七一 明治四年正月 金銀出入帳〔町田俊三郎〕

《正月元日～七月一四日》

四七二 明治四年四月 金銀ひかえ（金銭出入帳）

《四月二五日～一二月二九日》

横 一

横 一

横 一

横 一

綴 一

横 一

横 一

横 一

四六三 明治四年七月 おぼえ（金銭出入）〔町俊〕

《七月一五日～一二月大晦日》

四六四 明治四年八月 万覚（日用品買入など）

四六五 明治四年八月 仮覚帳（金銭出入）

《八月三日～一月一九日》

四六六 子年正月九日～丑年三月（金銭出入帳）

六日

四六七 子年十一月五日～十一月 覚（金銭出入）

二九日

四六八 子年十一月 一寸覚（祭祀小遣覚帳ならびに勇次郎一件内済控）〔武州秩父郡上名栗村町田駒〕

四六九

一 丑年五月四日～閏五月三 覚（買物・祭代など）

日

二 五月一二日

四七〇 卯年正月～五月二〇日（金銭受取覚）〔かしまや万吉↓町田本家〕

四七一 卯年正月～辰年二月二（金銭書付）

二日

四七二 辰年四月二三日～七月朔 金銀入覚帳

日

《四月二三日～晦日》

四七三 巳年正月 小遣仮控（金銭出入控）〔町田屋〕

《辰年二月分～午年二月二三日》

四七四 巳年一〇月二四日～一一（金銭出入覚）

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一



四六五	月一日	手控（金銭出入）〔町田〕	横	一
四六五	巳年一二月	《二月一〇日～二月二五日》	横	一
四六六	巳年二月	金銀出入覚	横	一
四六七	《二月一日～午年二月二九日》	手控万書抜（金銭出入）〔町田〕	横	一
四六八	巳年	《亥年正月四日～二月二五日、子年正月一九日～三月一九日、寅年九月一九日、卯年四月二四日～一〇月九日》	横	一
四六九	巳年	市控（金銭出入）〔町栄〕	横	一
四七〇	《一月二三日》	午年正月四日～八月一二日	横	一
四七一	日	覚（金銭出入）	横	一
四七二	午年三月六日～四月六日	覚（金銭出入）	横	一
四七三	午年七月四日～未年九月五日	おほへ（諸買物覚）	横	一
四七四	午年九月	手控（金銭出入）〔町田〕	横	一
四七五	《八月一〇日～九月一二日》	おほへ（金銭出入）〔町田〕	横	一
四七六	午年〇月	《二月二六日～五月六日》	横	一
四七七	未年十一月二〇日～一月二七日	飯覚（金銭出入）	横	一
四七八	未年十一月二五日～酉年正月二〇日	（金銭出入）	横	一
四七九	未年十二月二五日～二七	覚（金銭出入）	横	一

四八七 未年十二月二十九日～一二 日 覚（金銭出入）

月大晦日

四八八

一 申年元日～二月朔日 （飯米・金銭出入覚）

二 申年正月一〇日～二九日 覚（金銭出入）

三 申年正月元日～一月九 日 覚（金銭出入）

四八九 申年二月二七日～五月三 日 覚（金銭出入）

四九〇 申年二月 日 手控（金銭出入）〔町田〕

《二月二六日～五月朔日》

四九一 申年八月一六日～九月二 日 記（寺社検査等につき金銭出入）

四九二 申年一〇月 日 手控（金銭出入）〔町田〕

《一〇月一五日～一月二九日》

四九三 一一月二七日～一一月二 日 覚（金銭遣い方）

九日

四九四 一二月朔日～一二月四日 （金銭出入覚）

四九五 一二月晦日 （桶代金請取帳）〔おけや辰五郎〕

《正月一七日～一二月二八日》

四九六 （金銭出入覚）

《子年六月》

横 一

横 一

状 一

状 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 二

横 五

四九七

(藤つる代金・駄賃・江戸入用・俵代などの諸勘定覚)

横

一

四九六

《子年八月二日～九月三日》

(人別勘定帳面改の覚)

横

一

《子年～午年》

四九五

覚 (買物代金渡し覚)

状綴

一

一

《寅年二月二七日、寅年二月二九日渡》

覚 (駄賃・俵代金支払金) (後欠)

二

《寅年二月二九日》

(支払い金覚)

三

《寅年三月朔日～三日》

(支払い金覚) (後欠)

四

《寅年三月一二日～三月二二日》

(支払い金覚)

五

《寅年三月一七日～二三日》

(米代・駄賃・俵代支払い金覚)

六

《寅年三月二五日》

(支払い金覚)

七

《三月一九日～四月一〇日》

覚 (支払い金) (後欠)

八

《四月朔日》

(支払い金覚)

九

《三月二八日》

九

四九〇

(金銭出入帳) (表紙欠) [町田栄次郎]

横

一

《卯年正月元日～辰年二月一七日》

四九一

(入金控)

状

一

《辰年一二月二四日》

(支払い金控)

状

一

《巳年元日～二日》

(金銭出入控)

状

一

《巳年正月八日～一日》

(金銭出入控)

状

一

《巳年正月二日～正月二四日》

(金銭出入控) (後欠)

状

一

《巳年三月七日～八日》

(金銭出入控)

状

一

《巳年四月一二日～四月二九日》

(金銭出入控)

状

一

《巳年五月四日～五月一四日》

(金銭出入控)

状

綴

《巳年五月二〇日～六月二〇日》

(金銭出入控) (前後欠)

横

一

《巳年五月二一日～六月四日》

(勝平分入金控)

状

一

《巳年六月一五日》

状

一

二	《巳年八月朔日～七日》	(金銭出入控)	状	一
三	《巳年八月一八日～一九日》	(金銭出入控)	状	一
三	《巳年九月五日～七日》	(金銭出入控)	状	一
四	《午年二月二七日》	(金銭出入控)	状	一
五	《二月朔日》	(金銭出入控)	状	一
六	《三月八日～一九日》	(支払い金覚)	状	一
七	《八月八日～八月二一日》	(金銭出入控)	状	一
八	《二月二一日》	(金銭出入控) (前欠か)	状	一
九	《(辰年分か) 一二月一三日～一四日》	(金銭出入控)	状	一
三	《二月一八日～二七日》	(金銭出入控) (前欠)	状	一
三	《二月二四日～二八日》	(金銭出入控) (後欠)	状	一
三		(金銭出入控) (前欠)	状	一

三	《一二日～二四日》	(金銭出入控) (前欠)	状	一
二四	《二四日～二九日》	(金銭出入控)	状	一
二五		(炭駄賃支払い、塩代預り入金控)	状	一
二六		(金銭出入控) (前欠)	状	一
二七		(金銭出入控)	状	一
二八		(支払い金控) (前欠か)	状	一
四九〇	《未年正月八日～申年一二月晦日》	(金銭出入帳) (前欠)	横	一
四九〇		(金銭出入覚)	横	一
四九四	《二三日、二月朔日、未年十一月～二月二六日》	(人別払金・内金の覚)	横	一
四九五	《未年》		横	一
四九五		(金銭遣い方覚)	(横)	二
四九六	《申年二月》		横	一
四九六		(金銀出入帳) (前後欠)	横	一
四九七	《申年十一月二〇日～酉年八月八日》		横	一
四九七		(未年分から酉年分までの人別金銭勘定帳)	横	一
四九八	《申年十一月二六日～酉年九月	覚 (金銭出入)	横	一
四九八			横	一
四九九	《酉年七月朔日～八月二四日》	(金銭出入帳)	横	一

四九二	《戌年正月元日～五月一八日》 (金銭出入帳の一部)	(横)	一
四九一	《戌年七月七日～七月一四日》 (金銭出入帳)	横	一
四九二	《戌年七月二六日～戌年一二月大晦日》	状綴	一
一	覚(代金支払い方)(後欠)		
二	《戌年一〇月二二日～二五日》 覚(代金支払い方)(後欠)		
三	《戌年一〇月二九日》 覚(代金支払い方)		
四	《戌年一一月六日》 覚(代金支払い方)		
四九三	《一一月一〇日》 (金銭出入帳)	横	一
四九四	《三月一四日～四月一六日》 覚(金銭出入)	横	一
四九五	《四月晦日～八月一〇日》 (金銭遣い方覚)(前後欠)	横	一
四九六	《(五月)一四日～一一月二七日》 (金銭出入帳)	横	一
四九七	《(五月)二八日》 (金銭出入覚)(真智多)	横	一

四九八

《五月三〇日～六月四日》

(筆代金請取)

(横)

一

四九九

《五月》

(金銭出入帳)〔新館〕

横

一

四九〇

《六月二日～九月一五日》

覚 (金銭出入・貸付金覚帳)

横

一

四九二

《八月二三日～一月二二日》

(金銭遣い方覚)

(横)

一

四九三

《八月二四日～末日》

(金銭出入覚帳)

横

一

四九三

《九月晦日～一月二四日》

(金銭遣い方覚)

横

一

四九四

《一月四日～一月二二日》

おほへ (金銭遣い方)

(横)

一

四九五

《一月六日～正月七日》

(金銭遣い方覚)

横

一

四九六

《一月一七日～八月二八日》

(金銭遣い方覚) (前後欠)

横

一

四九七

《七日～二六日》

(金銭遣い方覚)

横

一

四九八

《二七日～閏五月一七日》

覚 (金銭遣い方)

横

一

四九九

(金銭出入帳)

横

一



四九〇

覚(金銭出入)

四九一

(入用覚帳)

## 諸品購入

(横)

一

四九三

享和二年正月

万之通(日用品購入につき)(はんのふ外屋与兵衛↓新館町田栄治郎)

横

一

《二月一日〜六月一日、七月二日〜十一月二〇日、十二月二日〜正月七日》

四九五

文化二年正月

丸薬通(一部不開)(松田↓武州上名栗村町田栄治郎)

横

一

《酉(文化一〇)年九月一八日》

四九四

文化一五(文政元)年正月

通(延寿丸という薬購入の通)(松田弥兵衛↓上名栗村町田栄治郎)

横

一

月

《寅(文化一五文政元)年正月二〇日〜辰(文政三)年九月五日》

四九五

文政五年九月

諸品通(日用品購入につき)(一部不開)(はんのふ原横丁金子清吉↓名栗新館町田安次郎)

横

一

館町田安次郎)

《九月二三日》

四九六

文政六年正月

諸品通(日用品購入につき)(一部不開)(金子清吉↓名栗新達町田安次郎)

横

一

《未(文政六)年二月二二日〜申(文政七)年正月四日》

四九七

文政七年正月

石灰請取帳

横

一

《正月一四日〜卯(天保二)年八月一二日》

四九八

文政八年正月

万之通(飯能宿油屋六兵衛↓上名栗村町田安治郎)

横

一

《申(文政七)年十一月二一日〜(文政八)年二月二〇日》

四九九

天保五年七月

醬油通(外屋長兵衛↓名栗新館栄治郎)

横

一

《二月一〇日〜二月二九日》

- 四九四〇 天保一四年九月 豆腐通〔柏木↓新館〕 横 一
- 《卯（天保一四）年九月一八日、巳（弘化二）年五月二七日》
- 四九四一 弘化三年正月穀旦 醬油通〔藏久保↓新館町田安之助〕 横 一
- 《巳（弘化二）年一二月二七日、（弘化三）年正月二六日》
- 四九四二 安政二年九月 水油通〔角土印↓丸土〕 横 一
- 《九月七日、一二月二〇日》
- 四九四三 万延元年五月 現銀呉服物手形之覚〔越後屋豊□郎・熊次郎↓吉田伴次郎〕 横 一
- 《八月三日》
- 四九四四 万延元年六月 御酒肴之通〔鈴木屋吉兵衛↓木暮上段客〕 横 一
- 《四日、二六日》
- 四九四五 文久二年一月 江戸諸買物通〔町田屋軍藏↓吉田〕 横 一
- 《申年一二月、酉年五月一四日、戌年九月》
- 四九四六 慶応四（明治元）年正月 鉄物真之通（<sup>マヤ</sup>鉄物道具通帳）〔かじや源次郎↓新館〕 横 一
- 《二月一六日、五月一八日》
- 四九四七 卯年七月一六日 万之通（金錢覚）〔代八↓本家〕 横 一
- 《寅年一二月二八日、卯年七月七日》
- 四九四八 六月 御通（日用品購入につき）〔古久屋与右衛門↓木暮上段秩父御客様〕 横 一
- 《六月四日、六月二六日》
- 四九四九 （日用品購入の覚） 横 一
- 《午年六月七日、六月一六日》
- 四九五〇 （筆・墨・半紙書上） 横 一
- 《申年一〇月》

## 公 用 道 中

四五一 文化三年四月 出府よろつおほへ帳〔町栄〕

《去丑（文化二）年分〱四月二五日夜改》

四五三 文化三年五月 出府よろつおほへ

《寅（文化三）年四月二八日改〱五月二八日》

四五五 文化三年五月 出府諸入用帳〔町栄〕

《五月二三日〱二七日》

四五五

一 文化三年九月 木銭旅籠人足賃銭帳〔榊原小兵衛代官所武州秩父郡上名栗村名主栄次郎〕

《寅（文化三）年九月二六日〱寅（文化三）年九月二八日》

二 寅（文化三）年九月二九 覚（木銭諸取覚）〔内藤新宿宿伊三郎〕

日

四五五 文化四年四月 手控（出府入用金銭遣い方覚）

《四月二日〱四月一三日》

四五五 天保二年七月 出府入用（金銭遣い方覚）〔町田栄次郎〕

《七月七日出〱七月二〇日帰》

四五五 天保二年七月 手控（出府入用金銭遣い方覚）〔町田〕

《七月七日〱七月二〇日》

四五五 天保三年霜月 道中控（木場まちやす）

《霜月一八日〱二六日》

四五五 天保四年十一月一日 道中日記（道中小遣帳）

横 一

横 一

横 一

横 一

状 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

四六〇 天保五年八月 道中入用帳（江戸出府道中入用控）〔新立内善吉〕

《八月九日～八月二一日》

四六一 天保五年十二月 手控（江戸出府入用金銭遣い方手控）〔町田〕

《十二月二一日～十二月二六日済》

四六二 嘉永五年正月 勘定帳（江戸にての買物代金など）〔町田〕

《嘉永四年十二月～卯（安政二）年二月二三日済》

四六三 嘉永六年卯月 江戸行之節諸ひかえ帳（江戸出府入用金銭遣い方控帳）〔町田栄扇〕

《卯月晦日～六月二二日》

四六四 嘉永六年六月 四月出府之節諸買物小遣ひかえ帳〔町田幸綱〕

《卯月晦日～丑（嘉永六）年六月二二日》

四六五 嘉永六年十二月一〇日出 江戸行覚（江戸出府入用金銭遣い方覚）

《極月一〇日～十二月二三日》

四六六 嘉永七（嘉永七）安政元年三月 江戸行之節道中外小遣入用控帳

《寅（嘉永七）安政元年三月一六日～四月一八日》

四六七 嘉永七（嘉永七）安政元年三月 江戸行之節諸ひかえ合書帳

《寅（嘉永七）安政元年三月一六日～四月一八日改》

四六八 嘉永七（嘉永七）安政元年花月 江戸行之節諸買物小遣控帳

《寅（嘉永七）安政元年三月一八日～四月一八日改》

四六九 安政二年三月 江戸行入用控〔町田〕

《三月二日～三月二二日》

四七〇 安政二年 江戸帰り入用控〔町田〕

《（安政二）年三月二九日～四月朔日》

四七一 安政五年五月一八日 金銀出入日記扣（岩鼻行道中入用控）〔下畑亀屋半右衛門代金助〕

横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一

四九七

《午（安政五）年五月一八日～六月朔日》

一

慶応二年三月

岩鼻行道中入用控

《四日～七日》

二

（所沢行道中入用帳）

《寅年七月晦日～八月五日》

三

（岩鼻行入用控帳）

《寅年九月一六日～二〇日》

四

おほへ（岩鼻行入用控帳）

《寅年三月四日～七日》

五

（秩父大宮行入用控）

《九月一五日～一八日》

六

（渡瀬・高野・大山の神入用控）

四九七

慶応三年

於宝恵（江戸出府入用控帳）〔町田〕

《卯（慶応三）年一〇月一九日～一月四日》

四九七

慶応四（明治元）年三月

田舎入用覚（江戸より名栗までの道中入用控帳）

一五日

《三月一五日～六月二九日》

四九七

慶応四（明治元）年四月

道中入用覚（江戸出府入用覚）

《四月一日～六月六日》

四九七

慶応四（明治元）年閏四

道中入用覚（江戸出府入用覚）

月一八日

《閏四月一八日～六月一九日》

横 横 横 横 状 状 状 状 横 横  
一 一 一 一 二 二 二 二 一 一

明治元年十一月二〇日出 東京へ帰り候日記

立

《辰（明治元）年十一月二〇日～二八日》

明治二年九月三〇日 東京入用於宝惠（東京滞在中の入用覚）〔町田瀧之助〕

《巳（明治二）年九月晦日～十一月二日》

明治三年六月 おぼえ（飯能買物）

明治三年七月～未（明治 深川買物扣

四）年九月

《七月九日～九月一五日》

明治三年閏一〇月 東京入用於宝惠（東京滞在中の入用覚）〔町田俊三郎〕

《午（明治三）年閏一〇月二四日～十一月三日》

明治三年閏一〇月 東京入用於宝惠（東京滞在中の入用等控帳）〔町田俊三郎〕

《午（明治三）年閏一〇月二四日～十一月六日》

明治四年十一月 東京扣（東京滞在中の入用控帳）

《一月七日～（明治五）年二月一日》

明治四年 東京入用於宝惠（東京滞在中の入用控帳）〔町田俊三郎〕

《未（明治四）年一〇月二三日～十一月一九日》

明治五年

一 卯年五月一〇日～六月一（道中金銭出入覚）

九日

二①卯年五月二七日

覚（金銭請取覚）〔金川屋忠兵衛〕

二②

覚（出金覚）

明治元年一〇月二五日～一一 江戸買物扣

横

横

横 横

横

横

横

横

横

状 状

横

月九日

四九七 卯年十一月

出府入用控〔町田〕

《二月一〇日～二月二〇日》

四九八 辰年三月一九日～四月一

覚（江戸出府入用覚）

〇日

四九九 辰年卯月

出府諸入用扣〔町田〕  
(マ)

《四月四日～五月五日》

五〇〇 辰年八月二日～九月一

覚（江戸出府入用覚）

七日

五〇一 巳年七月

覚（江戸出府入用覚）

《七月九日》

五〇二 巳年九月

手控（江戸出府入用控）〔町田〕

《九月一七日～十一月二五日》

五〇三 午年八月

出府入用覚〔町田〕

《八月九日～九月一二日》

五〇四

一 未年八月八日～八月一五

於此江戸行入用

日

二 九月六日～一〇月二六日

於此江戸帰り入用扣

五〇五 申年六月

出府用よろつ覚帳〔まち田〕

《六月一八日～七月六日》

五〇六 申年十二月

出府手控〔町田〕

《正月四日～五月二七日》

横

横

横

横

横

横

横

状綴

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

四九七 閏四月一八日 田舎行道中入用（江戸より名栗までの道中入用）

《閏四月一八日～閏四月二三日》

四九八 五月五日～五月二日 覚（江戸出府入用覚）

四九九 八月 江戸入用おほへ（江戸買物入用覚帳）

《八月九日～一〇月一三日》

五〇〇 江戸よりの帰路入用控

《慶応二年五月一八日～二一日》

五〇一

一

① 覚（江戸行諸入用控）

《寅年正月二六日行二月三日帰り～寅年二月晦日》

② 覚（飯能行諸入用控帳）

《寅年二月二〇日～二月二四日帰り～二月晦日調》

二 覚（政五郎道中買物入用覚）

《寅年二月二五日帰り～寅年二月二六日》

五〇二

寅九月出府入用帳

《寅年九月三日～九月一六日》

五〇三 覚（江戸出府入用覚）

《巳年五月一八日～二七日》

五〇四

一 江戸・川崎出府入用控帳

《巳年六月晦日～七月一〇日》

二

飯能行入用控帳

横 一

横 一

横 二

横 一

状 一

横 一

横 一

横 一



五〇五	《巳年七月七日～七月一〇日》 覚（江戸出府入用覚）	横	一
五〇六	《午年六月一四日～六月一五日》 壹ばん覚（所沢行諸入用覚）	横	一
五〇七	《戌年六月一六日出立～二九日々大水ニ而三日逗留》 貳ばん（沖平・永二郎分道中入用控帳）	横	一
五〇八	《戌年七月晦日～八月一六日》 出府入用	横	一
五〇九	《戌年一〇月一八日～十一月朔日帰り》 （沖平分道中入用控帳）	横	一
五〇〇	《戌年十一月一八日～十二月六日》 記（諸寺社の御札、買物、到来物、材木代金覚）	横	一
五〇一	《戌年十二月六日》 （道中入用書付）	状綴	一
五〇二	《亥年五月一六日～五月一八日》 覚（五ばんゆせん等小遣覚）	横	一
五〇三	《閏正月二〇日～二五日》 （出府入用控帳）	横	一
五〇四	《三月一日～三月二九日》 覚（江戸出府諸入用覚帳）	横	一
五〇五	《三月一日～五月二九日》 覚（出府入用覚）	横	一
五〇五	《三月一五日～六月二九日》	横	一

五〇六 (江戸行道中入用、諸買物など金銭出入帳)

《三月二六日～五月二六日》

五〇七 覚 (江戸出府入用控ならびに寅八分入用勘定覚)

《四月一日～四月二日、申年七月一四日濟》

五〇八 小遣イ扣帳 (出府入用控帳)

《七月二三日～九月二日》

五〇九 六ばん覚 (道中入用控帳)

《八月六日～十一日》

五〇〇 覚 (茂兵衛・彦八江戸行入用覚)

《八月七日～九月一六日歸り》

五〇一 (出府入用覚)

《八月二七日～九月一九日》

五〇二 覚 (江戸出府入用覚)

《一〇月二〇日～二二日》

五〇三 覚 (金銭遣い方覚)

# 貨幣有 高 改

五〇四 明治二年六月 心ひかえ (貨幣種類別有高覚)

《六月一五日～午 (明治三) 年三月晦日》

五〇五 未 (明治四) 年一〇月一 覚 (貨幣種類別有高覚)

○日朝改～一〇月一二日

夜

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

五〇六	一	末年十二月二十六日朝	覚（貨幣種類別有高寛）	状綴
五〇七	二	末年十二月二十九日朝	覚（貨幣種類別有高寛）	一
一	一	《丑年正月四日》	（丑正月四日朝改、貨幣種類別有高寛）	
二	二	《丑年三月二十六日》	（丑三月二十六日夜改、角立分貨幣種類別有高寛）	
三	三	《丑年三月二十六日》	覚（丑三月二十六日夜改、貨幣種類別有高寛）	
四	四	《丑年五月七日》	覚（丑五月七日朝改、貨幣種類別有高寛）	
五	五	《丑（慶応元）年閏五月四日》	覚（丑閏五月四日夜改、土蔵の分他貨幣種類別有高寛）	
六	六	《丑年六月一七日》	覚（丑六月一七日夜改、蔵の分他貨幣種類別有高寛）	
七	七	《丑年七月一〇日》	覚（丑七月一〇日改、蔵の分他貨幣種類別有高寛）	
八	八	《丑年八月八日》	覚（丑八月八日昼改、貨幣種類別有高寛）	
九	九	《丑年八月八日》	覚（丑八月一四日夜改、貨幣種類別有高寛）	
一〇	一〇	《丑年八月一四日》	覚（丑一〇月朔日朝改、貨幣種類別有高寛）	

- 二 《丑年一〇月朔日》  
 覚（丑十二月朔日朝改、貨幣種類別有高覚）
- 二 《丑年一二月朔日》  
 覚（丑十二月二七日朝改、貨幣種類別有高覚）  
 （丑四月入金覚）
- 一四 《丑年四月》  
 覚（貨幣種類別有高覚）
- 一五 《寅年三月一三日》  
 （貨幣種類別有高覚）（前欠）
- 五〇八  
 一 （金錢勘定）
- 二 《丑年一二月二七日～二九日》  
 覚（寅元村在高正月一七日朝改、貨幣種類別有高覚）
- 三 《寅年正月一七日》  
 覚（寅正月晦日改、貨幣種類別有高覚）
- 四 《寅年正月晦日》  
 覚（寅四月一日朝改、蔵の分他貨幣種類別有高覚）
- 五 《寅年四月一日》  
 覚（寅五月晦日夜改、蔵の分他貨幣有高覚）
- 六 《寅年五月晦日》  
 （寅七月一日改、蔵の分他貨幣種類別有高覚）
- 七 《寅年七月一日》  
 覚（寅九月二日朝改、貨幣種類別有高覚）

五〇〇	八	《寅年九月二日》	覚（寅一〇月三日朝改、貨幣種類別有高覚）	
五〇〇	九	《寅年一〇月三日》	（寅一〇月三日朝改、貨幣種類別有高覚）	
五〇〇	一〇	《寅年十一月三日》	覚（寅十一月三日朝改、貨幣種類別有高覚）	
五〇〇	一一	《寅年十二月二日》	覚（寅十二月二日改、蔵の分他貨幣種類別有高覚）	
五〇〇	一二	《寅年三月朔日》	（寅三月朔日朝改、貨幣種類別有高覚）（後欠力）	
五〇〇	一三	《寅年正月》	（蔵の戸棚分他、貨幣種類別有高覚）（前欠）	
五〇〇	一四	《辰年正月》	めて度覚（貨幣種類別有高覚）	横
五〇〇	一五	《辰年元朝、一二月一日朝》		横
五〇〇	一六	《戌年正月元日、五月一八日》	（戌正月元日改、五月一八日朝改、貨幣種類別有高覚）	横
五〇〇	一七	《戌年七月八日》	（戌七月八日改、貨幣種類別有高覚）	横
五〇〇	一八	《戌年九月朔日》	覚（戌九月朔日朝改、貨幣種類別有高覚）	横
五〇〇	一九	《戌年九月二二日》	（戌九月二二日朝改、貨幣種類別有高覚）	横
五〇〇	二〇	《戌年九月二〇日朝改、貨幣種類別有高覚》		横

《戌年一〇月二〇日》

覚（戌十二月朔日夜改、戌十二月二九日改、貨幣種類別有高覚）

横

一

《戌年一二月朔日夜改、戌年一二月二九日》

状綴

一

五〇二

覚（亥正月五日改、二月四日改、貨幣種類別有高覚）

《亥年正月五日、二月四日》

（亥三月二日夜改、上下戸棚分貨幣種類別有高覚、亥三月二日改、戸棚分貨幣種類別有高覚）

《亥年三月二一日》

覚（亥三月四日朝改、貨幣種類別有高覚）

《亥年三月四日》

（亥三月四日朝小出し預置分、貨幣種類別有高覚）

《亥年三月四日》

覚（亥四月一日朝改、貨幣種類別有高覚）

《亥年四月一日》

覚（亥五月朔日朝改分、七日朝改、貨幣種類別有高覚）

《亥年五月七日》

（<sup>亥</sup>六月朔日夜上下戸棚改、上下戸棚惣改、貨幣種類別有高覚）

《（亥）年六月朔日》

（亥七月五日、改、別口分貨幣種類別有高覚（前後欠）

《亥年七月五日》

覚（亥七月五日、改、貨幣種類別有高覚）

《亥年七月五日》



《亥年十二月二六日》

覚（亥十二月二九日夜改、貨幣種類別有高覚）

《亥年十二月二九日》

（貨幣種類別有高覚）（前欠）

五〇三

覚（上戸棚・下戸棚分貨幣種類別有高覚）

《亥年三月一九日》

（亥五月二二日改、六月朔日改、上戸棚・下戸棚分貨幣種類別有高覚）

《亥年五月二一日、六月朔日》

（上戸棚分金小出し覚）

《亥年五月朔日》

五〇三

覚（亥大晦日夜改、貨幣種類別有高覚）

《亥年大晦日》

覚（子二月六日朝改、貨幣種類別有高覚）

《子年二月六日》

覚（子三月三日朝小出し、貨幣種類別有高覚）

《子年三月三日》

覚（子三月三日朝改小出し、三月三日朝改、一六日改、貨幣種類別有高覚）

《子年三月三日、一六日》

覚（子三月一八日朝改、貨幣種類別有高覚）

《子年四月一八日》

覚（子五月朔日朝改、貨幣種類別有高覚）

状綴

一

状綴

一



《子年五月朔日》

七

覺（子六月朔日夜改、貨幣種類別有高覺）

《子年六月朔日》

八

覺（子七月一日朝改、貨幣種類別有高覺）

《子年七月一日》

九

（子七月一七日朝改、貨幣種類別有高覺）

《子年七月一七日》

一〇

（子八月朔日朝改分、四日朝改、貨幣種類別有高覺）

《子年八月朔日、四日》

一一

（子九月四日朝改、下戸棚分貨幣種類別有高覺）

《子年九月四日》

一二

（子九月八日朝改、貨幣種類別有高覺）

《子年九月八日》

一三

（子九月一八日朝改、貨幣種類別有高覺）

《子年九月一八日》

## W 町田家生活

年始・盆・暮

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
五〇四	享和二年	差上戌年暮控（年暮進物控帳）〔町栄〕	横 一
五〇五	文政一二年七月	進上土産物覚帳（町田安次郎）	横 一
五〇六	安政五年正月	江戸より送り物覚（名栗新立）	横 一
五〇七	《午（安政五）年正月一九日～二月一〇日》 安政六年正月	《午（安政五）年正月一九日～二月一〇日》 江戸より送りもの覚（江戸よりの送り物、買物覚）〔名栗新立〕	横 一
五〇八	《未（安政六）年二月一四日帰り～二月二五日帰り》 安政七（＝万延元）年正月	《未（安政六）年二月一四日帰り～二月二五日帰り》 江戸送りもの覚（江戸よりの送り物、買物覚）〔名栗新立内〕	横 一
五〇九	《申（安政七＝万延元）年正月六日～二月二四日着》 万延元（＝安政七）年正月	《申（安政七＝万延元）年正月六日～二月二四日着》 江戸載もの覚・酉年分（江戸よりの送り物覚、買物受取覚）〔丸土新立〕	横 一
五〇〇	《酉（万延二＝文久元）年正月二四日帰り～二月二九日帰り》 文久二年正月	《酉（万延二＝文久元）年正月二四日帰り～二月二九日帰り》 江戸裁ものひかえ（江戸よりの送り物覚、買物控）〔まち田うち〕	横 一
五〇一	《戌（文久二）年二月一六日帰り～五月朔日帰り》 文久四（＝元治元）年正月	《戌（文久二）年二月一六日帰り～五月朔日帰り》 年礼受納帳〔万ちだ〕	横 一
五〇二	《甲子（文久四＝元治元）年元旦～四日》 慶応四（＝明治元）年四月	《甲子（文久四＝元治元）年元旦～四日》 田舎年始比賀恵	横 一
五〇三	《（正月）、四月一六日～二九日》		

五〇三	明治三年正月	年始比賀恵（年始祝儀金品控帳）	横	一
	《正月～未（明治四）年正月～四月二日》			
五〇四	（子年正月）	子年始（年始祝儀金品控帳）〔町田〕	横	一
	《元日～四日》			
五〇五	寅年十二月二十四	めて度覚（土産物覚）	横	一
五〇六	寅年十二月二十六	記（正月準備品覚）	横	一
五〇七	（辰年）	辰年始（年始祝儀金品控帳）〔町田〕	横	一
	《正月元日～正月一日》			
五〇八	（申年）	申歳暮（申年歳暮金品控帳）〔町田〕	横	一
五〇九	酉年二月	土産物覚〔町田屋〕	横	一
五〇〇	（亥年）	亥歳末控（歳末入用品控帳）〔町栄〕	横	一
五〇一		享和三年亥年始控（年始金品控帳）〔町田〕	横	一
	《亥（享和三）年正月朔日～七日》			
五〇二		享和四年子ノ年始控（年始金品控帳）〔町田〕	横	一
	《子（享和四文化元）年正月朔日～二八日》			
五〇三		もらい子年玉留	横	一
	《子年正月元日～二月朔日》			
五〇四		巳年始（年始祝儀金品控帳）〔町田〕	横	一
	《巳年正月元日～六日》			
五〇五		午年始（年始祝儀金品控帳）〔町田〕	横	一
	《午年正月元日～二日》			
五〇六		亥年始（年始金品控帳）〔町田〕	横	一
	《亥年元日～四日》			

五〇四

もらい亥歳末留

横

一

《亥年十一月二三日》

## 冠婚・葬祭

五〇六

文化一四年一月晦日

賀祝儀渡名前帳〔新館町田浦之助〕

横

一

五〇九

文政五年三月

泰翁隆安居士引取入用帳〔新立〕

横

一

《二月二〇日～四月一六日》

五〇〇

天保三年閏一月二四日

〔億誉栄寿大姉、観応露柱居士一周忌の覚〕

縦

一

五〇一

天保三年二月

井上太雅殿方江お豊嫁入控

縦

一

《閏一月二九日～二月大晦日》

五〇二

天保九年一〇月七日

法事諸入用控帳

横

一

《一〇月二日～一〇月一四日》

五〇三

天保一五〔弘化元〕年一

源助帯直し祝儀帳

横

一

一月二三日

五〇四

〔祝儀の金品控帳〕

綴

一

一

二 弘化三年一月二二日

いわ井入用おほへ〔おしけ〕

横

一

五〇五

嘉永七〔安政元〕年二月

祝儀入用覚〔丸土〕

横

一

《二月～三月一五日》

五〇六

嘉永七〔安政元〕年二月

祝儀到来受納帳〔町田瀧之助〕

横

一

《二月～四月》

五〇七

安政二年一月一五日

清五郎祝儀諸掛控

横

一

五〇六 安政三年七月二六日 孝月正順居士（香奠帳）

文久元年一二月八日 南嶽盛壽居士香篋帳

五七 文久元年一二月 諸懸帳（町田軍藏葬儀諸入用帳）

五七 文久三年八月 藤田屋隱居病死見舞之扣（香奠控帳）

HOPI

一文久三年一二月 南嶽盛壽居士三回忌扣

二 慶応三年一月 南嶽七回忌（南嶽盛寿居士七回忌控帳）

五〇七三 元治元年一月二四日 貞操院殿葬式行列帳

元治二（一〇九〇）年五月 貞操院仏事諸懸控〔帳場喜代蔵〕

《丑（元治二＝慶応元）年五月七日～五月一五日》

明治三年正月八日  
法事膳部（法事参列者名前ならびに手伝人足）

五〇七六 明治三年二月五日 宝山栄林居士香奠帳

《二月八日—二月一六日》

明治三年二月八日  
献立客来帳（葬儀につき）〔新館帳場〕

（泰翁隆安居士一周忌、三周忌献立など覚

《文政六年、七年二月二八日》

五〇七九

(布施、呉服代金、銭払)

《二月五日、未年二月八日、午年二月二八日》

《一〇月七日と一六日》

三  
覺（錢遣い方覺）

横  
一

横  
一

横  
一

横  
一

綴

橫

横

横

横

橫  
一

縦

橫

状

狀

五八〇

《二月五日～二月二六日》

(葬儀につき弔問者、手伝い者、入用など控帳)

横

一

五八一

《三月一〇日～三月一八日》

(祝儀引出物ならびに祝物控帳)

横

一

五八二

法会要用手控 (法会の儀式に必要な品物控)

横

一

五八三

(婚礼の祝詞)

縦

一

五八四

御相盃御色直し (殿様祝言につき御相盃、御色直し式次第)

縦

一

五八五

(引出物の材料、配り先覚)

横

一

## 家財・普請

五八六

文化九年五月

諸道具控帳 (新館)

横

一

《七月二日改メ西 (文政八) 年十二月一八日改メ》

五八七

一 文政一三 (＝天保元) 年八月

お繁殿普請覚

横

一

月

《八月九日～十一月二八日》

二

(不開)

状

一

三

覚 (大工渡し賃、駄賃など勘定)

状

一

四

(建具代金など覚)

状

一

五八八

天保二年四月

万覚帳 (扇子・墨・筆・手拭の数覚帳) [上名栗村町田専助]

横

一

《四月五日》

五八九

天保三年十二月

お豊諸道具類控

横

一

五〇六	天保七年七月	勝手小道具改帳〔町太〕	横	一
五〇二	天保九年三月	ころおほへ〔着物名、着物寸法覚〕	横	一
五〇三	丑年四月	手控〔家普請入用材木控帳〕〔町田〕	横	一
五〇三	未年十一月	大宝恵〔呉服などの覚〕	横	一
五〇四			横	一
一	亥年正月	〔鯉節、茶などの書上〕	横	一
二	亥年正月二五日	〔たもと持煙草入などの見立依頼状〕〔瀧之助↓本次郎〕	縦	一
五〇五		普請方目論見帳〔土蔵普請につき〕	縦	一
五〇六		衣服手控〔町田〕	横	一
五〇七		〔坪書上〕	横	一
五〇八		〔家作用材覚〕	横	一
五〇九		覚〔家作用材書上〕	横	一

## 飯 米

五〇〇	弘化五(＝嘉永元)年	飯米水車控〔自家用飯米〕	横	一
	《正月一日～二月二八日》			
五〇一	安政五年二月々未(安政六)年十一月	飯米扣〔飯米出入日別控帳〕〔新立内丸土〕	横	一
	《午(安政五)年二月朔日～二月二九日》			
五〇二	安政六年二月々申(万延元)年十一月迄	飯米帳〔飯米出入日別控帳〕〔新立〕	横	一
	《二月朔日～二月晦日》			

五二三 万延元年二月〓酉(文) 飯米帳(飯米出入日別控帳)(新館)

久元) 年一〇月

《二月朔日〓一〇月二八日》

五二四 文久元年一月朔日〓亥 飯米帳(新立)

(文久三) 年四月

《酉年一月一日〓亥年四月六日》

五二五 文久三年四月〓子(元治) 飯米帳(新立)

元) 年七月

《亥(文久三) 年四月一〇日〓子(元治元) 年七月二一日》

五二六 元治元年八月〓丑(慶応) 飯米帳(新立)

元) 年一二月

《八月七日〓丑年一二月二七日》

五二七 慶応二年正月 飯米帳(新立)

《正月四日〓一二月大晦日》

五二八 慶応三年正月 飯米帳(新立)

《正月元日〓一二月六日》

五二九 明治二年正月 飯米おほえ(後欠か)

《正月一日〓三月九日》

五三〇 明治二年正月 飯米おほえ

《正月元日〓四月二七日》

五三一 明治二年八月 飯米ひかえ

《八月一日〓一二月二日》

五三二 明治三年六月 人足米大宝恵

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一



五二三	《七月一日》	日雇飯米控（日雇人別支払い飯米控）	横	一
五二三	明治三年七月			
五二四	《七月一日～未（明治四）	年三月二八日》	横	一
五二四	明治三年七月より	日雇飯米貸方比賀恵（日雇人別貸飯米控）	横	一
五二五	《七月二八日～未（明治四）	年十二月》	横	一
五二五	明治三年七月	米麦比賀恵（米麦その他穀物使いみち別控）	横	一
五二六	《七月二八日～十二月二九日》		横	一
五二六	明治三年十一月	飯米おほえ〔まち田〕	横	一
五二七	《一月三日～十二月二九日》		横	一
五二七	明治四年正月～四月二〇	飯米おほえ〔町田〕	横	一
五二八	日			
五二八	明治四年四月二一日～一	飯米おほえ〔町田〕	横	一
五二九	〇月六日			
五二九	（子）年一月	子とし飯米ひかえ〔町田なお〕	横	一
五三〇	《一月一日～四月三日》		横	一
五三〇	（子）年一月	子とし飯米ひかえ	横	一
五三二	《一月一日～十二月三〇日》		横	一
五三二	卯年正月	手控（家内使いの穀物・炭の覚）〔新立内惣吉〕	横	一
五三三	《正月一三日～四月二日》	覚（新宅より仕入米穀の覚）	横	一
五三三	《巳年正月九日～六月一八日》		横	一
五三三	（米穀月別覚）〔⊕↓小物茂八〕		横	一
五三三	《亥年十一月二九日～丑年四月一八日》		横	一

## 学芸・趣味

五三四	元禄一〇年五月	類編広益衆方規矩〔武城書肆木下吉辰蔵板〕	縦	一
五三三	宝暦一二年一月	字集〔文章例集〕〔志□〕	状綴	一
五三六	天明三年	猿山流千字文〔手習手本〕〔猿山不言齋先生門人大江保義書・此主志□〕	縦	一
五三七	文化一二年補刻	世話千字文〔手習手本〕〔絵池堂老師鈴木正慶書・大坂小久太郎町心齋橋通河内屋喜兵衛発行〕	縦	一
五二六	文化一二年五月	御清書双紙〔上名栗村新館町田常次郎〕	横	一
五二九	文化一二年菊月	吾妻章息〔手習手本〕〔町田氏〕	縦	一
五三〇	文化一三年一月	御教訓〔町田安次郎〕	縦	一
五三三	文化一三年一二月	萩原様御教訓〔町田安次郎〕	縦	一
五三三	文政三年正月ヨリ	手習稽古控	横	一
五三三	文政三年	大さらい〔手習手本〕〔町田屋〕	縦	一
五三四	文政八年九月	大宝恵〔難読文字読み方覚〕〔全町栄・浅今戸⊕町保栄吉〕	横	一
五三三	文政丙戌〔九〕年	三體以呂波〔町田軍蔵〕	縦	一
五三六	文政一三〔≡天保元〕年九月	凌書〔手習清書〕	縦	一
五三七	天保二年正月	手控〔熟語の読み方覚〕〔武州秩父郡上名栗村町田専助〕	横	一
五三八	天保一四年閏九月二五日	御上覧相撲勝負付	横	一
五三九	弘化五〔≡嘉永元〕年二月	宇津志物〔日本の国名、江戸方角などに関する覚〕〔深川西町志摩田元吉〕	横	一
五四〇	嘉永元年八月二二日	呼出帳〔文池堂先生惣門弟の名簿〕〔文池堂先生門弟山崎三五郎・太田喜三郎〕	横	一
五四一	嘉永元年一〇月	文池堂門人筆学紙〔町田瀧之助〕	横	一

五二七	安政四年卯月	文之文（手習手本）〔新立内多美〕	縦	一
五二六	安政二年正月	囲碁控（町田）	横	一
五二五	嘉永五年正月	算用記（上名栗村町田瀧之助）	横	一
五二四	嘉永二年二月	文池堂門人筆学清書（手習清書）〔町田瀧之助〕	横	一
五二三	《二月一〇日～閏四月三日》	呼出帳（文池堂先生惣門弟出席者名ならびに役職付の者の名簿）〔文池堂門人町田瀧之助〕	横	一
五二二	嘉永二年閏四月	綺与彼畿雙子（手習清書）〔町田瀧之助〕	横	一
五二一	《閏四月七日～六月二日》	（手習手本）	縦	一
五二〇	嘉永二年五月	記与賀紀雙紙（手習清書）〔文池堂先生門弟町田瀧之助〕	横	一
五一九	嘉永二年六月	呼出帳（俳句会への出席者名簿）〔深川中木場町田瀧之助〕	横	一
五一八	《六月七日～一〇月二日》	消息往来惣清書雙紙（手習清書）〔文池堂門弟町田瀧之助〕	横	一
五一七	嘉永二年一〇月	清書（手習）〔町田瀧之助〕	横	一
五一六	嘉永三年四月一四日	文池堂先生門人席書〔深川中木場町田瀧之助〕	横	一
五一五	嘉永三年六月	万覚帳（俳句稽古や神社への代参などにつき日記帳）〔まちだ瀧之助〕	横	一
五一四	《六月二日～六月五日、六月一五日、八月一五日～十一月一八日》	浅香通院先生惣門人席書呼出帳〔深川ニすむ町田瀧之助〕	横	一
五一三	嘉永三年八月一四日	（手習清書）〔町田瀧之助〕	横	一
五一二	戊（嘉永三）年		横	一
五一一	《正月二九日～五月九日》		横	一
五一〇	嘉永五年正月		横	一
五〇九	安政二年正月		横	一
五〇八	《卯（安政二）年正月二日～五月晦日》		縦	一
五〇七	安政四年卯月		縦	一

五二八 安政二年六月 囲碁録〔町田〕

《六月二日～一月二〇日》

五二九 文久二年六月 清書（手習清書）〔町鈴〕

五三〇 文久三年五月 清書双紙（手習清書）〔町田鉛三郎〕

五三一 文久三年六月 飛哥惠（俳句ひかえ）〔其心堂〕

五三二 慶応元年水無月 四時草稿俳句口伝手飛加惠〔青園桃句〕

五三三 乙丑（慶応元）年はつ春 煎茶集会

《正月、五月二四日、五月二七日、九月二四日、葉月晦日》

五三四

一 慶応二年 俳諧之連歌もりの春

二 子の日の春俳諧の連歌

五三五 慶応三年霜月 手飛賀恵（漢方薬成分について）（前後欠か）

五三六 丑のとし 四時草稿（俳句草稿）〔青園桃句〕

五三七 寅年一〇月 菊花覚（菊の花の名称書付）

五三八 申年八月 碁範玄的信士俗名小川甚七郎為追善囲碁集会

五三九 （手習手本）

五四〇 （手習手本）〔町田柳女〕

五四一 （手習手本）〔町田柳女〕

五四二 （手習手本）〔町田柳女〕

五四三 （手習手本）〔町田柳女〕

五四四 （手習手本）〔町田柳女〕

五四五 （手習手本）〔町田りゅう〕

五四六 （手習手本）

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

縦 一

縦 一

（横） 二

横 一

横 一

横 一

折本 一

折本 一

折本 一

折本 一

折本 一

折本 一

折本 一

折本 一



## 記 録

五九	寛政一〇年	永代記録懐中記〔英二郎〕	横	一
	《年（寛政一〇）年三月五日立し未（寛政一一）年一〇月九日》			
五九	文政二年正月	日記覚え帳（諸買物・贈答品日記帳）〔新館隠居〕	横	一
	《卯（文政二）年正月二九日辰（文政三）年正月一〇日》			
五〇	文政四年正月	日記覚え帳（諸買物・贈答品日記帳）〔新館隠居〕	横	一
	《巳（文政四）年正月七日し二月一七日》			
五〇	文政五年	日記帳（天気付）	縦	一
	《二月五日し九月二五日》			
五〇	天保八年	（小作地の四至、日々の覚えなどの書付）	横	一
五〇	弘化三年三月	日記帳（天気付）〔新館町田瀧之助〕	横	一
	《三月一五日し閏五月二三日》			
五〇	明治二年八月	日記帳	横	一
	《巳（明治二）年八月一五日し十一月二二日》			
五〇	明治四年正月	（日記帳）（表紙のみ）	横	一
五〇		（所用日記）	横	一
五〇	《一月朔日し一月二五日、午年四月四日し四月六日》			
五〇	《未年一月四日し一月二三日》			
	（所用日記）（前欠）			
五〇	《（未）年一月八日し申年四月一二日》		横	一

## 旅

五〇九	寛政七年正月	道中日記帳（宿泊・入用などの覚）	横	一
	《卯（寛政七）年正月七日出立く三月晦日》			
五二〇	文化七年正月	道中日記帳（宿泊・入用などの覚）	横	一
	《午（文化七）年正月七日く三月一〇日》			
五二一	文政一一年正月	道中定宿控（距離ならびに定宿控の帳）〔浅草今戸町田安次郎〕	横	一
五二二	文政一一年四月	道中小遣控（江戸く伊勢・奈良、金比羅大坂く江戸の道中小遣控）〔浅草今戸町やす〕	横	一
五二三	《四月二三日く七月二日》			
五三三	文政一一年四月	名所大宝恵（諸国神社・仏閣覚）〔町栄〕	横	一
五三四	巳（天保四）年八月一五	大宝恵（箱根などでの金銭遣い方覚）	横	一
	日			
	《八月一五日く十一月一〇日》			
五三二	天保一四年二月	道中日記帳（距離ならびに定宿控の帳）〔後欠〕	横	一
五三六	弘化二年正月一三日	道中入用控（江戸く伊勢往復入用控）〔江戸深川木場町田屋安助〕	横	一
	《正月一二日く正月一六日、二月二六日く三月八日》			
五三七	万延元年六月	万之通（上州伊香保に逗留時の通帳）〔湯元木暮人左衛門代富平く上段御客様〕	横	一
	《六月四日く二五日、六月二六日請取》			
五三八	元治元年五月二三日	万之通（箱根逗留時の諸入用通帳）〔戸ノ湯松坂万右衛門く飯王村幾三郎〕 (能)	横	一
	《五月二三日く六月四日、六月五日請取》			
五三九	慶応二年四月	日光道中記（入用控）〔満池多〕	横	一
	《（四月）一二日く五月二日》			

五三〇	巳年六月七日	熱海入用覚（熱海行道中入用日記控帳）（後欠か）	横	一
五三一	《六月七日～六月一七日》	（日光・鹿島・成田行道中入用覚など）（前欠か）	横	一
五三二	《寅年四月一二日～五月四日》	（日光行道中入用控帳、一件酒肴金錢勘定覚）	横	一
五三三	《四月一四日～一七日》	覚（成田参詣入用覚）	横	一
五三四	《五月一三日～五月一六日》	（江の島行諸入用控帳）	横	一
五三五	《六月朔日～六月二日》	覚（伊香保行入用覚帳）	横	一
五三六	《六月二六日～六月二七日》	覚（箱根・鎌倉行道中入用控帳）	横	一
	《六日～一七日》			



## X 材木問屋

文書 番号	年 代	文 書 名	形態 数量
五三七	寛政六年正月二三日	浅草今戸店荷物改メ注文帳	横 一
五三八	享和元年極月	店勘定目録〔藤田屋嘉助↓新立旦那〕	横 一
五三九	《戌〔享和二〕年正月〜四月》	享和三亥年十一月仕様帳写〔神田小柳町二丁目文助他一名↓馬喰町□□ぎ店会所〕	縦 一
五三〇	文化七年九月	水揚帳〔橋本屋五郎右衛門〕	横 一
五三一	《九月一二日〜一二月四日》	万壳帳〔橋本屋五郎右衛門〕	横 一
五三二	《九月二日》〔文化八〕年二月一〇日	杉丸太代金拾々年賦請取帳〔浅草今戸町田屋栄助↓上名栗新館栄治郎〕	横 一
五三三	文化九年八月	《申〔文化九〕年八月〜卯〔文政二〕年、辰〔文政三〕年九月二〇日》	縦 一
五三四	文化一〇年一月	願書下書 永田様御懸り樽御役所江下り御糺役改所新規願〔川辺老番組古問屋本所緑町老町目家持願人喜左衛門・五人組儀兵衛他二名↓奉行所〕	横 一
五三五	文政五年四月	勘定取調帳〔町田屋栄助倅勝次郎立会人藤田屋嘉助↓町田栄次郎〕	横 一
五三六	文政五年一月	万覚帳〔町田屋〕	横 一
一	《一二月三日〜一二月一〇日》	万覚帳〔町田屋〕	綴 一
	文政六年正月	《未〔文政六〕年正月朔日〜六月一三日》	

二 文政六年七月 当座帳

《七月朔日～二月》

五三七 文政七年正月 当座帳〔町田屋〕

《正月四日～酉（文政八）年二月一七日》

五三八 文政一〇年五月 手控〔材木商売、金銭出入〕〔材木町田屋内〕

《文政一〇年二月八日～文政一三（天保元）年正月一九日》

五三九 文政一〇年 万覚帳

《二月朔日～二月晦日、戌年正月朔日～正月二日、一二月朔日～二月一〇日、正月朔日～三月二日》

五四〇 文政一一年九月 深川材木店取立帳〔新館〕

《子（文政一）年九月二〇日～巳（天保四）年八月》

五四一 文政一一年九月 水揚帳〔町田屋栄次郎〕

《九月一日～二月五日》

五四二 文政一一年九月 万売帳〔裏表紙欠〕

《九月一日～二月二〇日》

五四三 文政一一年 〇調勘定帳

五四四 文政一二年正月 金銀出入控覚帳〔木場町田屋〕

《四月九日～九月二九日、四月七日～一〇月二六日》

五四五 文政一二年正月 金銀出入勘定帳〔深川町田屋〕

五四六

一 安政五年一二月 金銀判取帳〔表紙のみ〕

二 （裏表紙）

三 天保八年正月 大福帳〔表紙のみ〕

四 天保四年正月 大福帳〔表紙のみ〕

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

横

九

一

一

一

一

五	明治三〇年一月	(裏表紙)	横	一
六	明治七年一月	小弘判取帳 (表紙のみ)	横	一
七		(裏表紙)	横	一
八	明治七年一月	金銀判取帳 (表紙のみ)	横	一
九	文政二年正月	掛取帳 (表紙のみ)	横	一
一〇		(裏表紙)	横	一
二		(裏表紙)	横	一
三	天保二年正月	懸取帳 (表紙のみ)	横	一
三	天保八年正月	懸取帳 (表紙のみ)	横	一
三	文政二年一月	金銀出入控覚帳 (木場町田屋見せ)	横	一
三四	《一〇月二日》(文政一三〓天保元)年正月五日》		横	一
三四	文政一三(〓天保元)年正月	金銀出入帳 (町安)	横	一
三四	月			
	《正月五日》三月一八日》			
三四	天保二年正月	金銀出入帳 (町田屋安助)	横	一
	《正月元日》六月三日》			
三五	天保二年正月	金銀出入帳 (上木場町田屋美瀬)	横	一
	《七月一四日》九月二九日》			
三五	天保二年正月	寅年店下勘定帳	横	一
三五	天保二年一〇月	金銀出入帳	横	一
	《一〇月朔日》十一月七日》			
五五	天保二年一月	金銀出入帳	横	一
	《十一月二〇日》天保三年正月五日》			

五五四 天保二年 寅年売 ☐ ☐ ☐ 改帳

天保三年正月  
卯年店下勘定帳

天保三年八月

《八月朔日、九月一日》

五三七 天保三年九月 金銀出入帳(後欠)

《九月二日と閏一月一日》

三五 天保三年  
材木水揚帳（表紙のみ）〔藤田屋喜助↓町田栄治郎〕

五三九 天保四年正月 金銀出入帳〔町田屋〕

《正月朔日と七月一七日》

天保四年七月 金銀出入帳〔町田屋〕

《七月一八日》(天保五)年正月二五日》

五六一 天保五年正月 金銀出入帳

《正月元日と二月一日》

五三三 天保五年正月 二番大福帳（諸材木売帳）

《正月八日、極月二七日》

天保五年正月  
万覚帳〔町田屋〕

《三月一七日と一月七日、五月六日と一〇月二日、三月五日と五月六日》

天保五年正月

《天保五年三月二三日》天保七年五月二三日》

五二五 □ (天保五) 年正月 万売帳〔町田屋太助〕

《午年三月二〇日—二月二六日》

天保五年三月 金銭出入帳〔町田屋太助〕

《正月八日と大晦日》

五七	天保五年三月	川並日記帳〔東平野町町田屋〕	横	一
五六	《三月一九日》天保六年正月一二日》 天保五年三月	(乗賃覚) 船筏□□□〔町田屋見世〕	横	一
五九	《三月二〇日》八月九日》 天保五年三月	店取立控〔東平野町町田屋太助〕	横	一
五七〇	《三月》天保七年四月二七日》 天保五年四月	金銀出入帳〔町田屋〕	横	一
五七一	《四月朔日》七月八日》 天保五年七月	金銀出入帳	横	一
五七二	《七月一四日》九月一二日》 天保五年九月	金銀出入鳥渡控	綴	一
二	《五月二四日》七月二〇日》 天保五年九月	金銀出入鳥渡控	横	一
五七三	《九月二八日》極月一三日》 天保五年	覚〔仕入金借用など〕〔下名栗村荷主与兵衛代永次郎他二五名〕	(横)	一二
五七四	《七月二八日》未年四月一八日》 天保六年正月	金銀出入帳〔町田屋太助〕	横	一
五七五	《正月朔日》天保七年正月五日》 天保六年正月	金銀出入鳥渡控〔後欠〕	横	一
五七六	《正月七日》七月九日》			

五三七

一 天保六年正月 金銀出入帳〔町田屋店〕

《正月二九日～三月一九日》

二 (金銀出入帳)

《正月二日～二月二八日》

三 内金出高

《二月二一日～二月二〇日》

四 仕切出金

五 覚(金銀出入帳)

《二月二五日～三月一四日》

五三八 天保六年正月 売払仕上帳〔町田屋太助〕

《四月一〇日入～八月二九日入》

五三九 天保六年四月一七日～一 仕切帳〔深川東平野町町田屋〕

一月一七日

《四月一五日～一月一六日》

五三〇 天保六年四月 金銀出入帳〔町田屋安助〕

《四月朔日～六月朔日》

五三一 天保七年正月 万売帳〔諸材木万売帳〕〔町田屋太助〕

《正月五日～酉(天保八)年二月二九日》

五三二 天保七年正月 懸取帳〔諸材木万売帳〕

《正月～二月》

五三三 天保七年二月 当座帳(金銀出入帳)

《二月二四日～九月二日》

綴

横

横

横

横

横

横

一

一

一

一

一

一

一

五八四	天保七年七月	取調帳(金錢覺)〔町太〕	横	一
五八五	天保七年七月	諸材木改帳〔町太〕	横	一
五八六	天保八年正月	水揚帳〔町田屋太助〕	横	一
五八七	《天保七年二月八日～二月一六日、天保八年正月六日～二月二五日》	勝手小遣帳〔町田屋奥〕	横	一
五八七	天保八年正月	《二月九日～五月一三日》	横	一
五八八	天保八年正月	店勘定調帳〔町太〕	横	一
五八九	天保八年正月	店材木改帳	横	一
五九〇	天保九年正月	仕切帳〔町田屋安助〕	横	一
五九一	《安政七年正月一九日入～万延元年二月二九日入》	万売帳〔諸材木万売帳〕(後欠)〔町田屋〕	横	一
五九二	天保九年正月	《正月四日～九月二〇日、正月九日～九月一〇日》	横	一
五九三	天保九年正月	懸控帳〔諸材木売買につき〕〔町田屋安助〕	横	一
五九三	《正月～二月》	万控帳(金錢覺)〔町田安助〕	横	一
五九四	天保九年正月	現銀呉服物反数覺(通帳前文のみ)〔越後屋向店半七・友七→町田屋安助〕	横	一
五九五	天保九年	水揚帳(後欠)〔町田屋〕	横	一
五九六	《正月四日入～一〇月二三日入》	大福帳〔諸材木万売帳〕〔町田屋〕	横	一
五九七	天保九年	《正月～二月》	横	一
五九七	天保九年	天保九戌年々地方勘定帳〔今戸藤田屋〕	横	一
五九八	《天保九年四月～天保一四年極月》	大福帳〔諸材木万売につき〕	横	一
五九八	戊(天保九)年		横	一

《正月、亥年三月》

五九

天保一〇年正月

水揚帳（後欠）〔町田屋〕

横

一

《正月四日入、三月八日入》

五〇

天保一〇年正月

水揚帳〔町田屋太助〕

横

一

《正月五日入、天保一一年正月四日入》

五一

天保一一年一月

万壳帳〔諸材木万壳帳〕〔町田屋壳場〕

横

一

《天保一一年二月五日、天保一二年二月一日》

五二

天保一一年一月

水揚帳〔町田屋壳場〕

横

一

《一月一六日入、天保一二年二月二〇日入》

五三

天保一二年正月

水揚帳〔町田屋〕

横

一

《正月四日入、五月二日入》

五四

天保一三年正月

水揚帳（後欠）〔町田屋〕

横

一

《正月二日入、八月二八日入》

五五

天保一四年正月

水揚帳〔町田屋安助〕

横

一

《正月一日入、二月二二日入》

五六

天保一五（弘化元）年正月

現金呉服物通〔白木屋彦太郎代七右衛門、町田安助〕

綴

一

月

《正月三日、巳（弘化二）年正月元日、》

二

弘化二年一〇月

現金呉服物通〔白木屋彦太郎代幸七、町田屋安助〕

《一〇月一日、一〇月三〇日》

三

安政三年正月

足袋股引通〔湊屋儀兵衛、町田屋安助〕

《安政二）年大晦日、（安政三）年二月晦日》



天保一五(弘化元)年正 水揚帳〔町田屋安助〕

月

《正月一七日入〜二月二日入》

天保一五(弘化元)年三 (仕切帳) (前欠) (町田屋)

月一二日〜弘化四年三月

一〇日

《天保一五(弘化元)年正月一七日〜弘化三年六月一八日》

天保〇年〇月 判取帳〔町田屋太助〕

《二月二五日〜二月六日》

弘化二年正月 仕切帳〔表紙・裏表紙のみ〕〔町田屋安助〕

(弘化二)年二月一五日 (仕切帳) (表紙欠)

(弘化四)年二月二四日

《弘化二)年二月一四日〜(弘化三)年二月一四日》

弘化三年正月 万売帳(後欠)〔町田屋〕

《正月一一日入〜一〇月二〇日入》

弘化三年六月 式番万売帳(後欠)

《六月一〇日〜九月二五日》

弘化三年 大福帳〔諸材木万売につき〕

《正月元日〜二月二五日》

弘化四年正月 諸材木之通〔町田屋安助↓伏見屋五郎八〕

《四月二六日、五月三日》

弘化四年四月九日〜弘化 仕切帳〔町田屋安助〕

五(嘉永元)年二月七日

横 一

横 一

横 一

横 (横) 二

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

《弘化四年正月五日入〜二月二八日入》

五三七

弘化四年□月 万売帳〔町田屋安助〕

《正月四日〜一〇月一〇日》

五三八

弘化五(＝嘉永元)年正月 万売帳〔後欠〕

《正月四日〜七月一七日》

五三九

嘉永二年正月 仕切帳〔町田屋安助〕

《正月一八日入〜二月二九日入》

五三〇

嘉永二年正月 大福帳〔諸材木万売につき〕〔町田屋安輔〕

《正月〜二月》

五三一

嘉永二年一二月 金銀出入帳

《二月朔日〜二月一九日》

五三二

嘉永四年正月 大福帳〔諸材木万売につき〕〔町田屋安助〕

《正月〜二月》

五三三

嘉永五年正月 近所懸方書抜帳〔諸材木万売につき〕〔町田家〕

《正月〜二月》

五三四

嘉永五年一〇月 万日記〔深川中木場町田瀧之助〕

《子(嘉永五)年一〇月八日〜二月五日》

五三五

嘉永六年正月 現金呉服物通〔白木屋彦太郎代佐兵衛↓町田屋安助〕

《嘉永五)年一二月二八日〜(嘉永六)年一二月九日》

五三六

嘉永六年正月 現金呉服物反数之覚〔通帳〕〔越後屋向店直次郎・新七↓町田屋安助〕

《三月分〜一二月二七日》

五三七

嘉永七(＝安政元)年正月 大福帳〔諸材木万売につき〕

《正月〜二月》

横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一 横 一

五三六	嘉永七(一)安政元年正月	近所懸方書按帳〔諸材木万売につき〕〔町田家〕	横	一
五三六	嘉永七(一)安政元年	〔諸材木万売帳〕〔表紙欠〕	横	一
	《正月四日～十二月二七日》			
五三〇	安政二年正月	小弘判取帳〔後欠〕	横	一
	《三月一〇日～安政三年七月二日》			
五三三	安政二年	〔諸材木万売帳〕〔表紙欠〕〔町田屋安助〕	横	一
	《正月二日～七月二八日》			
五三三	安政三年正月	大福帳〔諸材木万売につき〕〔町田屋安助〕	横	一
	《正月～二月》			
五三三	安政四年正月	水揚帳〔町田屋安助〕	横	一
	《正月二日入～二月二九日入》			
五三四	一 安政四年九月	金銀出入帳	綴	一
	《九月朔日～十一月一六日》			
二	安政四年十一月	金銀出入帳〔町田屋見世〕		
	《十一月一七日～十二月晦日》			
五三五	安政五年正月	大福帳〔諸材木万売につき〕〔町田屋安助〕	横	一
	《正月～二月》			
五三六	(安政五年三月)	安政五年年三月前諸材木直段覚〔町田屋安助↓下総屋半七〕	横	一
	《安政三年正月五日～安政五年正月一三日》			
五三七	安政六年正月	水揚帳〔町田屋安助〕	横	一
	《正月四日入～二月二六日入》			
五三八	安政六年正月	仕切帳〔町田屋安助〕	横	一

《正月五日入〜二月二六日入》

五三九

安政六年 式番懸控帳（諸材木万壳につき）

《九月二七日〜二月二九日》

五四〇

安政七（＝万延元）年正月 万壳帳（諸材木万壳帳）〔町田屋安助〕

《正月四日〜二月二九日》

五四一

万延元年六月 金銀仮大宝恵（後欠）

《六月一八日〜七月三日》

五四二

万延二（＝文久元）年正月 仕切帳（後欠）〔町田屋安助〕

《正月二四日入〜三月一四日入》

五四三

一 文久元年八月 金銀仮控帳

《八月一五日〜一〇月二三日》

二 文久元年一〇月二〇日 金銀出入仮控

《一〇月二三日〜二月晦日》

五四四

文久二年正月 万壳帳（裏表紙欠）

《正月四日〜二月二七日》

五四五

文久二年正月 水揚帳〔町田屋安助〕

《正月五日入〜二月一二日入》

五四六

文久三年正月 水揚帳〔町田屋源助〕

《正月一〇日入〜二月二九日入》

五四七

文久三年正月 大福帳（諸材木万壳につき）〔町田屋安助〕

《正月〜二月》

五四八

文久四（＝元治元）年正月 大福帳（諸材木万壳につき）

横

一

横

一

横

一

横

一

綴

一

横

一

横

一

横

一

横

一

横

一

《正月～二月》

五五九

甲子（元治元）年五月

甲子五月前仮於保惠（材木売渡につき）〔町田屋安助↓川内屋久兵衛〕

横

一

《三月六日～四月一七日》

五五〇

元治元年九月

万売帳

横

一

《九月二日～二月二七日》

五五一

慶応元年九月

月々請取帳（利金請取帳）〔黒船町ふじ田や徳助〕

横

一

《慶応元年九月一五日～明治四年二月九日》

五五二

慶応二年正月

懸比賀惠（諸材木万売につき）〔町田屋安助〕

横

一

《正月九日～二月二六日》

五五三

慶応三年正月

金銀仮控帳（一部欠）

横

一

《正月元日～六月二九日》

五五四

慶応三年

〔仕切帳〕（表紙欠）〔町田屋安助〕

横

一

《正月一三日入～二月一七日入》

五五五

明治二年八月

記（材木仕入金貸覧）

横

一

明治四年正月

金銀出入帳〔町田〕

横

一

《正月元日～二月大晦日》

五五七

辛未（明治四）年一〇月

相場帳〔材木問屋行事〕

横

一

明治四年二月

金銀比賀惠（金銀出入控）

横

一

《二月四日～明治五年二月一日》

五五九

子年三月一四日～卯年四月三日

（仕切帳）

横

一

月三日

《亥）年六月二九日入～（寅）年一月二五日入》

五五〇

丑年三月

金銀出入鳥渡控（後欠）

横

一

《三月一四日～四月五日》

五六一

丑年四月

与市殿筏乗賃請取帳〔深川町田屋〕

横

一

《三月二七日～二月一四日》

五三二

丑年

丑年店勘定帳

横

一

一

《丑年九月朔日～十一月一四日》

覚〔酒代・仲間入用・惣代役料・名主殿へなどの金銭遣い方覚〕

二

《丑年六月～九月一六日》

入金高〔旦那受取、仕入残金、売先かりなどの入金覚〕

五三三

丑年

丑年諸入用内訳ケ

横

一

《丑年九月朔日》

五三六

寅年正月

本家勘定帳

横

一

《子年九月一日～卯年十二月》

五三五

寅年二月

政平店普請注文

横

一

五三六

一

卯年五月一日

覚〔代金請取覚〕〔八国屋↓上〕

二

五月二日

覚〔代金請取覚〕〔藤屋儀兵衛↓町田屋〕

三

五月二日

覚〔代金請取覚〕〔ひし藤兵衛↑上〕

四

五月二日

覚〔代金請取覚〕〔ひしふし藤兵衛↑上〕

五

五月二七日

覚〔代金請取覚〕〔今戸町有明楼中菊↓上〕

六

六月三日

覚〔代金請取覚〕〔みのや芳兵衛↓町田屋〕

七

卯年六月三日

覚〔安息香代金写〕〔紀伊国屋〕

八

六月三日

覚〔代金請取覚〕〔いわしや市左衛門↓上〕

九

卯年六月三日

覚〔代金請取覚〕〔写〕〔油町炭屋〕

状綴

一

二〇 卯年六月四日 覚（代金請取覚）〔本石町四丁目植田屋久次郎↓上〕

二 六月七日 覚（代金請取覚）〔堺屋御鯨所安宅松次郎〕

三 卯年六月八日 覚（代金請取覚）〔松今や↓旦那〕

三 六月八日 覚（代金請取覚）〔平松↓上〕

一四 六月八日 覚（代金請取覚）〔藤や清治郎〕

一五 六月一日 覚（代金請取覚）〔藤や清治郎↓町田屋〕

一六 六月一三日 覚（代金請取覚）〔いわつきや□□衛門↓上〕

一七 六月一三日 覚（代金請取覚）〔今戸町有明楼中菊↓上〕

一八 六月一六日 覚（代金請取覚）〔藪中庵三郎治↓町田屋〕

一九 卯年六月二二日 覚（代金請取覚）〔大新↓上〕

《卯年六月二〇日〜二二日》

二〇 六月二三日 覚（代金請取覚）〔田中四左衛門↓上〕

二 品物代金覚

《卯年六月一九日》

五三六 卯年八月七日〜巳年一二月  
月 〔筏材木仕切帳〕〔表紙欠〕

《（卯）年二月一九日入〜（巳）年一二月二八日入》

五三六

一 〔立木仕入借入金、材木売上内金など控帳〕〔町田屋□□〕

《午年六月九日〜申年四月八日》

二 卯年一二月一五日 覚（金銭請取覚）〔柏原増田三郎兵衛↓名栗吉田伴次郎〕

五三六 辰年 〔諸材木万売帳〕〔表紙欠〕〔町田屋安助〕

《正月二日〜一二月二五日》

横 一

横 一

横 一

五三〇 午年二月 鳥渡出入控

《二月八日～五月二二日》

五二二 午年二月 金銀出入覚〔町田屋店〕

《二月一四日～二月二七日》

五二二 午年 扣〔材木万売〕

《三月八日～一〇月七日》

五七三 未年正月 未正月改仕入前金扣〔町田屋太助〕

《巳年七月～未年二月一五日》

五七四 未年正月 未正月改仕入前金扣〔町田屋安助〕

《午年七月～申年八月三日》

五七五 未年 覚〔筏水揚につき〕

五七六 申年正月改 店勘定調帳〔町田屋太助→新館〕

五七七 酉年正月 手控〔町栄〕

《申年一二月～酉年四月八日》

五三八 三月九日 〔材木代金請取帳〕〔尾張屋嘉兵衛他一名〕

五三九

一 五月一〇日～二月二二 〔水揚帳〕〔町田屋太助〕

日

《五月五日入～一月二九日入》

二 一一月九日 〔筏材木仕切帳〕

《一〇月二〇日》

五三〇

一 覚〔金銭おぼえ〕〔断簡〕

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

横 一

状綴 一



二	一〇月二二日	覚 (代金請取覚) (いわや市左衛門↓町田屋店)
三	一〇月二二日	覚 (代金請取覚) (越後や↓満知田屋)
四	一〇月二二日	覚 (代金請取覚) (蠟燭水油所藤田安右衛門)
五	一〇月二二日	おぼい (代金請取覚) (仲屋□七↓町田屋)
六	一月二二日	覚 (代金請取覚) (越後屋長七他一名↓町田)
五三八		ひかえ (金銭出入など) (まちたや)
五三六	《子年五月〜申年五月二九日》	(諸材木万売につき覚) (表紙欠)
五三三	《子年九月一日〜二月一九日》	(金銭貸付覚)
五三四	《寅年正月九日〜二月二日》	覚 (材木売高金勘定)
五三八五	《寅年正月二三日改メ〜二月朔日改メ》	万売帳
五三六	《寅年正月〜二月》	(水揚帳) (前欠) (町田屋安助)
五三七	《寅年八月二九日入〜二月一日入》	覚 (筏材木水揚控)
五三八	《卯年二月一七日入〜辰年七月二三日入》	(筏請取覚)
五三九	《辰年正月二二日〜二月二五日》	(金銀支払帳) (前後欠)
	《辰年七月三日〜巳年七月一四日》	

横 横 横 横 横 横 横 横

一 一 一 一 一 一 一 一

五九〇	《辰年九月一三日～十一月一日》	(金銀支払帳) (前後欠)	(横)	四
五九一	已年十月前々極月まで棧方附込帳 (諸材木万売につき)		横	一
五九二	《巳》年九月一五日～午年正月一三日》	(諸材木万売につき覚) (町田屋)	横	一
五九三	《午年三月五日～四月八日》	(諸材木万売帳) (前欠)	横	一
五九四	《午年五月四日～十二月一二日》	(人足賃金支払覚) (前欠) (町田屋太助)	(横)	七
五九五	《未》年正月九日～申年六月》	(諸材木万売帳) (町田屋太助)	横	一
五九六	《未年正月～七月二〇日》	覚 (金銭出入につき覚)	横	一
五九七	《酉年七月一〇日～戌年一〇月九日》	(水揚帳)	(横)	一
五九八	《戌 (天保九) 年六月一九日入》	(金銭請取帳) (前後欠)	横	一
五九九	《亥》年一二月二八日～寅年五月四日》	(諸材木万売帳) (表紙欠) (町田屋安助)	横	一
六〇〇	《正月元日～四月一九日》	(筏材木水揚帳) (町田屋□□)	横	一
六〇一	《正月二日入～二月九日入》	水揚帳 (町田屋太助)	横	一

五〇三	《正月二日入〜二月一七日入》	(諸材木万売帳) (表紙欠) (後欠)	横	一
五四三	《正月四日〜七月二十九日》	(金錢出入覚) (前後欠)	横	一
五四四	《正月四日〜八月一七日》	出写覚 (出金覚)	横	一
五四五	《正月七日〜二月一四日》	金銀錢出入帳	横	一
五四六	《正月七日〜三月八日》	水揚帳 (後欠)	横	一
五四七	《正月九日入〜閏一二月二十九日入》	(諸材木万売帳)	横	一
五四八	《正月二〇日〜一〇月八日》	仕切帳 [町田屋安助]	横	一
五四九	《正月二二日入〜十一月二八日入》	覚 (諸材木万売につき覚)	横	一
五〇〇	《正月二九日〜四月五日》	大福帳 (材木万売につき) (後欠)	横	一
五四一	《正月〜一月》	(諸材木万売帳) (前後欠)	横	三〇
五四二	《正月〜一二月》	覚 (諸材木万売につき覚)	横	三
五四三	《閏正月四日〜五月二日》			

五四三	《二月六日～六月四日》	(金銭出入覚)	横	一
五四四	《二月一七日～三月一四日》	覚 (諸材木万売につき覚)	(横)	二
五四五	《二月二二日～五月九日》	(金銭出入帳)	横	一
五四六	《二月二七日～二月二九日》	(金銭出入帳)	横	一
五四七	《(三月一日)～翌年三月二日》	(金銭出入覚)	横	一
五四八	《(三月五日)～四月一五日》	(金銭出入帳) (前後欠)	横	一
五四九	《三月六日～閏三月六日》	覚 (金銭遣い方)	横	一
五四〇	《三月一七日入～三月二二日入》	(水揚覚)	横	一
五四二	《三月一八日入～一月二日入》	水揚帳 (町田屋太助)	横	一
五四三	《三月一八日入～二月一日入》	(筏材木水揚帳)	横	一
五四三	《三月二八日入～六月六日入》	(水揚覚)	横	一
五四四	大福帳 (諸材木万売につき) (町田屋□□)			横

五四三	《三月一二月》 (諸材木万売帳)	横	一
五四六	《三月一二月》 (金錢出入帳)	横	一
五四七	《四月二日一九月一九日》 (水揚帳)	横	二
五四八	《四月一三日入一五月一九日入》 (諸材木万売帳) (前欠)	横	一
五四九	《四月一九日一六月九日》 (諸材木万売帳)	横	三
五〇〇	《四月二四日一一月二七日》 (金錢出入帳)	横	一
五四三	《五月朔日一五月九日》 (水揚帳) (前後欠)	横	一
二	《五月朔日入一七月三日入》 (諸材木万売につき覚) (前後欠)	横	二
五四三	《二月朔日・七月三日、九月二日・九月一日・一九日》 (諸材木万売帳)	横	一
五四三	《五月四日一十月三日》 (金錢出入帳)	横	一
五四四	《五月一〇日一閏七月二四日》 (諸材木万売帳)	横	一

五四三五 《五月二六日～一二月二八日》  
(当座帳)〔町田屋〕

五四三六 《六月一四日～八月二九日》  
(金銭出入帳) (前後欠)

五四三七 《六月二五日～九月七日》  
(諸材木万売帳)

五四三八 《六月二八日～十一月一二日》  
(水揚帳) (前後欠)

五四三九 《七月三日入～九月二日入》  
(諸材木万売帳)

五四四〇 《七月一八日～七月二六日》  
(諸材木万売帳) (前欠)

五四四一 《七月二〇日～十一月五日》  
(諸材木万売帳) (前後欠)

五四四二 《七月二三日～八月二九日》  
(金銭遣い方覚) (前後欠)

五四四三 《(七月) 二五日～八月一七日》  
(水揚帳) (前欠)

五四四四 《七月二六日入～八月一三日入》  
(諸材木万売帳) (前後欠)

五四四五 《八月八日～八月一二日》  
(諸材木万売につき覚)

《八月一六日》

横 一

(横) 三一

(横) 一

横 一

(横) 三

横 一

横 一

横 一

横 一

(横) 四

(横) 一

五四六  
(諸材木万売帳) (前欠) (町田屋安助)

五  
四  
四  
七

(金錢出入覺) (前後欠)

五四八  
(金銀出入覺) (前後欠)

五四九  
(金錢出入覺)

五五〇  
(諸材木万売帳)

五五五  
(金錢出入覺) (前後欠)

（水揚帳）

五四五三

(諸材木万売帳)

五五五  
(金錢遣い方覚) (前欠)

五四五

寿（金錢出入覺）

五五六  
(仕切帳) (前後欠) (深川町田屋)

五五七  
(水揚帳) (前後欠) [町田安助]

《一〇月二八日入〜十一月一六日入》

五四五八

(水揚帳) (前後欠)

《一〇月二九日入〜十二月二七日入》

五四五九

(金銭出入覚) (前後欠)

《(十一月)五日〜二月朔日》

五四六〇

覚 (諸材木万売帳) (前後欠)

《十一月二日〜十一月二〇日》

五四六一

(材木水揚帳)

《十一月二日〜翌七月八日》

五四六二

(水揚帳)

《二月二六日〜二月二八日》

五四六三

(諸材木万売につき覚)

《二月二七日〜二月三日》

五四六四

(家主伊助分諸材木売控)

《二月二九日》

五四六五

(金銀出入帳) (前欠) (町田屋)

五四六六

(筏水揚帳)

五四六七

(諸材木万売につき覚)

五四六八

(諸材木万売につき覚)

五四六九

(諸材木万売につき覚)

五四七〇

(水揚帳)

五四七一

(諸材木万売につき覚)

五四七二

(諸材木万売につき覚)

横 一

横 一

(横) 三

横 一

(横) 一

(横) 七

(横) 二

(横) 二五

(横) 一

(横) 五二

(横) 二〇〇

(横) 一一二

(横) 二三

(横) 五一

(横) 四七





## Y 筏仲間

文書 番号	年 代	文 書 名	形態	数量
五四六	明和九(＝安永元)年三月	御尋ニ付差上申御請書 (水車堰・用水堰が筏川下げの支障なので、道明けを命ずることの願請書) (秩父郡上名栗村古組名主浦之助他六名↓養笠之助手代梨本弥五八・森甚内)	縦	一
五四九	文化二年四月	乍恐以書付奉願上候 (御蔵根太木筏川下げにつき下流村々にて妨害のないよう川触れ流し願書) (武州秩父郡上名栗村名主栄次郎代兼医師左門)	縦	一
五四〇	文化二年六月	秩父高麗十七ヶ村筏仲間改帳	縦	一
五四一	文化二年八月二三日	為取替一札之事 (筏川下げにより堰などを破損しないように申し聞かせる旨の取替証文) (武州高麗郡矢嵐村車主幸七他五名↓筏仲間衆中)	縦	一
二		為取替一札之事 (水車稼ぎの堰場によって筏川下げ、鮎の川登りなどに支障をきたす訴訟についての内済取替証文) (小岩井村上乗利八他三名↓矢嵐村車主幸七他二名)		
五四二	文化三年五月二二日	参会諸入用払帳 (吉右衛門分諸入用金請取) (上名栗村筏師仲間)	横	一
五四三	文化三年五月二二日 (二六日)	新筏師仲間加入金受取帳 (上下名栗村)	横	一
五四四	文化六年一〇月	筏仲間議定之帳 (武州秩父郡高麗郡飯能川上村々)	横	一
五四五	文化八年四月	冥加木上人数定帳 (入間川筋材木筏川下げの妨げにならないよう川触れ流し願いならびに冥加木上納につき人数定帳) (武州高麗郡永田村八十七他六一名)	縦	一
五四六	文化八年	敷引取調帳	横	一

《未(文化八)年十一月二七日》

橫

橫  
一

縱

横

縦

—

續一

續

續

黄

檢

黃

木

黃

木

黃

五〇九

文政六年九月

御用木并売木流木致散乱御見分之上済口之写〔武州秩父郡上名栗村名主栄治郎〕

縦

一

五〇〇

文政七年四月

岩沢村筏滞一件

縦

一

五〇一

文政七年四月

高麗郡上岩沢村筏川下ケ差障出入一件控〔上名栗邑佐助〕

縦

一

五〇二

文政七年五月改正

樺仲間組直シ議定連印帳〔武州高麗郡永田村勝四郎他六一名〕

縦

一

五〇三

文政八年六月二九日

筏数改録引取立矢風改帳〔筏仲間〕

横

一

《五月二六日・六月二九日》

五〇四

辰〔天保三〕年九月

手控〔岩沢村筏滞一件手控〕

横

一

五〇五

天保五年二月

公事入用帳〔筏仲間〕〔裏表紙に「川寺打一件出金帳 午六月」とある〕

横

一

《二月二七日・四月六日》

五〇六

弘化三年三月

川筋諸用控〔田印〕

横

一

《三月・亥〔嘉永四〕年十一月》

五〇七

弘化三年四月

御尋ニ付奉申上候書付写〔飯能川上筏・材木値段など御尋ねにつき申上書写〕〔飯能寄場黒田豊前守領分武州高麗郡飯能村寄場惣代名主又右衛門・同鎌次郎、大岡主膳正領分同州同郡川寺村大惣代惣次郎・関東向取締出役太田源助〕

縦

一

五〇八

一 戌〔文久二〕年一二月二

日 覚 文久貳戌年冬諸品直ケ相場〔代八・幸次郎・材木仲間衆中〕

状綴

一

一日

二 文久三年

覚 文久三亥年冬勘定挽賃割賃其外日雇賃払方定メ

三 子〔元治元〕年六月二七

日 覚 元治元子年五月朔日ヨ日雇賃錢懸り〔行司瀧之助・市五郎〕

四 日

五 元治元年

覚 元治元子年冬木挽割賃直懸

六 慶応元年

覚 慶応元丑年冬賃銀懸り増

七 慶応二年

覚 慶応二寅年〔木挽割賃銀懸〕

七	慶応三年	覚 慶応三卯年冬（木挽割賃銀懸）	横	一
八	慶応四年	覚 慶応四辰年三月十五日（木挽割賃銀懸）	横	一
九	（明治二年四月一七日）	覚 明治二巳年四月十七日心会（木挽割賃銀懸）	横	一
一〇		覚 角割ちん	横	一
一一		冬木挽ちん	横	一
一二		筏のりちん	横	一
五九	元治元年一二月	筏敷引勘定割合帳〔年行事→材木仲間中〕	横	一
五〇	《子（元治元）年五月五日→一二月二六日》	筏仲間議定書〔武州秩父郡上名栗村市五郎他七九名〕	縦	一
五一		差出申一札之事（入間川筋筏乗子の無断筏川下げ詫一札）〔筏惣代→下奥留村役人〕	縦	一
五二		別書之事（筏乗子へ申し聞かせてくれるよう依頼一札）〔笹井大行院→飯能村佐吉〕	縦	一
一	八月一日	（材木しら出し願い）	縦	一
三	辰年九月一〇日	廻章（大水につき川筋繕普請出来上りにつき荷主方へ申上の旨廻状）〔大河原村中里重左衛門・小瀬戸安藤直右衛門・下赤工村高野茂八→原市場土屋助次郎・妻沢岡村半次郎・赤沢村茶門才次郎他六名〕	縦	一
五三	末年三月四日	川筋故障記	横	一
五四	酉年三月	《（文政八）年三月一八日→天保七年五月二日》	横	一
五五	酉年五月	筏数寄帳（名栗川沿いの村々の材木商の筏枚数調べ帳）	縦	一
五五	《安永二年三月》	極印仲間連印帳（安永二年の舳書写ならびに舳商売仲間動方につき連印帳）	縦	一
五五		手控（大水による岩沢での筏滞一件日記）	横	一
五五	《申（文政七）年二月二四日→五月一七日》		横	一

五三七

(川筋一件懸り)

《天保一四 年六月二八日～巳 (弘化二) 年七月二八日》

五三六

(川筋諸入用金覚)

一

覚 (杉角材筏流し覚)

《午年三月二〇日～(一〇) 月二五日》

二

覚 (打毀一件につき川筋入用立替出金および出金内取覚ならびに笹井敷引不足につき立替出金覚)

《寅 (慶応二) 年～午 (明治三) 年正月一二日》

三

覚 (釘無村滞一件諸入用メ高帳)

《午 (明治三) 年五月～一月》

四

(笹井敷引取立不足分筏一双当りの割合)

《午 (明治三) 年六月七日～八月八日》

五

(筏仲間議定書取極、畑中出会入用および下奥留村杉木丸太代立替金、田出金覚)

《未 (明治四) 年正月五日～正月二一日》

五三九

(笹井・畑中との川筋一件入用覚帳)

《辰年七月二五日～一二月》

五四〇

覚 (川筋諸入用金、筏敷数等)

《申・酉年分》

五四二

覚 (太次郎への筏仲間からの礼金覚)

(横)

一

横

一

横

一



## 解説にかえて

町田家文書は、総点数二万点とも三万点ともいわれている大量の文書であり、全国的視野から見ても屈指の山村・林業関係の文書であるといえる。文書整理をすべて終えていないので、内容的な解説を加えることは差し控え、ここでは、町田家文書整理の現況と目録を検索し、史料を活用していただく上に必要と思われる事項を提示し、その責務に変えることとする。

## 〔町田家文書整理の現況〕

『学習院大学史料館所蔵史料目録 第八号 武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書（一）』（以下『目録（一）』）のように略す）の中で述べたことと重複するが、史料の伝来、整理の経過を知る上で重要なことであるので、一部を再録する。

町田家文書は、保管場所を、町田家↓埼玉県立図書館↓学習院大学と転じている。学内で当館に所蔵されるに至った経緯を略述すると、まず文書が、昭和三九年一月二六日に町田雅男氏より学習院大学文学部史学科に寄託され、のち、昭和四二年五月一〇日に同氏より同科に寄贈された。さらに、昭和五〇年二月二六日に学習院大学史料館が設立されたことにともない所蔵が移管されて、当館の所蔵となった。

これ以前、町田家文書は、『名栗村史』（昭和三五年刊行）執筆のために利用され、昭和三六年から三九年にかけては、埼玉県立図書館により、調査・整理が行われ、目録が刊行されている。このときの目録（近世史料所在調査報告

I「武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書目録」IⅡIV 埼玉県立図書館刊」をみると、「文書も非常に複雑な構成をもち（村方文書かつ町田家林業経営文書であること―引用者注）、整理方法にも問題を生じた。」（IV 七二頁）と記されている。詳細は不明であるが、この時点で既に、近世冊子・近世状・近代冊子・近代状の四つにわけられ、さらに独自の分類項目に分けられ、目録化されている。

これら四冊の目録に収録された文書のほかに未整理の文書も大量に残されたままであった。この未整理・整理済みを問わず文書はすべて学習院大学の所蔵となっている。当館においても未だ全文書の整理をおえたわけではなく、目録の発行と併行して進めている。全体の見通しと既に一部整理が行なわれていることを鑑みて、今回の整理では、埼玉県立図書館で行なった整理を生かし、文書全体を冊子（帳簿）型文書と状（一紙）型文書とに大別し、さらに各々を近世分（明治四年まで）と近代分（明治五年以降）とに分け、個々の文書を整理していくことにした。

#### 『目録（一）』一九九頁～二〇〇頁

再録が長文にわたったが、これが『目録（一）』で述べた現況である。その後、最近の古文書整理・目録作成についての諸論説を学んでいくうちに、従来、史料館でとってきた古文書整理の方法や町田家文書の具体的整理作業をもう一度見直し、改善しうるところは改善していかなければならないと考えるに至った。そこで、具体的に史料館が従来行なってきた古文書整理の方法はどういうものであり、改善した点はどういう点であったかを述べることにする。

まず、従来の方法であるが、これは『目録（一）』に所収された町田家文書や、以前に整理を終えた「阿部家文書」「柳沢家文書」「中川善之助寄贈文書」「浜島家文書」「新藤家文書」「塩崎家文書」に適用してきた方法である。第一に古文書を、点数の多い場合は冊子（帳簿）型と状（一紙）型に分け、少ない場合は一体として扱う。次に、古文書収納用（保管用）封筒の上書き部分に、表題・年代・差出人・宛名・部門・内容・形態・数量を記入する。そして、上書きを原稿に書き起こし、あるいはコピーし、『所蔵史料目録』（活字本目録）を作成する。いわば、「封筒上書き



「活字本目録」方式とでもいえるであろうか。この方法で古文書を整理することは、古文書目録を刊本として公刊していくことを目標とすれば有効な手段であり、能率的でもある。反面、古文書をいったん書庫に収蔵してしまうと、日常的に頼りにするのは、文書番号・年代・表題・作成者・宛名・形態・数量を整然と並べた活字本のみである。古文書整理中に気づいた様々な事柄は、封筒に上書きされたまま書庫に保存されることとなる。あるいは活字本としての公刊を急ぐあまり、目録に採録する事項が抽出されればそれで事足り、古文書から得られる基本的な情報や、保存のために必要な注意事項などを記録することも怠ってしまうこともある。さらには、古文書整理担当者が職場を転出した場合などには館に残る記録はわずかなもので、現物をとり出す機会がないかぎり史料の概要を知ることができない状況が起きてくる可能性なども考えられる。

そこで、当館では今回から従来用いていた「封筒上書き→活字本目録」方式の欠点を補うために、カードを採用しようということになった。封筒の上書きをカードに記入することとただけのようであるが、古文書の入った封筒をいちいち動かす必要がなくなり、編年・分類などがカードで処理できるようになった。また、枝番号の処理、点数の把握なども容易なものとなった。なによりも、古文書を書庫に収蔵してからも日常的にカードを検索したりすることができ、研究・調査が容易になってゆくことであろう。また、閲覧者にとってもカードを見ることにより活字目録からは得られない情報を得ることもなるだろう。本書に収められた古文書は、『目録(一)』の発行時に、「封筒上書き」式で整理をおえていたが、あらためて「カード」式で整理をした。ほとんどの古文書については、封筒に上書きされていた事項に誤認はなかったので、作業は上書きをカードに引き移すことも多かったが、「カード」に書くことで、古文書整理者は古文書をより細かに観察し、読み込むこととなり、気付いた点をカードに書き込んでいくこととなった。このように、古文書一点一点をカードにしていけることを続けると、何点かのカード、すなわち何点かの古文書に共通する要素を抽出することができるようになる。従来の活字本目録では「項目・分類」でしか表現できなかったこと

が、もう少し細部にまで立ち入って考察することができるようになる。それを古文書整理の作業が進んでいくうちに活用したくなる。あるいは、将来の閲覧者へ提供する情報としてまとめておきたい。このような要請を満たすために「シート」というものを考えた。これは、古文書整理者が気付いたことをルーズリーフ式のノートにまとめ、コピーし、整理に携わるもの全員に配布し、古文書整理者同志の共通の認識としておくというものである。古文書整理をすすめるうちには、訂正、加筆もおきてくる。また、シートの蓄積は将来の閲覧者に役立つこともあろう。なお、この延長上に、史料学的見地から町田家文書の構造を解明していくことが望まれる。機会をみて発表していくことができるだろうと思っている。さらに付言すれば、個人的な研究、一人で行なう古文書整理ではノート式でもよいが、当館のように何人かの手が加わる場合には、回覧・差しかえなどの場合「ルーズリーフ」式のほうが簡便であった。

古文書を整理していく上で、「カード・シート」式を採用したことをこの時点で公言することは全く恥ずかしいことこのうえない。しかし、文書学・史料学の提唱がなされ、学問的進歩がみられるなかで、改めることができることを改めずにいることのほうが努力を怠っているといえるであらう。ただし、肝に銘じておかなければならないことは、改善と思い早急に行ったことが大きな弊害をもたらしてはならないこと、改めたくとも改めることが出来なかった点が残っていることは充分に認識しておく必要があるということである。

後者の例に当たるが、町田家文書では、冊子（帳簿）型・状（一紙）型の区別をつけているという点である。これは、本目録でも解決できなかった。おそらくは、文書整理がすべて完成し、目録・カードを再編するすことができるようになったときに解決されるのであろう。

今回整理に用いたカードは具体的にはつぎのようなものである。このカードも完璧なものではない。順次改善してゆくべきであらう。

前述のようにカード・シート式で再整理を行ない『目録（一）』収録分以外の近世冊子（帳簿）型文書を収めたのが

町田家文書			
○	表		形 態 数 量
	題		旧
	年 代		
	差出・作成		
	受 取		
	原 本	写 し 下 書 他 (                      )	
	部門・内容		
	備 考		

学園大学史料館

128mm

182mm

家文書全体としてはどれぐらいの量であるかにふれておく。第一表に示したのが、推定される町田家文書の総量である。既整理のうち、「近世冊子型 五五三一件」は、『目録(一)・(二)』に収録された文書の文書番号から算出した件数であるが、実際には枝番号もあるので、文書の点数はかなり上まわる。「近世状・近代冊子・近代状」は、埼玉県立図書館刊の目録より概算したものである。既整理といっても直ちに活字目録にできるわけではなく、もう一度「カード・シート」式で再整理しなければならないし、また未整理のダンボール箱(45cm×30cm×30cm)には一箱あたり一〇〇

第1表 町田家文書総量(推定)

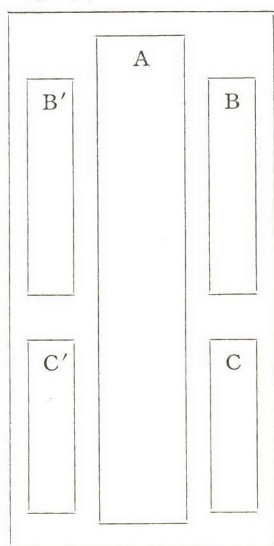
	既 整 理	未 整 理
近世冊子	5531件	
近 世 状	5700件位	21箱 <sup>1)</sup>
近代冊子	5200件位	27箱
近 代 状	2000件位	18箱

1) 箱は40cm×30cm×30cm

本目録である。すなわち、近世冊子(帳簿)型文書のうち村方(上名栗村)関係以外の文書を収録した。主として、町田家の林業関係の経営文書である。

以上が町田家文書整理の現況であるが、つぎに町田

第1図



点以上の文書が詰め込まれているであろうと推測される。それを一点ごとに「カード」にとり、既整理分と総合し、分類を施し、編年順に並べ、目録とし公刊していくわけである。何とも気の遠くなるような話であるが、引き続き文書整理に努め、目録を刊行させていきたいと考える。多くのご指導とご助言そして時間を賜れば幸いである。

町田家の来歴や、経営の在り方、周辺地域の概況などについては、紙幅の都合上ふれることができないので、若干の参考文献をあげておく。

\*『名栗村史』（上名栗村史編纂委員会 一九六〇年発行 一九八二年復刻）

\*『近世武州名栗村の構造』（埼玉県入間郡名栗村教育委員会発行 山中清孝執筆 一九八一年）

\*『江戸地廻り山村の豪農経営』（加藤衛弘 徳川林政史研究所研究紀要 昭和六一年度）

〔町田家文書の整理基準〕

『目録（一）』において述べた表紙を五区域に分け、A＝表題、B・B'＝年号、C・C'＝作成者が記されているという仮説には今回も従った。ただし裏表題については、適宜文書の内容、敬称の有無、印判などによって作成者、受取人を判断した。

ここでは、今回の整理で新たに付け加えた二つの事柄について説明を加えておく。まず、年号についてであるが、『目録（一）』で「帳簿の内容は前年分であり、表題の年号とくいちがう場合や、後年の写しであるため文書の筆写年代と表紙の年号・文書作成の年代のかけ離れている場合などそれらの情報を目録に採用するべきかとも考えたが、厳密な史料批判は、原文書を利用する方に委ねる」としたが、本目録は、町田家の経営帳簿も多いため、表紙の年号（年



月日)では特定されず、一日ごとに付けられ数か月にわたるものや、一か年分を一冊にしたものなど多かった。そこで、文書の中に記載されている年月日を内容年代として《》で括り、目録にのせることとした。参考にしていたできれば幸いである。

つぎに、形態についてである。形態は縦帳、横帳、状、綴、状綴に分けた。今回の整理から形態が完全でないもので、例えば、綴じ穴や折り目跡などから元の形態が推定できるものについては(一)を付けて表記した。

以上の内容年代と(一)付き形態とが『目録(一)』には表記されていなかったものである。

本目録の文書の件数および分類項目は第二表の通りである。『目録(二)』収録文書の総件数は二二五九件で、『目録(一)』につづけて文書番号を付した。文書番号に従えば総件数は二二五九件であるが、それには枝番号をふくむものもあるので、総点数はそれ以上にのぼる。二二五九件の文書をJ～Yの一六項目に分類し、O材木商売、S炭商売、V金銭出入、W町田家生活については、さらに項目を設けた。

第2表 『目録(二)』所収文書件数

項 目	件 数
J 町田家経営全般	50
K 町田家土地	48
L 町田家小作・店貸	56
M 町田家金融	30
N 山林経営	26
O 材木商売	780
全般	204
木挽	180
筏	255
水揚・仕切	141
P 人足	139
Q 町田家酒造	34
R 酒買入	36
S 炭商売	205
全般	8
入荷・生産	66
出荷・販売	131
T 穀物仕入	62
U 日用品商売	12
V 金銭出入	283
全般	181
諸品購入	19
公用道中	73
貨幣有高改	10
W 町田家生活	193
年始・盆・暮	24
冠婚・葬祭	28
家財・普請	14
飯米	24
学芸・趣味	74
記録	11
旅	18
X 材木問屋	261
Y 筏仲間	44
計	2259

分類項目の設定にあたっては、「帳簿の名称」ごとに分類項目を設定する方法、「帳簿の機能」に着目して項目を設ける方法なども考えた。しかし、帳簿の記載事項に変化がなく、同一内容であるのに「名称」が変更されることで、分類項目が分かれてしまうのは不都合であるし、逆に「名称」が同一であれば帳簿内容が同一であるとも限らない。また、町田家の経営と村方名主としての役割、純粋な家計を表わす文書が必ずしも分離・分化しておらず、併記されていたり、収支が混乱していたりすることしばしばであるので、「帳簿の機能」に着目すると、重複することがあまりにも多くなり、分類が意味をもたず、目録としても繁雑なものになってしまう。

そこで、分類項目は、町田家の経営内容を莫然と反映させる項目立てを選択した。そうしたところで、帳簿の未分化・未分離の問題は依然として残る。そこで、「明らかな当該分類項目のあるものは、その項目に入れる」という方針で分類した。例えば、人足に関する帳簿であっても、明らかに木挽労働のための人足帳であれば、「P 人足」ではなく「O 材木商売 木挽」の項目に分類する。あるいは、物品を購入している帳簿であり、明らかにそれが江戸の店で行なわれている行為を記した帳簿であれば、「V 金銭出入 諸品購入」ではなく、「X 材木問屋」の項目に入れる。つまり、「明らかなものは当該項目に囲い込む」という考え方をとった。

以上が、文書の件数および分類項目についての本書で行なった整理基準の概要である。

つぎに、分類項目のうち、目録を活用する上でとくに必要と思われることを述べておく。

#### P 人足

経営を主軸におき項目分類したので、材木商売とそれにかかわる人足（木挽人足・日雇人足）や炭商売とそれにかかわる人足（炭焼き・運びだし・炭俵編み）のように、人足帳の労務の種別が明らかなものについては、それぞれの項目に分類した。例えば、木挽人足帳は「O 材木商売 木挽」に分類している。「P 人足」においては、項目を特定できない「人足日記帳」「人足勘定帳」「人足口取帳」「人足月々帳」などを主としている。

町田家の酒造については、『目録(一)』の「F 産業」のうちに酒造の項目を設けた。また今回、「Q 町田家酒造」の項目を設けた。両者の分類規準は、「F 産業」は、村方の産業としての酒造経営文書であり、「Q 町田家酒造」は町田家の経営の一つとしての酒造経営文書であるが、混在がみられる。目録の利用者にとっては変更のないものとご了解いただきたい。あらためて分類した文書を検討してみると、「F 産業」は町田家が村名主としての立場から作成した文書であり、「Q 町田家酒造」は個人経営を示す文書であるといえる。

# X 材木問屋

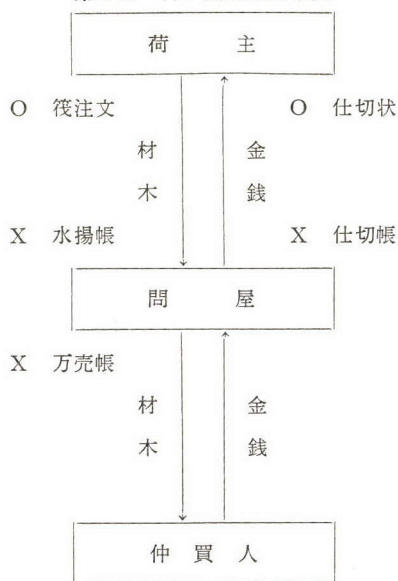
この項目には、町田家の江戸における史料を分類した。内容は、「水揚帳」「万売帳」「仕切帳」「金銭出入帳」など

## Q 酒造

第3表 町田家文書酒造関係文書再分類表

F 村方産業酒造	Q 町田家経営酒造
2865	2866
2868	2867
2872	2869~2871
2874	2873
2875	2876~2886
2887~2889	2890
2891~2894	2895
2896~2906	2907
2908~2929	2930
2931	2933
2932	
2934	
2935	

第2図 材木問屋関係略図



である。江戸における町田家については、いまだ研究が進んでおらず、詳細は不明であるが、最も簡略化してしまえば、材木・金の流れと、帳簿の作成は第二図のように示されるであろう。

# Y 筏仲間

筏仲間は、町田家の経営からいえば、材木商売、材木の運搬に深く関わることであるが、名栗川ぞいの村々の河川運輸、経済構造、地域構造の究明にも重要な史料である。そのため、「O 材木商売」から分け、項目を立てた。主として「筏仲間に直接関わる史料（議定書や連印帳などの文書）」「浅草御蔵根太木一件」「岩沢村筏滞一件」などがふくまれている。

編年は第四表の順を基準にした。まず、年月日が揃っているもの（1～3）、年月が揃っているもの（4～6）、年だけのもの（7～9）の三グループに分け、それぞれのグループにおいて、年の表記が文書にあるもの（1・4・7）、干支から年が推測できるもの（2・5・8）、干支以外（内容やその他の状況）から年が推測できるもの（3・6・9）の順位をつけた。次に、干支がわかるものをまとめ、月日がそろったもの（10）、月のみのもの（11）、月日なしのもの（12）の順をつけた。さらに、

第4表 編年順位表

編年順位	年月日、干支の有無
1	年月日
2	干支（ ）年 月 日
3	（ ）年 月 日
4	年月
5	干支（ ）年 月 月
6	（ ）年 月 月
7	年
8	干支（ ）年
9	（ ）年
10	干支 年 月 日
11	干支 年 月
12	干支 年
13	月 日
14	月 月
15	日
16	内容年代のみ
17	なし

- 1) ( )は文書整理者の推定
- 2) 1～15では内容年代のあるものが優先
- 3) 16の順位は1～15に準ずる

もの（12）の順をつけた。さらに、月日のみ（13）、月のみ（14）、日のみ（15）をつづけ、最後に、内容年代がわかるもの（16）、年代なし（17）を並べた。いずれも表紙の年代が基準である。

この順位表は万全なものではなく、例えば年と日がわかるものをどこにお



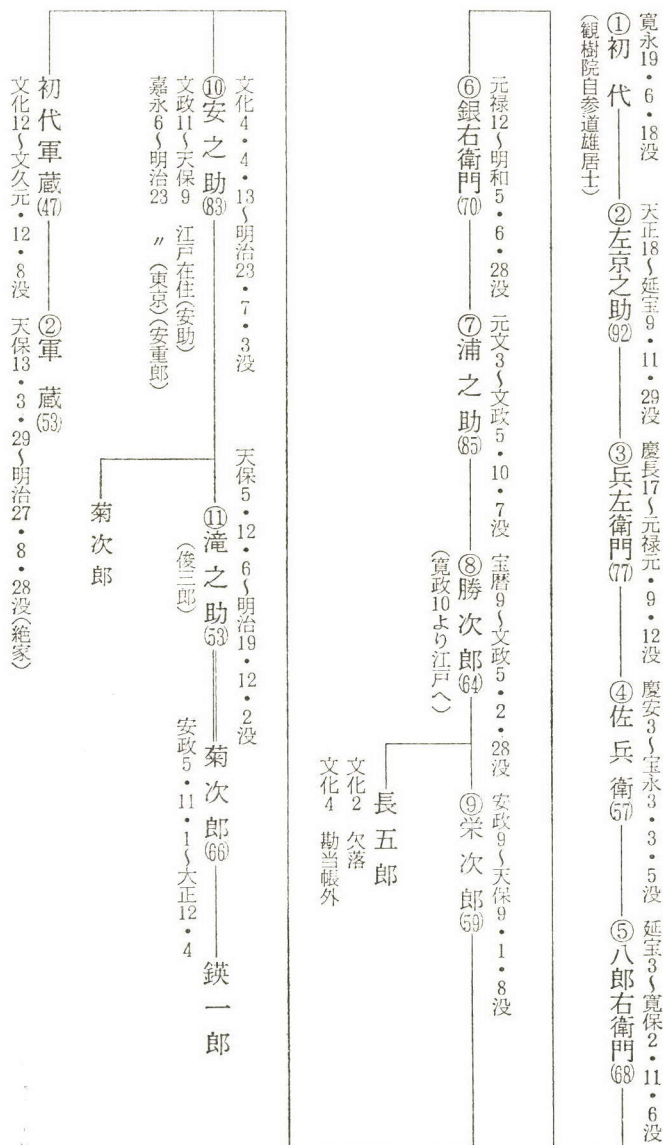
くかは示していない。また、内容年代を編年にどう生かしていくかは、注2)で示した「内容年代のあるものをないものより同順位内では先にする」という方針を示したのみである。

表紙の年代で編年するのと、内容年代で編年するのでは編年順位がちがってくる場合は容易に想定できる。しかし、本書では、内容年代は補助的なものと考え、表紙の年代を基準とした。

文書の年代といったときに、いったい「文書の年代」とは何かといった課題を真剣に考えておく必要があることに思い至った。ここでは、詳細に述べる余裕がないが、状であれば奥印添書をどう処理していくかといった問題がすぐに頭に浮かぶし、帳簿であれば、その書き始めを作成年代とするか、終了時をもって作成年とするか、一定期間を文書の作成年代とするか、そのとき、「日」を特定する有効性はあるのだろうかなどが考えられる。趣旨が本稿とに逸脱するので、後考に俟ちたい。

(須田 肇)

## 町田家系図



## 『目録(一)』正誤表

文書番号	頁	誤	正
一四六	10	(錯簡)	(断簡)
一八一	12	古組名主栄治郎	古組名主栄次郎
三四五	17	三四五	二四五
四六六	34	寛文八年五月一四日	寛文八年五月一〇日
五三	36	河原清兵衛手代杉江十蔵	河原清兵衛代杉江十蔵
五七	37	五一七	欠番(五一六と同一史料)
七九	55	横一	横九
一四一	69	下分	(下分)
一四二	69	(上分)	上分
一四三	69	下分	下
一四四	81	一二〇四	一三〇四
一四七	88	一四二七	欠番(一四二六と重複史料)
一四三	89	一四四三	欠番(一四四一と重複史料)
一四四	89	一四四四	欠番(一四四二と重複史料)
一五八	95	取立帳	取帳
一五九	98	文化一〇年	文化一〇年三月
一五九	98	代永両組割合取立帳	代永取立帳

一六二	98	天保一三年	(天保一三年、弘化二年)
一六一	98	正漆代永取立控帳	(正漆代永取立控帳)
一六九	99	六尺給取立帳	六尺取立帳
一七九	106	一七三九	欠番(一七三八と重複史料)
三三六	134	書上入書	書上入用
三三五	135	縦一	縦二
三三二	139	(組頭七左衛門)	(年番組頭七郎兵衛)
二六三	152	寛政八年二月	寛政八年三月
二六九	155	綴一	横一
二七五	158	巳宗門御改帳	丑宗門御改帳
二八七	162	横七	横 一〇
二六四	163	(御堂原組	(御堂平組
二六五	165	二八五六	欠番(二八五五と重複史料)
二六六	166	堀谷文左衛門	堀谷文右衛門
二九〇—三	170	状一	(空欄)
二九〇—四	170	状一	(空欄)
三二〇	184	三一二〇	欠番(三一〇五と重複史料)
三六四	187	縦二	縦一

---

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(2)

学習院大学史料館所蔵史料目録 第9号

昭和63年3月25日発行

発行者 学習院大学史料館

代表者 柳 田 節 子

東京都豊島区目白1-5-1 〒171

(電話)03-986-0221 〈内線〉569

---





















学習院大学史料館所蔵史料目録 第九号

武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書(二)













